

横浜市子ども・若者実態調査
(報告書)

平成25年3月

横浜市

<目次>

第1章 調査概要

1. 調査の趣旨	1
2. 調査の全体構造と目的	1
3. 調査手法	2

第2章 アンケート調査の結果について

1. 回収結果	3
2. 対象者の属性	3
3. ひきこもり群の出現率	3
4. ひきこもり親和群の出現率	4
5. 無業群の出現率	4
6. 単純集計結果の主なポイント	6
7. 傾向分析について	18
7-1. ひきこもりに関する傾向の分析	18
7-2. 就業等に関する傾向の分析	27
7-3. 中退者に関する傾向の分析	29

第3章 追加調査の結果について

1. 追加調査の対象者選定について	33
2. 調査項目及び調査方法	33
3. 結果概要	33
4. ヒアリング結果まとめ	34

<別添資料>

- ・ 支援機関におけるヒアリング調査の結果について

参考資料

1. アンケート調査票	37
2. 単純集計結果	51
3. クロス集計結果	69
4. 追加調査シナリオ	87

第1章 調査概要

1. 調査の趣旨

これまで本市では、子ども・若者についての調査をいくつか実施してきたものの、困難を抱える若者たちの実態を捉えるには十分なものではなく、国の調査結果等から推計し、本市の子ども・若者の状態を把握している状況でした。

そこで、15～39歳の子ども・若者、困難を抱える若者や支援団体等に対する調査を実施し、子ども・若者の生活状態及び困難を抱える若者のニーズや課題を把握、分析し、今後の子ども・若者育成支援施策や事業に反映します。

2. 調査の全体構造と目的

一般市民調査	<p>(1) アンケート調査</p> <p>目的：子ども・若者が抱える困難状況のマクロ的把握 (※)</p> <ul style="list-style-type: none">①基礎数値の把握 (ひきこもり数、無業数、各種リスクを抱える者の数)②子ども・若者が抱える悩み・課題、就労等についての意識や実態の傾向分析 (ひきこもり群・無業群と一般群の比較等)
施設利用者調査	<p>(2) 追加調査 (ヒアリング) (1)の調査の中で協力者を募り実施</p> <p>目的：下記(3)の調査で把握できない困難事例の実態把握及び有効な施策・支援方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none">①困難を抱えながら支援機関につながっていない者の事例検証・分析②支援機関につながらずに困難を克服した者の事例検証・分析
	<p>(3) 支援機関におけるヒアリング調査</p> <p>目的：困難事例の実態把握及び有効な施策・支援方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none">①困難を抱える子ども・若者の意識や実態についての事例検証・分析②有効な支援方法・プログラムの抽出

※ アンケート調査により把握したいデータ

(1) ひきこもり群

- ①ひきこもり群とひきこもり親和群の人数 (ひきこもり傾向にある者の段階的な人数)
- ②属性 (性別、年齢、居住区、家庭状況など)
- ③きっかけ
- ④相談支援についての経験・意見等
- ⑤過去の経験や人間関係、いきがい、就業意欲等の意識

(2) 無業群

- ①無業群の人数
- ②属性 (性別、年齢、居住区、家庭状況など)
- ③無業になった理由
- ④就労についての経験・意見
- ⑤過去の経験や人間関係、生きがい、就業意欲等の意識

(3) 若者一般

- ①普段の生活、就業・進学意欲等
- ②職業意識、就職にあたり重視すること等
- ③生きがい、生き活きと過ごせる場等

3. 調査手法

(1) アンケート調査

- ①調査対象 : 横浜市内に居住する満 15 歳以上 39 歳以下の男女個人
- ②標本数 : 3,000 標本
- ③標本抽出方法 : 住民基本台帳から無作為抽出
- ④方法 : 郵送配付・訪問回収調査（郵送で調査票を送り、調査員が回収する）
- ⑤調査事項 : 平成 21 年度に内閣府が実施した「若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）」による調査項目を活用し、就労に関する意識・実態をより具体的に把握するための設問や選択肢を追加
- ⑥調査時期 : 平成 24 年 8 月 27 日～9 月 17 日
- ⑦有効回答数 : 1,386 人（46.2%）

(2) 追加調査（上記アンケート調査から協力者を抽出）

- ①標本数 : 3 事例
- ②調査の方法 : 困難を抱えながら支援機関につながっていない者への聞き取り
- ③調査時期 : 平成 25 年 1 月～2 月

(3) 支援機関ヒアリング調査（困難を抱える当事者等）

- ①標本数 : 30 事例
- ②対象機関 : 青少年相談センター、サポートステーション、地域ユースプラザ
- ③調査の方法 : 支援団体・機関等の紹介を通じて現在支援を受けている当事者及び過去に支援を受けていた方への聞き取り
- ④事例集 : 支援団体・機関等がこれまでに対応したケースの分析等
- ⑤調査時期 : 平成 24 年 9 月～10 月

第2章 アンケート調査の結果について

1. 回収結果

有効回収数（率） 1,386人（46.2%）

2. 対象者の属性

※ 無回答、不正回答、不明等は、集計から除いています。

(1) 性別

総数：1,383人 男性：639人（46.2%） 女性：744人（53.8%）

(2) 年齢

総数：1,383人 15～19歳：273人（19.7%） 20～24歳：229人（16.6%）
25～29歳：252人（18.2%） 30～34歳：313人（22.6%）
35～39歳：316人（22.8%）

3. ひきこもり群の出現率

ひきこもり群及びひきこもり親和群については、内閣府「若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）」による定義を用いた。

本調査におけるひきこもり群は、

Q16 「あなたはふだんどのくらい外出しますか」について、下記の5～8に当てはまる者

- ・「5 ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する」
- ・「6 ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」
- ・「7 自室からは出るが、家からは出ない」
- ・「8 自室からはほとんど出ない」

かつ

Q18 「あなたが現在の状態となつてどのくらい経ちますか」について、6か月以上（選択肢2～6）と回答した者

であつて、

Q19 「あなたが現在の状態となつたきっかけは何ですか」で、

- ・「7 病気（病名： ）」を選択し、病名に統合失調症又は身体的な病気を記入した者、
- ・「8 妊娠した」を選択した者、
- ・「9 その他（ ）」を選択し、（ ）に自宅で仕事をしている旨や出産・育児をしている旨を記入した者

又は

Q13 「あなたがふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください」で、

- ・「9 家事をする」を選択した者、
- ・「10 育児をする」を選択した者

を除いた人数 10人〔男性：6人、女性4人〕（有効回答数に占める割合 0.72%）。

なお、平成24年1月1日現在の横浜市の年齢別人口において、15～39歳は1,136千人なので、市内のひきこもり群の推計数は $1,136 \text{ 千人} \times 0.72\% = \text{約 } 8,000 \text{ 人}$ となる。

(1) ひきこもり群（10人）の状況

ア Q17「現在の状態になつたのは、あなたが何歳の頃ですか。（数字で具体的に）」について

- ・年齢層に分けて見ると、10～14歳（1人）、15～19歳（1人）、20～24歳（4人）、25

～29歳（2人）、30歳以上（2人）となっており、20代前半にひきこもり状態となった者が多いことがわかった。

- イ Q18「あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。（○はひとつだけ）」について
 - ・「6か月～1年（3人）」「1年～3年（2人）」「3年～5年（2人）」「5年～7年（1人）」「7年以上（2人）」であった。
- ウ Q19「あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。（○はいくつでも）」について
 - ・「不登校（1人）」「就職活動がうまくいかなかった（2人）」「職場になじめなかった（1人）」「人間関係がうまくいかなかった（2人）」「その他（7人）」であった。
- エ Q21「現在の状態や今後のことについて、あなたはどのような機関なら、相談したいと思いますか。（○はいくつでも）」について
 - ・「就労を支援してくれる相談機関（2人）」「自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる相談機関（2人）」「相談がなくても気軽に行くことができるフリースペースがある相談機関（1人）」「相談したくない（5人）」であった。

4. ひきこもり親和群の出現率

ひきこもり親和群は、

Q34 「次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください」で、

- ・「9 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる」
- ・「10 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある」
- ・「11 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる」
- ・「12 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う」

の4項目がすべて「1 はい」又は1項目のみ「2 どちらかといえばはい」と答えた者の中から、「ひきこもり群」を除いた者の人数 63人〔男性：28人、女性35人〕（有効回答数に占める割合 4.55%）。

市内のひきこもり親和群の推計数は $1,136 \text{ 千人} \times 4.55\% = \text{約 } 52,000 \text{ 人}$ となる。

【参考】内閣府及び東京都調査との比較

項目	横浜市	内閣府(*1)	東京都(*2)
標本数	3,000人	5,000人	3,000人
回収数 (率=回収数/標本数)	1,386人 (46.2%)	3,287人 (65.7%)	1,388人 (46.3%)
ひきこもり群の出現率	0.72%	1.79%	0.72%
ひきこもり親和群の出現率	4.55%	3.99%	4.76%

*1) 内閣府：平成21年度 若者の意識に関する調査（ひきこもりに関する実態調査）

*2) 東京都：平成19年度 若年者自立支援調査研究

※ 東京都調査の対象年齢は15～34歳

5. 無業群の出現率

無業群については、次のとおり定義し、

Q8 「あなたは現在働いていますか」で、

- ・「8 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」
- ・「9 無職」を選択した者

の人数 69人〔男性：37人、女性32人〕（有効回答数に占める割合 4.98%）。

市内の無業群の推計数は、 $1,136 \text{ 千人} \times 4.98\% = \text{約 } 57,000 \text{ 人}$ となる。

(1) 無業群（69人）の状況

- ・ 前述の無業群 69 人（4.98%）のうち、就職を希望しているが現在就職活動をしていない者と就職・進学のどちらも希望していない者の合計は 16 人であった。これらの者に対し、Q12「現在働いていない理由は何ですか。（〇はいくつでも）」を訊ねたところ、4人以上の回答があった理由は「病気・怪我のため（6人）」「メンタル的な問題・不安がある（7人）」「知識・能力に自信がない（4人）」「人間関係に不安がある（4人）」となった。

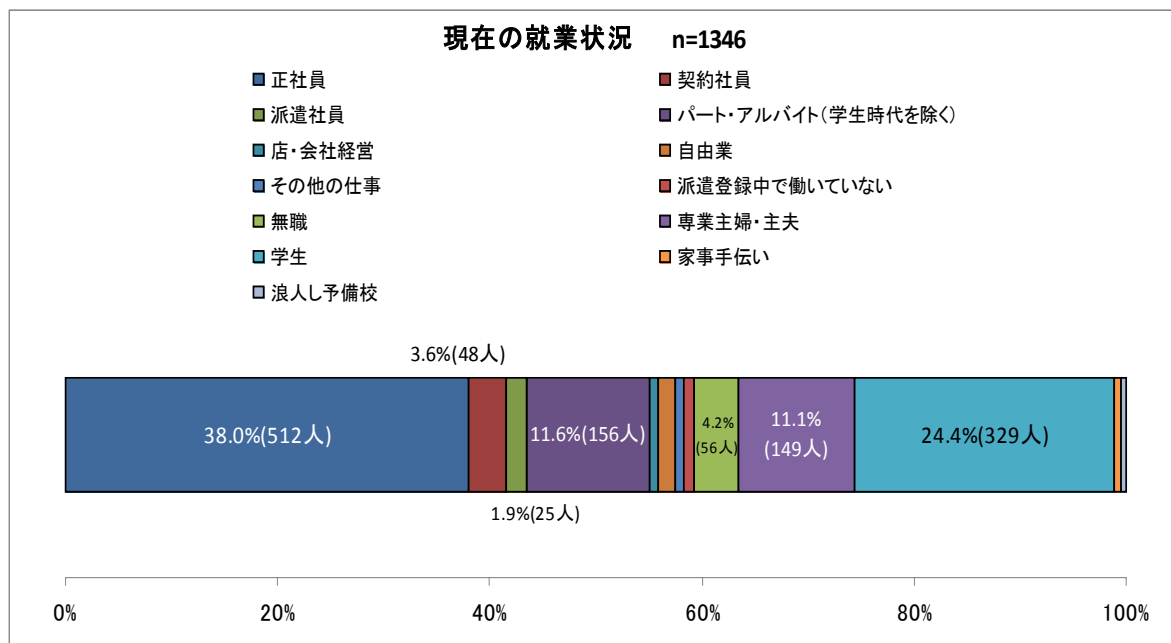
6. 単純集計結果の主なポイント

(1) Q8「あなたは現在働いていますか。(○はひとつだけ)」について

- 働いていると回答(※)した者は 58.3%であった。

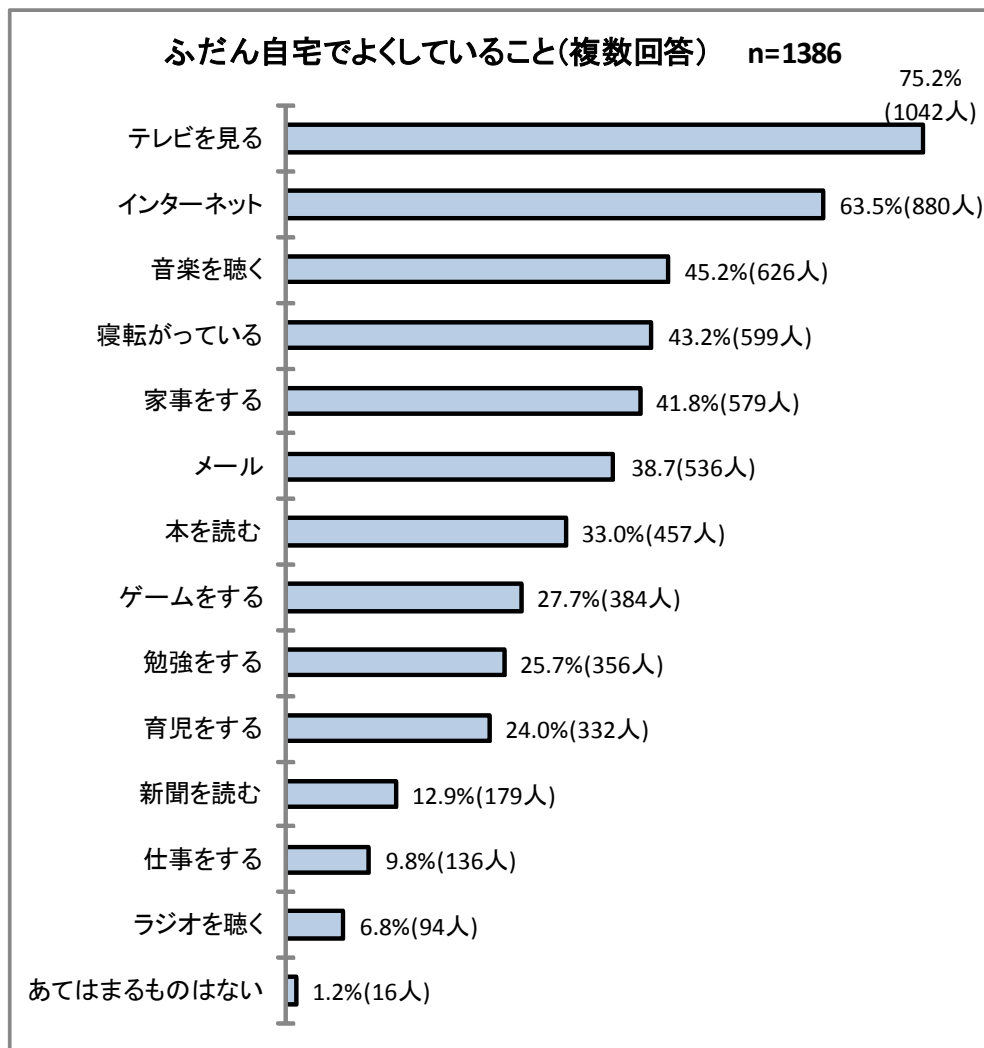
※「正社員」「契約社員」「派遣社員」「パート・アルバイト(学生時代を除く)」「店・会社経営」「自由業」「その他の仕事」の合計

- 就労の形態を見ると、「正社員として働いている」者は 38.0%、「契約社員として働いている」「派遣社員として働いている」「パート・アルバイト(学生のアルバイトは除く)として働いている」者の合計は 17.1%であった。



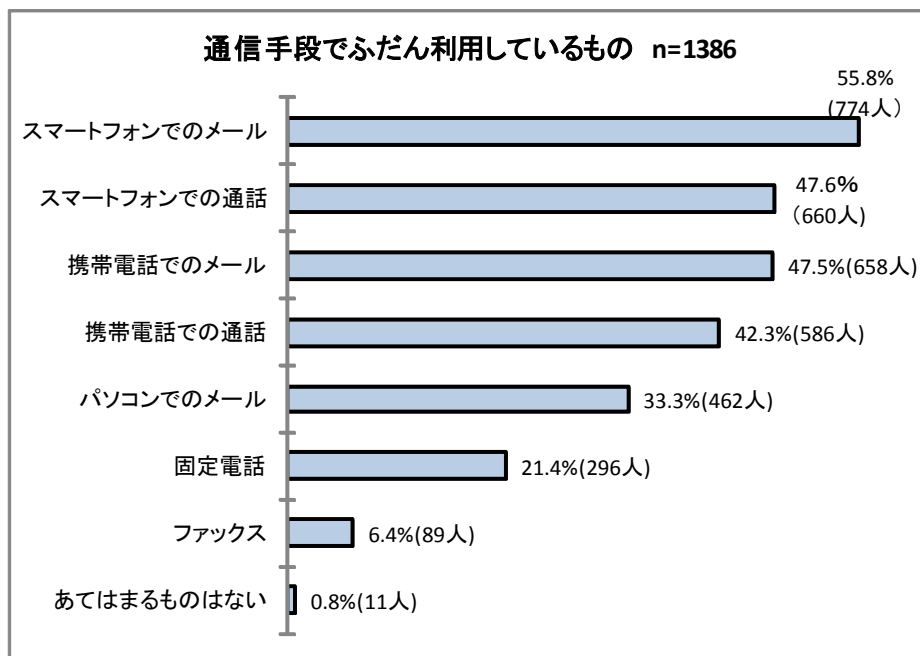
(2) Q13「あなたがふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)」について

- ・上位5位までの回答は、「テレビを見る (75.2%)」「インターネット (63.5%)」「音楽を聴く (45.2%)」「寝転がっている (43.2%)」「家事をする (41.8%)」となった。



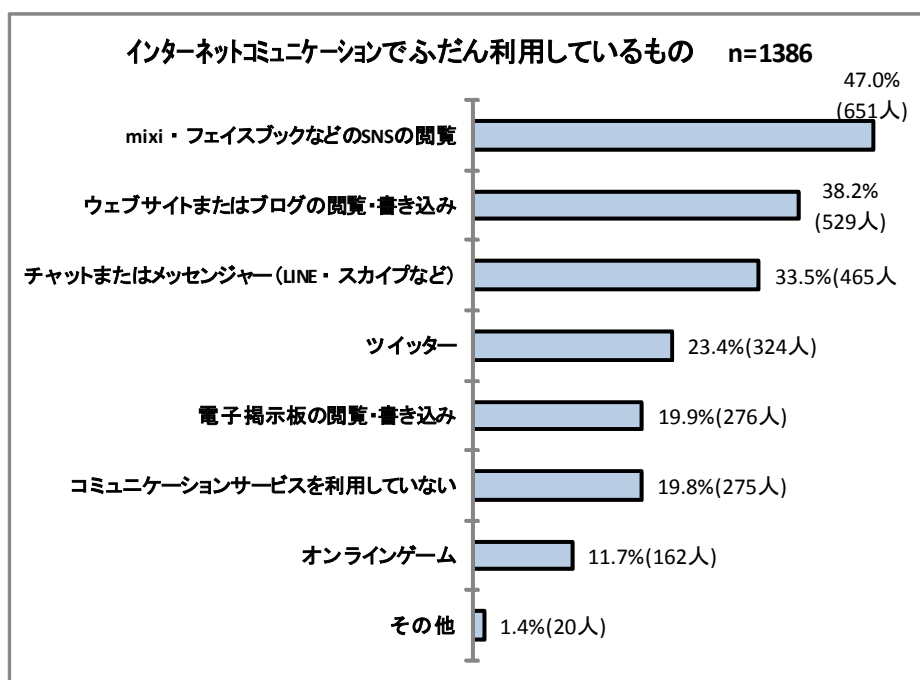
(3) Q14「以下に挙げられた通信手段の中で、あなたがふだん利用しているものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)」について

- ・携帯電話とスマートフォンが上位を占めているが、「携帯電話での通話 (42.3%)」に対し「スマートフォンでの通話 (47.6%)」、「携帯電話でのメール (47.5%)」に対し「スマートフォンでのメール (55.8%)」となっており、携帯電話よりスマートフォンを使う者、通話よりもメールを通信手段とする者の数の方が多いことがわかった。



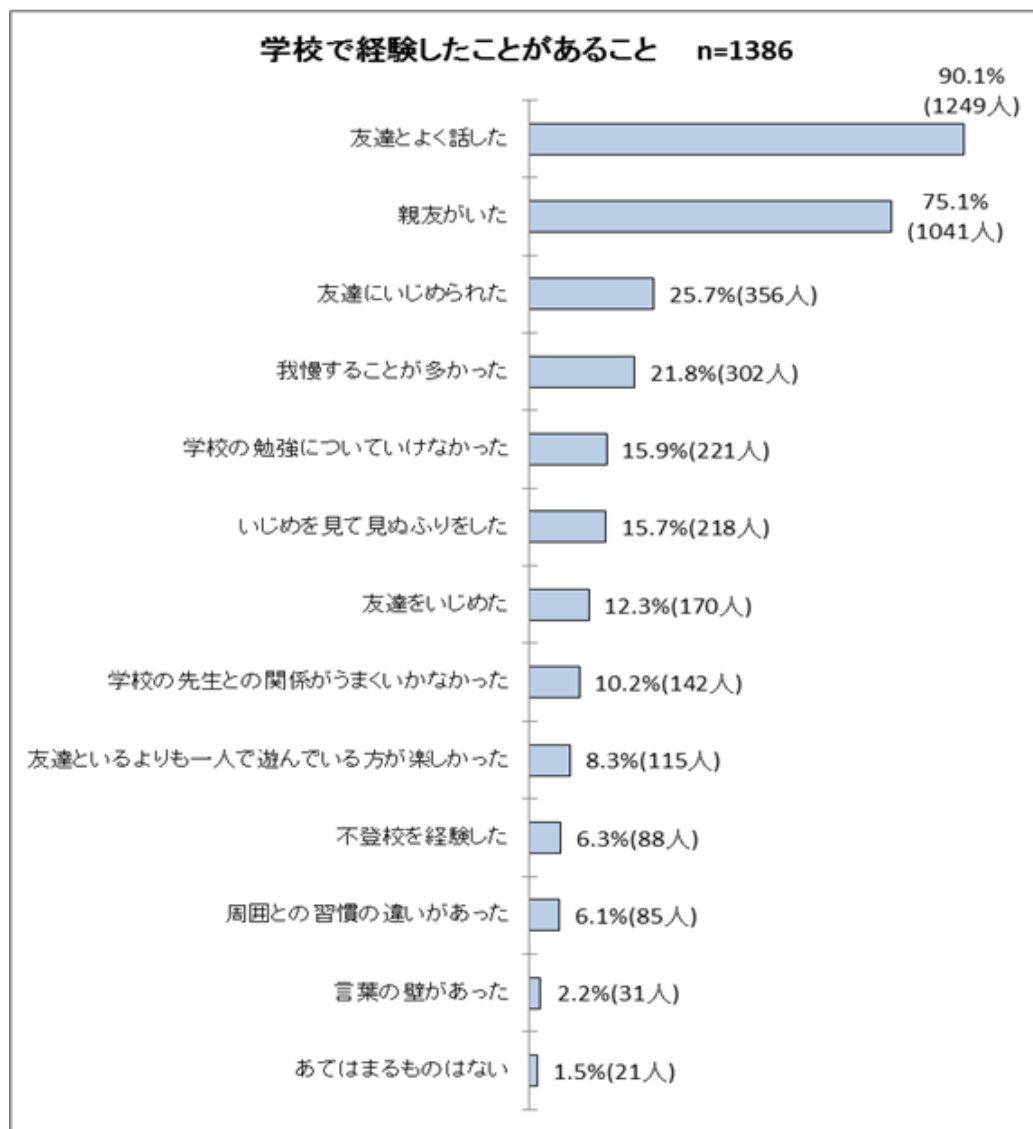
(4) Q15「あなたがふだん利用しているインターネット上のコミュニケーションサービスすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)」について

- ・上位3位までの回答は、「mixi・フェイスブックなどの SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) の閲覧・書き込み (46.9%)」「ウェブサイトまたはブログの閲覧・書き込み (38.2%)」「チャットまたはメッセージ (LINE・スカイプなど) (33.6%)」となった。
- ・一方、「コミュニケーションサービスを利用していない」者は 19.7%であった。



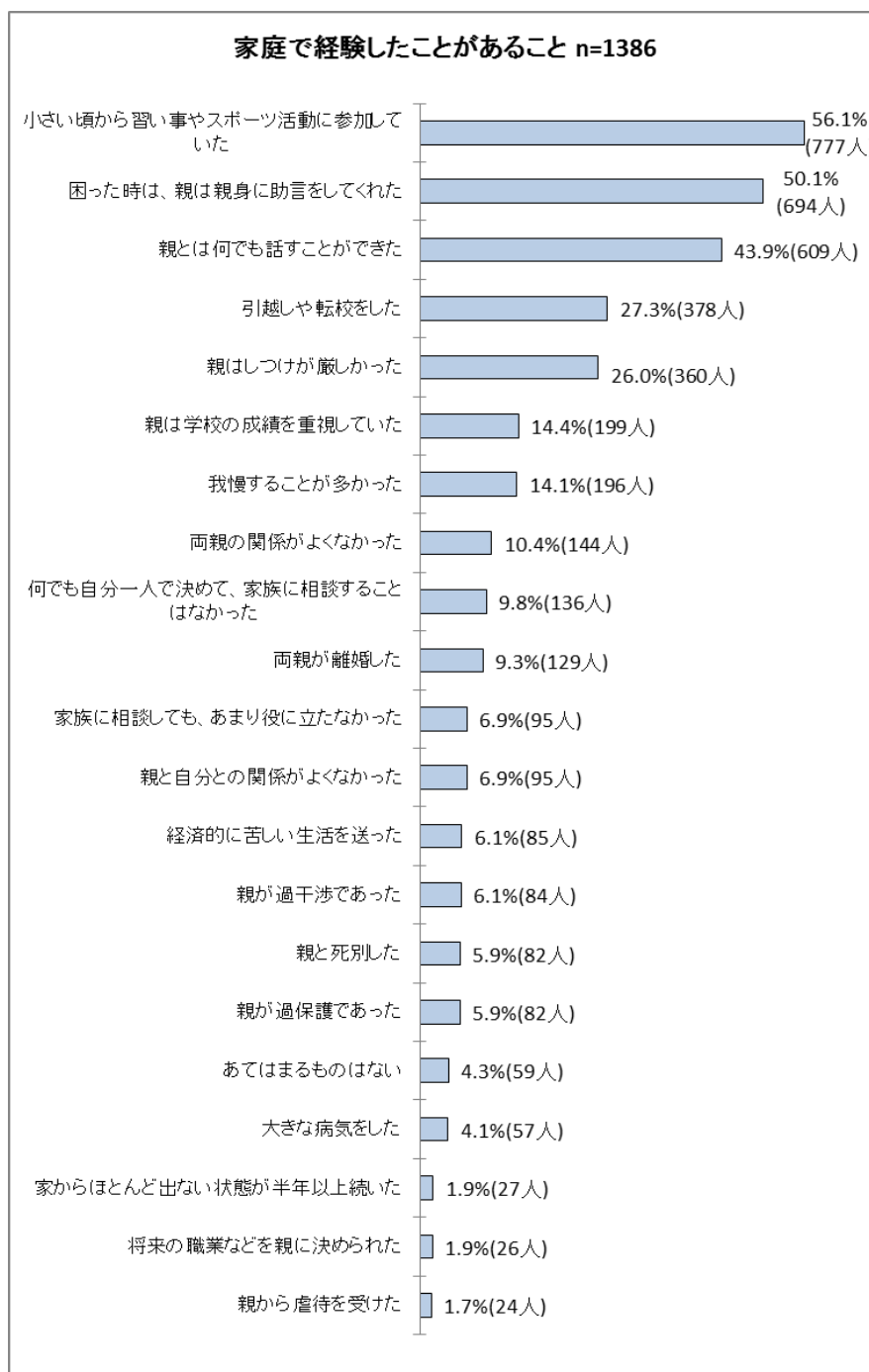
(5) Q28 「あなたはこれまでに、学校で次のような経験をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)」について

- ・「友達にいじめられた」者は 25.7%、「友達をいじめた」者は 12.3%であった。
- ・「不登校を経験した」者は 6.3%であった。



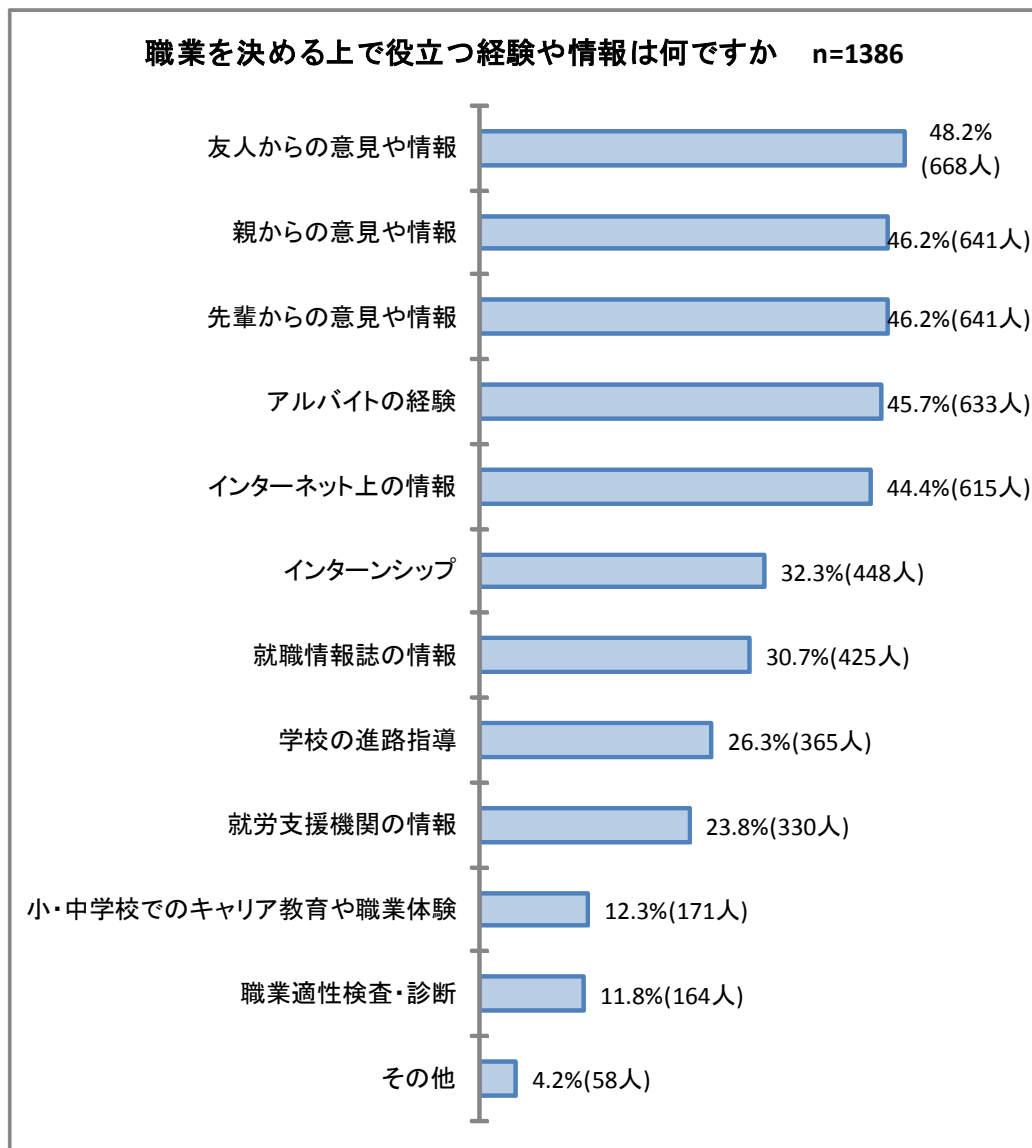
(6) Q29 「あなたはこれまでに、家庭で次のような経験をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)」について

- ・「家からほとんど出ない状態が半年以上続いた」者は 1.9%であった。
- ・「親から虐待を受けた」者は 1.7%であった。
- ・「経済的に苦しい生活を送った」者は 6.1%であった。



(7) Q31 「あなたが職業を決める上で参考になる、または役に立つと思うのはどのような経験や情報だと思いますか。(〇はいくつでも)」について

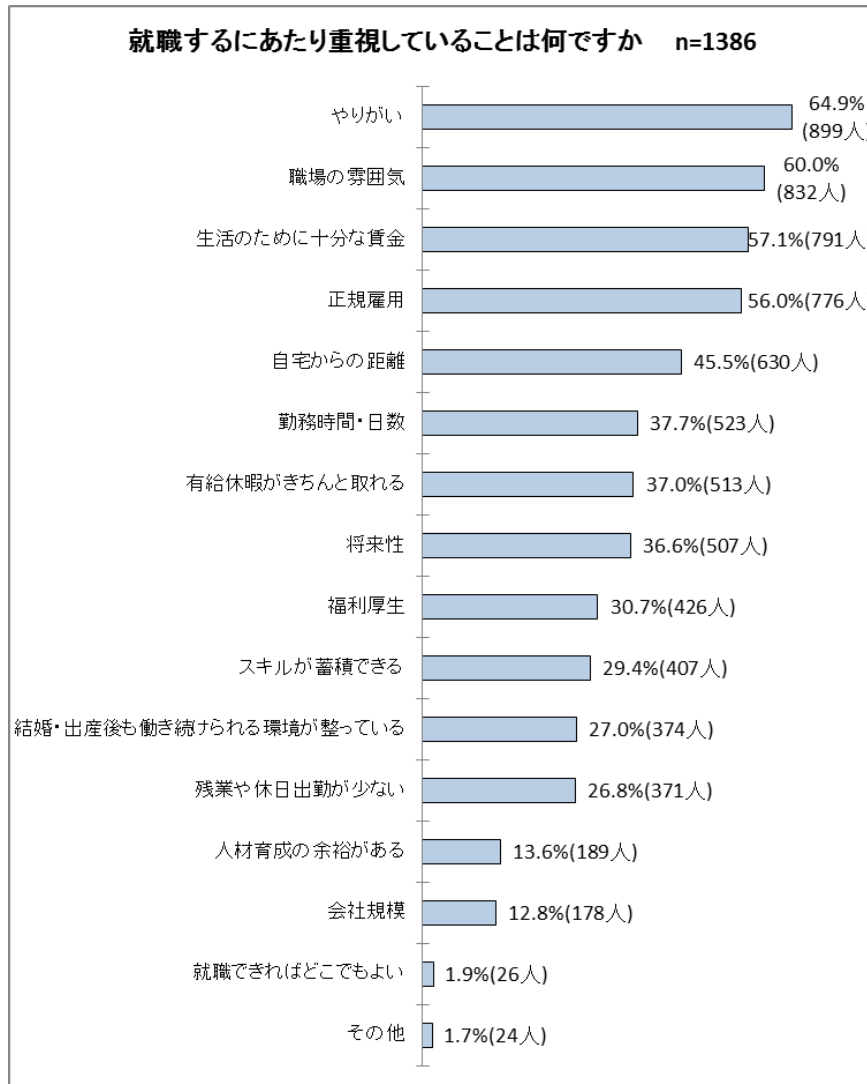
- ・上位5位までの回答は、「友人からの意見や情報 (48.2%)」「親からの意見や情報 (46.2%)」「先輩からの意見や情報 (46.2%)」「アルバイトの経験 (45.7%)」「インターネット上の情報 (44.4%)」となった。



(8) Q32「あなたが就職するにあたり重視していることはどのようなことですか。

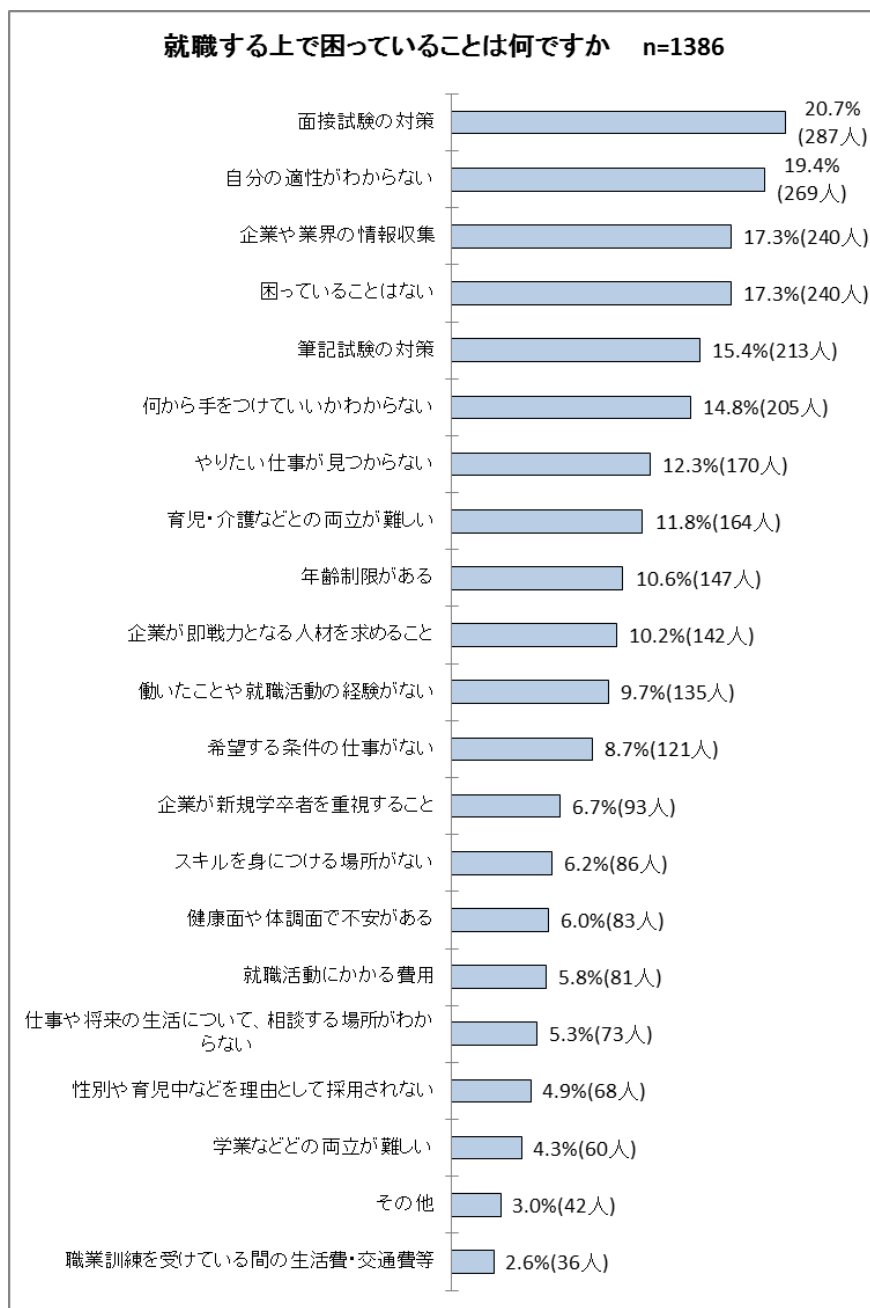
(〇はいくつでも)」について

- ・上位5位までの回答は、「やりがい (64.9%)」「職場の雰囲気 (60.0%)」「生活のために十分な賃金 (57.1%)」「正規雇用 (56.0%)」「自宅からの距離 (45.5%)」となった。



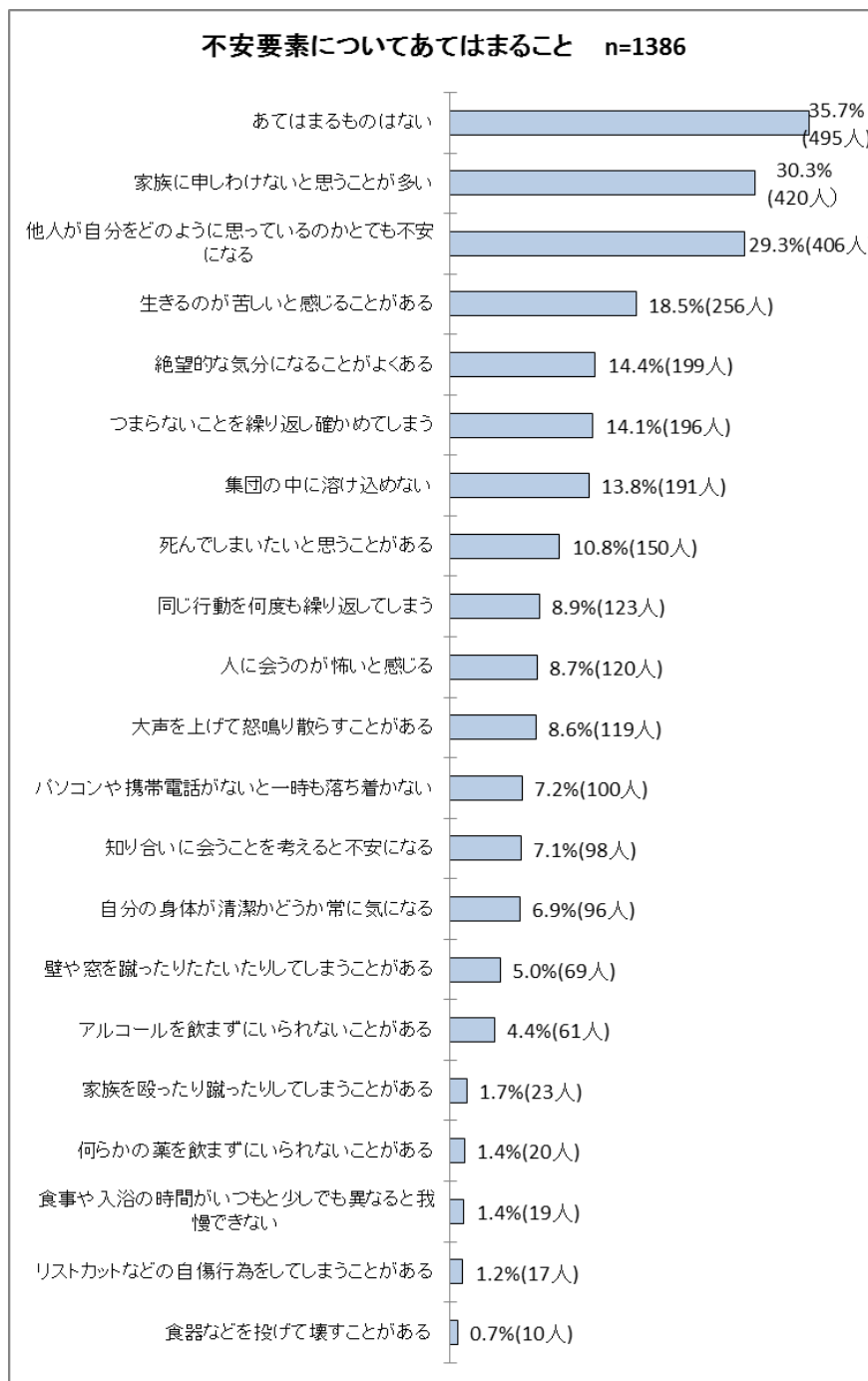
(9) Q33「就職する上であなたが困ったこと、または困っていることすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)」について

- ・上位5位まで(「困っていることはない(17.3%)」を除く)の回答は、「面接試験の対策(20.7%)」「自分の適性がわからない(19.4%)」「企業や業界の情報収集(17.3%)」「筆記試験の対策(15.4%)」「何から手をつけていいかわからない(14.8%)」となった。



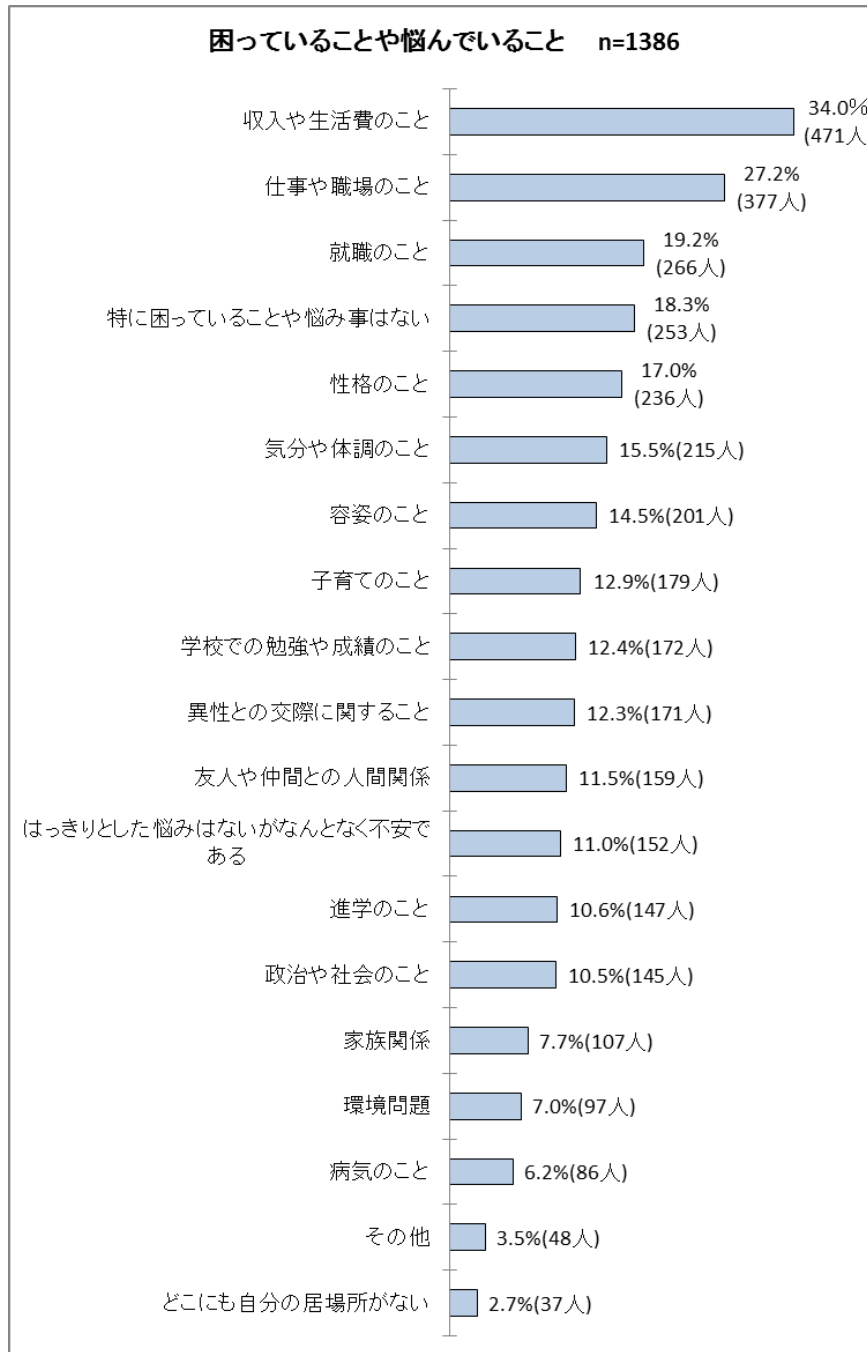
(10) Q35「次にあげられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)」について

- ・上位5位まで(「あてはまるものはない(35.7%)」を除く)の回答は、「家族に申しわけないと思うことが多い(30.3%)」「他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる(29.3%)」「生きるのが苦しいと感じることがある(18.5%)」「絶望的な気分になることがよくある(14.4%)」「つまらないことを繰り返し確かめてしまう(14.1%)」となった。



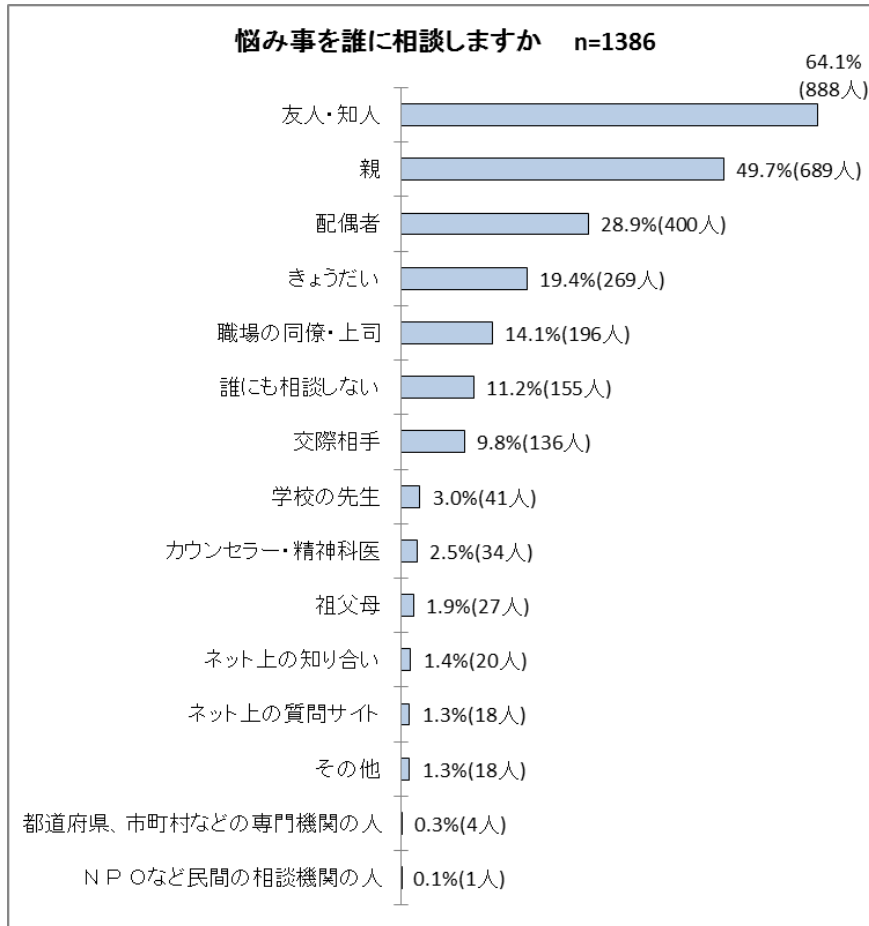
(11) Q38「あなたは現在困っていることや悩んでいることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)」について

- ・上位5位まで(「特に困っていることや悩み事はない(18.3%)」を除く)の回答は、「収入や生活費のこと(34.0%)」「仕事や職場のこと(27.2%)」「就職のこと(19.2%)」「性格のこと(17.0%)」「気分や体調のこと(15.5%)」となった。
- ・「どこにも自分の居場所がない」者は2.7%であった。



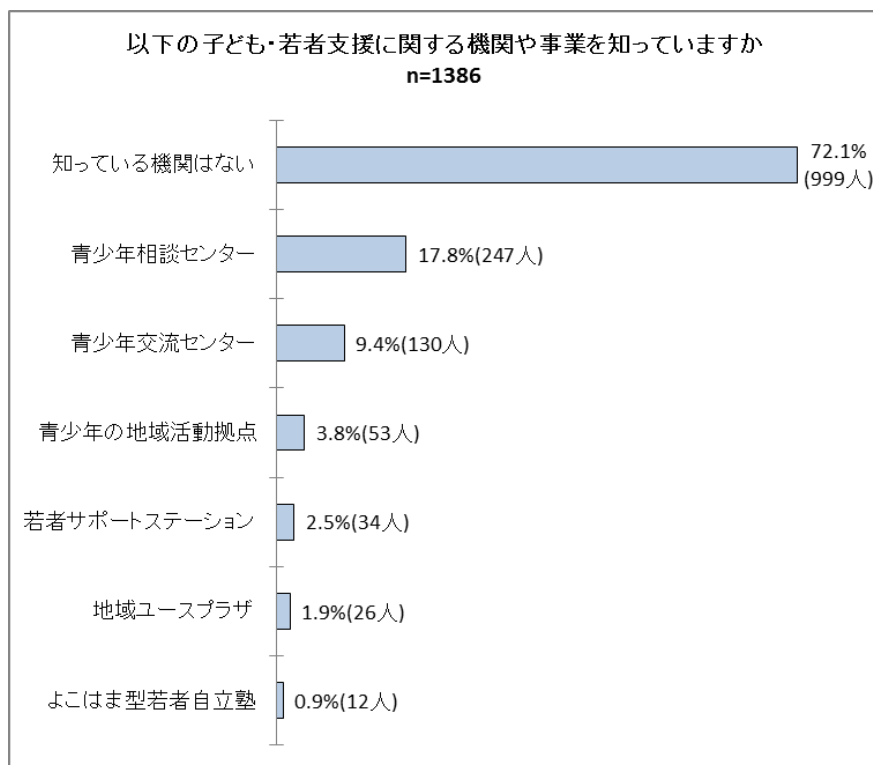
(12) Q40 「あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(〇はいくつでも)」について

- ・上位5位までの回答は、「友人・知人 (64.1%)」「親 (49.7%)」「配偶者 (28.9%)」「きょうだい (19.4%)」「職場の同僚・上司 (14.1%)」となった。
- ・機関に相談する者は、「都道府県、市町村などの専門機関の人 (0.3%)」「NPO など民間の相談機関の人 (0.1%)」であった。



(13) Q41「あなたは子ども・若者支援に関する以下の機関や事業を知っていますか。知っている項目に○をつけてください。(○はいくつでも)」について

- ・「青少年相談センター (17.8%)」「青少年交流センター (9.4%)」のほかは、5%未満の認知率であった。
- ・「知っている機関は無い」者は 72.1%であった。



7. 傾向分析について

回答結果について、次の3つの観点から傾向を分析するため、対象者を群として分け、比較検討を行った。

7-1. ひきこもりに関する傾向の分析

(1) 比較検討を行った対象群

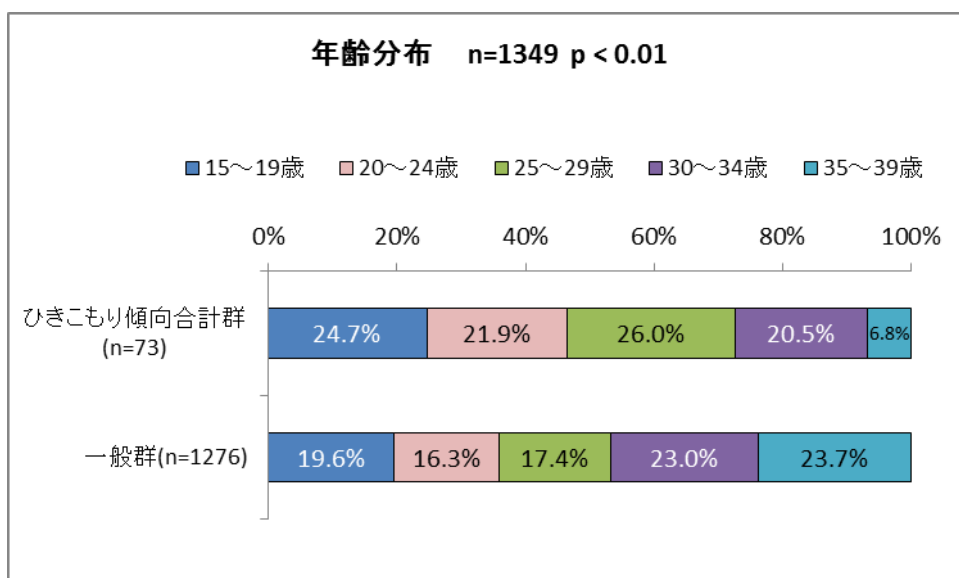
- ① ひきこもり傾向合計群（73人）
内閣府調査の定義による「ひきこもり群」と「ひきこもり親和群」を合わせた群
- ② 上記以外の一般群

(2) 主なポイント

- ① 子ども・若者支援を検討する上で活用できそうなデータ

◆ひきこもり傾向合計群の方が、次に挙げる傾向がありました。

[1] 若い年齢層が多い。

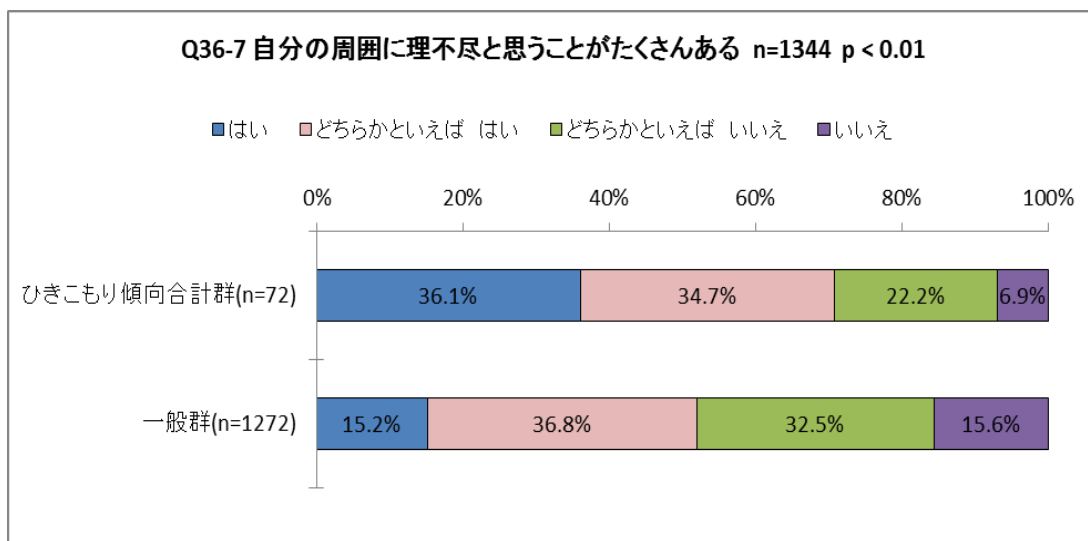


ひきこもり傾向合計群の方が、一般群に比べて、若い年齢層が多い傾向がありました。(p<0.01)

ひきこもり傾向 * Q3年齢

		ひきこもり傾向合計群(n=73)	一般群(n=1276)	
		15～19歳	人数 18 % 24.7%	人数 250 % 19.6%
20～24歳	人数 16 % 21.9%	人数 208 % 16.3%	224 16.6%	
25～29歳	人数 19 % 26.0%	人数 222 % 17.4%	241 17.9%	
30～34歳	人数 15 % 20.5%	人数 293 % 23.0%	308 22.8%	
35～39歳	人数 5 % 6.8%	人数 303 % 23.7%	308 22.8%	
合計	人数 73 % 100.0%	人数 1276 % 100.0%	1349 100.0%	

[2] 自分の周囲の事象に対して理不尽であると思う者の割合が高い。

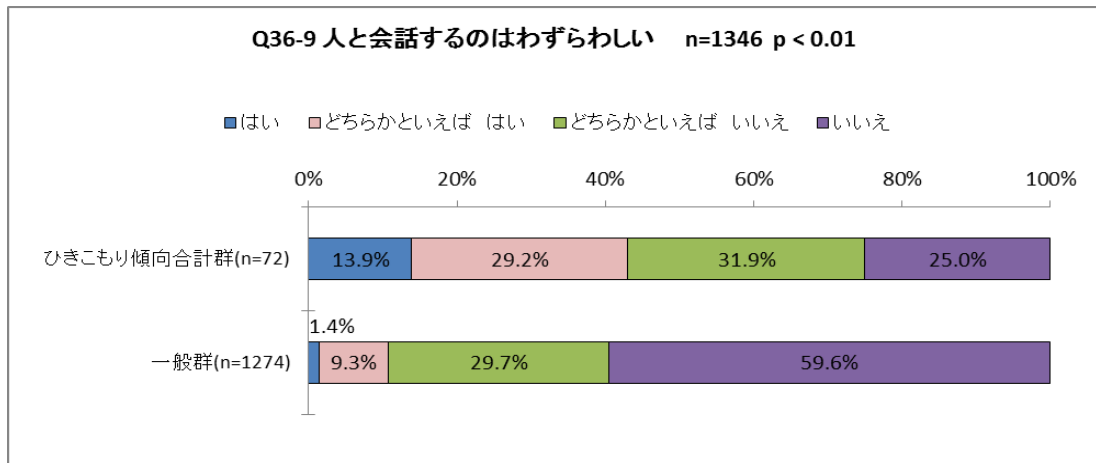


「自分の周囲に理不尽と思うことがたくさんある」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、70.8%、一般群では、52.0%でした。
ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、自分の周囲の事象に対して理不尽であると思う者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

ひきこもり傾向 * Q36-7自分の周囲に理不尽と思うことがたくさんある

		Q36-7自分の周囲に理不尽と思うことがたくさんある				合計
		はい	どちらかといえ ば はい	どちらかといえ ば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群(n=72)	人数	26	25	16	5	72
	%	36.1%	34.7%	22.2%	6.9%	100.0%
一般群(n=1272)	人数	193	468	413	198	1272
	%	15.2%	36.8%	32.5%	15.6%	100.0%
合計	人数	219	493	429	203	1344
	%	16.3%	36.7%	31.9%	15.1%	100.0%

[3] 人との会話をわずらわしいと感じる者の割合が高い

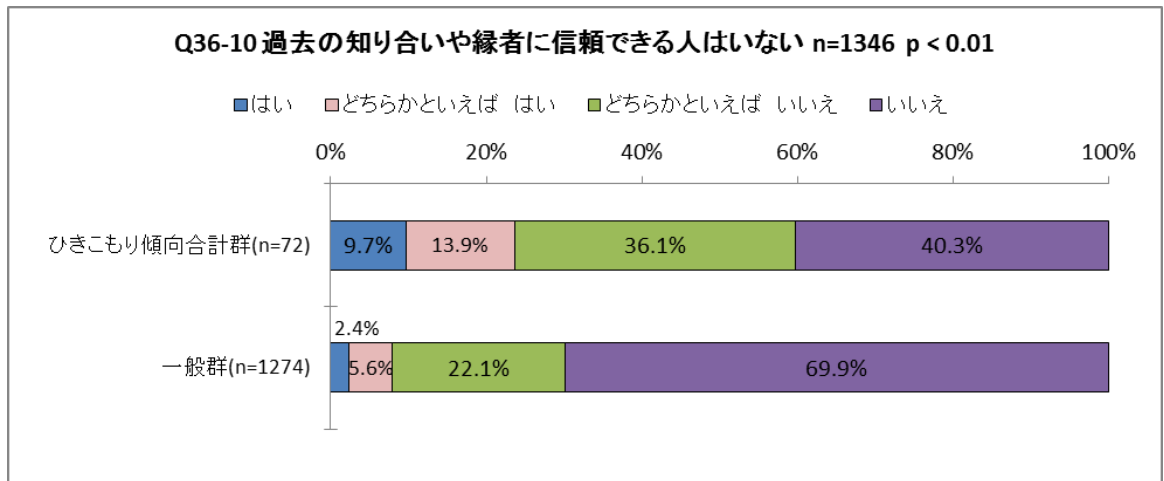


「人と会話するのはわずらわしい」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、43.1%、一般群では、10.8%でした。
 ひきこもり傾向合計群は、一般群よりも、人との会話をわずらわしいと感じる者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

ひきこもり傾向 * Q36-9人と会話するのはわずらわしい

		Q36-9人と会話するのはわずらわしい				合計
		はい	どちらかといえ ば はい	どちらかといえ ば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群(n=72)	人数	10	21	23	18	72
	%	13.9%	29.2%	31.9%	25.0%	100.0%
一般群(n=1274)	人数	18	119	378	759	1274
	%	1.4%	9.3%	29.7%	59.6%	100.0%
合計	人数	28	140	401	777	1346
	%	2.1%	10.4%	29.8%	57.7%	100.0%

[4] 知り合いを信頼できないと感じる者の割合が高い。

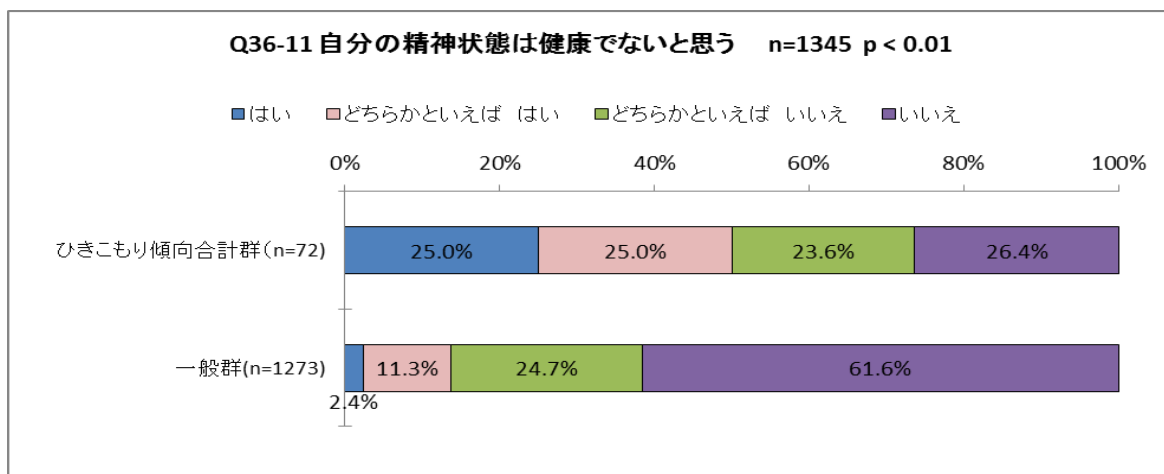


「過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない」の質問では、「はい」又は「どちらかと言えばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、23.6%、一般群では、7.9%でした。ひきこもり傾向合計群は、一般群よりも知り合いを信頼できないと感じる者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

ひきこもり傾向 * Q36-10過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない

		Q36-10過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない				合計
		はい	どちらかといえ ば はい	どちらかといえ ば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群(n=72)	人数	7	10	26	29	72
	%	9.7%	13.9%	36.1%	40.3%	100.0%
一般群(n=1274)	人数	30	71	282	891	1274
	%	2.4%	5.6%	22.1%	69.9%	100.0%
合計	人数	37	81	308	920	1346
	%	2.7%	6.0%	22.9%	68.4%	100.0%

[5] 自分の精神状態を健康ではないと感じる者の割合が高い。

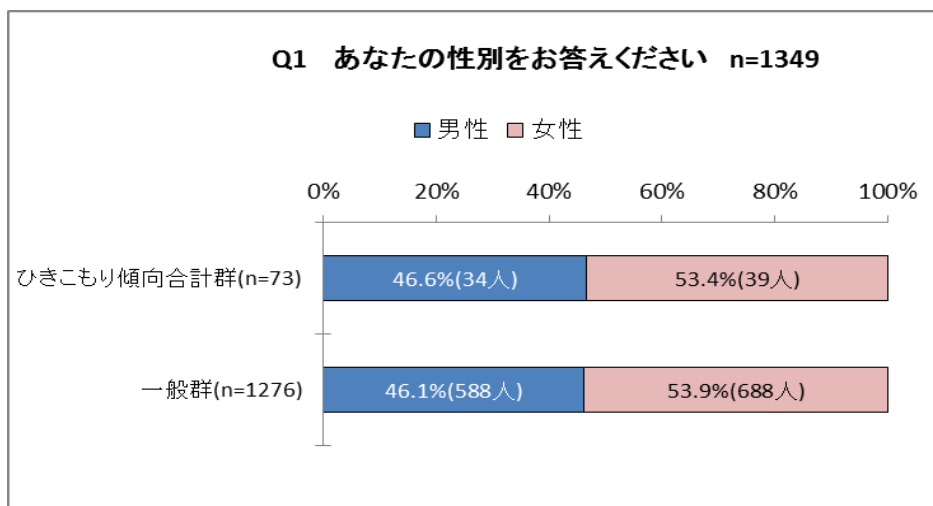


「自分の精神状態は健康ではないと思う」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、50%で、一般群では、13.7%でした。
 ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、自身の精神状態を健康ではないと感じる者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

ひきこもり傾向 * Q36-11自分の精神状態は健康でないと思う

		Q36-11自分の精神状態は健康でないと思う				合計
		はい	どちらかといえ ば はい	どちらかといえ ば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	18	18	17	19	72
	%	25.0%	25.0%	23.6%	26.4%	100.0%
一般群 (n=1273)	人数	31	144	314	784	1273
	%	2.4%	11.3%	24.7%	61.6%	100.0%
合計	人数	49	162	331	803	1345
	%	3.6%	12.0%	24.6%	59.7%	100.0%

◆ひきこもり傾向合計群と一般群とで、性別の割合に有意な差は見られませんでした。



回答者の性別は、ひきこもり傾向合計群では、「男性」(46.6%)、「女性」(53.4%)、一般群では、「男性」(46.1%)、「女性」(53.9%)でした。ひきこもり傾向合計群と一般群で、性別の割合に有意な差はありませんでした。

ひきこもり傾向 * 性別

		性別		合計
		男性	女性	
ひきこもり傾向合計群(n=73)	人数	34	39	73
	%	46.6%	53.4%	100.0%
一般群(n=1276)	人数	588	688	1276
	%	46.1%	53.9%	100.0%
合計	人数	622	727	1349
	%	46.1%	53.9%	100.0%

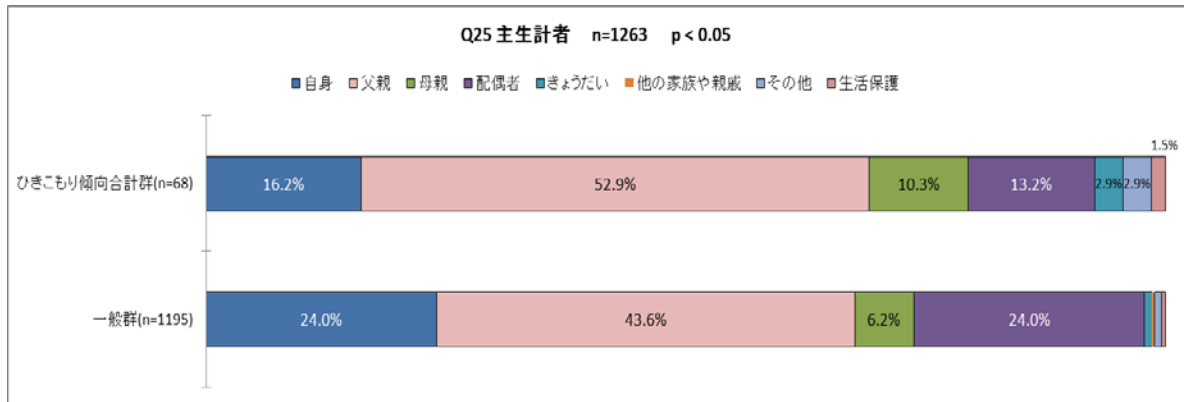
(参考)内訳

		男性	女性	全体
ひきこもり群	人数	6	4	10
	%	60.0%	40.0%	100.0%
ひきこもり親和群	人数	28	35	63
	%	44.4%	55.6%	100.0%
一般群	人数	588	688	1276
	%	46.1%	53.9%	100.0%

② ひきこもり傾向合計群の生活状況を示すデータ

◆ひきこもり傾向合計群の方が、次に挙げる傾向がありました。

[1] 主生計者が両親である者の割合が高い。

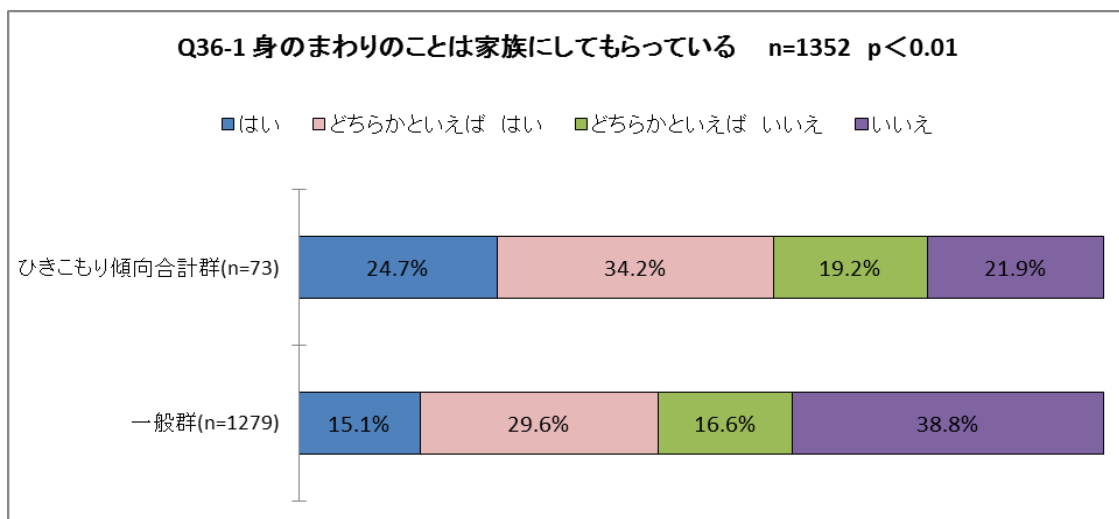


ひきこもり傾向合計群は、一般群と比較して、主生計者が自身や配偶者である割合が低い傾向がありました。
逆に主生計者が、両親である者の割合が一般群に比べて高い傾向がありました。(p<0.05)

ひきこもり傾向 * Q25主たる生計者は

		Q25主たる生計者は								合計
		自身	父親	母親	配偶者	きょうだい	他の家族や親戚	その他	生活保護	
ひきこもり傾向合計群(n=68)	人数	11	36	7	9	2	0	2	1	68
	%	16.2%	52.9%	10.3%	13.2%	2.9%	0.0%	2.9%	1.5%	100.0%
一般群(n=1195)	人数	287	521	74	287	9	3	9	5	1195
	%	24.0%	43.6%	6.2%	24.0%	0.8%	0.3%	0.8%	0.4%	100.0%
合計	人数	298	557	81	296	11	3	11	6	1263
	%	23.6%	44.1%	6.4%	23.4%	0.9%	0.2%	0.9%	0.5%	100.0%

[2] 身の回りのことは家族にしてもらっている。

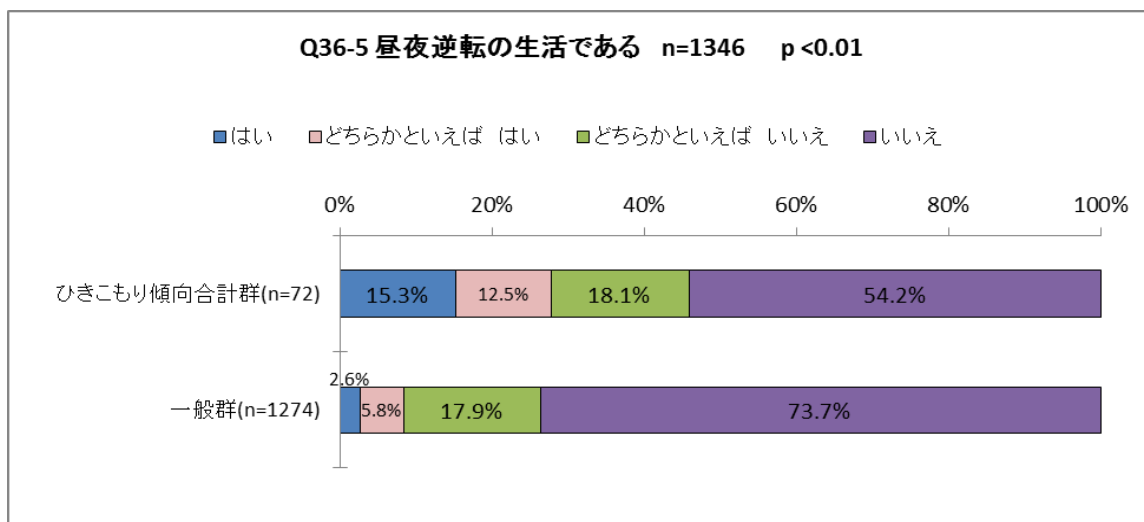


「身のまわりのことは家族にしてもらっている」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、58.9%、一般群では44.6%でした。
ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、身の回りのことは家族にしてもらっている傾向がありました。(p<0.01)

ひきこもり傾向 * Q36-1身の回りのことは家族にしてもらっている

		Q36-1身の回りのことは家族にしてもらっている				合計
		はい	どちらかといえ ば はい	どちらかといえ ば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群(n=73)	人数	18	25	14	16	73
	%	24.7%	34.2%	19.2%	21.9%	100.0%
一般群(n=1279)	人数	193	378	212	496	1279
	%	15.1%	29.6%	16.6%	38.8%	100.0%
合計	人数	211	403	226	512	1352
	%	15.6%	29.8%	16.7%	37.9%	100.0%

[3] 昼夜逆転の生活スタイルをとる者の割合が高い



「昼夜逆転の生活をしている」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、27.8%、一般群では、8.4%でした。ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、昼夜逆転の生活スタイルをとる者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

ひきこもり傾向 * Q36-5 昼夜逆転の生活である

		Q36-5 昼夜逆転の生活である				合計
		はい	どちらかといえ ば はい	どちらかといえ ば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群(n=72)	人数	11	9	13	39	72
	%	15.3%	12.5%	18.1%	54.2%	100.0%
一般群(n=1274)	人数	33	74	228	939	1274
	%	2.6%	5.8%	17.9%	73.7%	100.0%
合計	人数	44	83	241	978	1346
	%	3.3%	6.2%	17.9%	72.7%	100.0%

7-2. 就業等に関する傾向の分析

(1) 比較検討を行った対象群 (Q8 の回答をもとに就業等の種類に応じて群を分けた)

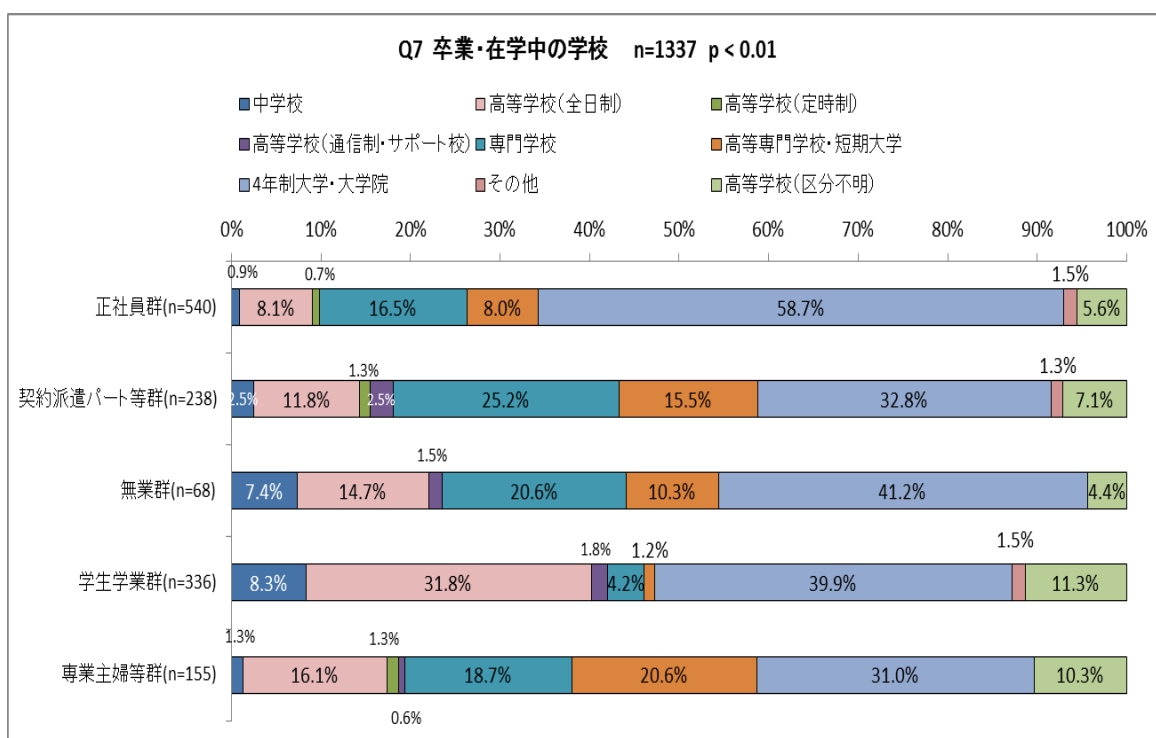
- ① 正社員として就労している群 (544 人)
- ② 契約社員、派遣社員、パート・アルバイト等で就労している群 (240 人)
- ③ 無業群 (69 人)
- ④ 学生や学業に専念している群 (336 人)
- ⑤ 専業主婦等の群 (157 人)

(2) 主なポイント

- ① 子ども・若者支援を検討する上で活用できそうなデータ。

[1] 就業等の種類と最終学歴に関連があった。

(正社員群と比較し、契約派遣パート等群や無業群は、中学校・高等学校・専門学校の割合が高かった。)



就業等の種類と最終学歴には、有意な差がありました。

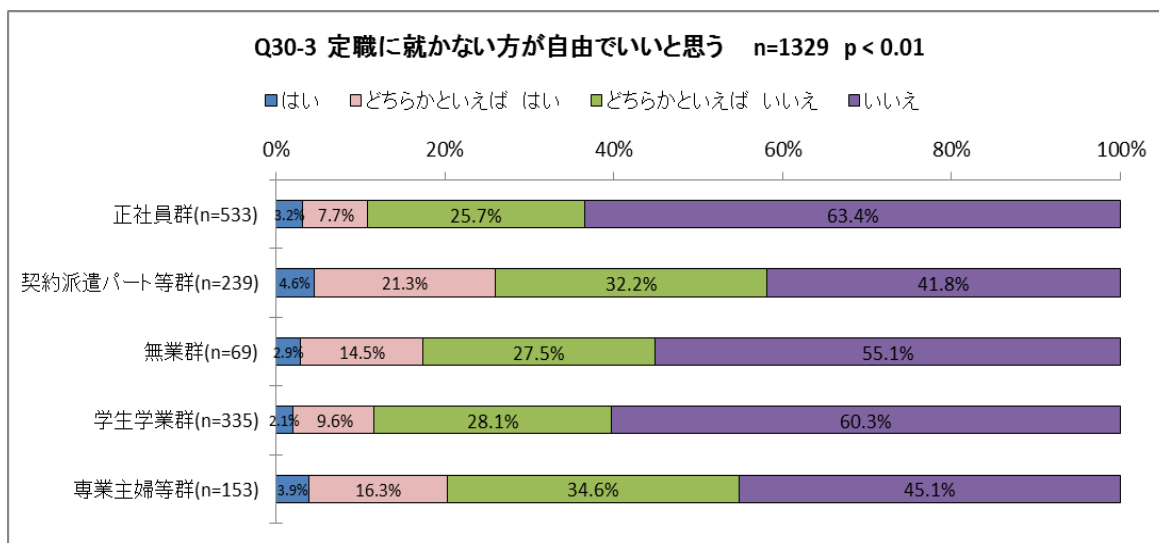
($p < 0.01$)

最終学歴が4年制大学・大学院である割合が58.7%と最も高かったのは、正社員群でした。

就業等の傾向 * Q7最終学校は？

		Q7最終学校は？									合計
		中学校	高等学校(全日制)	高等学校(定時制)	高等学校(通信制・サポート校)	専門学校	高等専門学校・短期大学	4年制大学・大学院	その他	高等学校(区分不明)	
正社員群(n=540)	人数	5	44	4	0	89	43	317	8	30	540
	%	0.9%	8.1%	0.7%	0.0%	16.5%	8.0%	58.7%	1.5%	5.6%	100.0%
契約派遣パート等群(n=238)	人数	6	28	3	6	60	37	78	3	17	238
	%	2.5%	11.8%	1.3%	2.5%	25.2%	15.5%	32.8%	1.3%	7.1%	100.0%
無業群(n=68)	人数	5	10	0	1	14	7	28	0	3	68
	%	7.4%	14.7%	0.0%	1.5%	20.6%	10.3%	41.2%	0.0%	4.4%	100.0%
学生学業群(n=336)	人数	28	107	0	6	14	4	134	5	38	336
	%	8.3%	31.8%	0.0%	1.8%	4.2%	1.2%	39.9%	1.5%	11.3%	100.0%
専業主婦等群(n=155)	人数	2	25	2	1	29	32	48	0	16	155
	%	1.3%	16.1%	1.3%	0.6%	18.7%	20.6%	31.0%	0.0%	10.3%	100.0%
合計	人数	46	214	9	14	206	123	605	16	104	1337
	%	3.4%	16.0%	0.7%	1.0%	15.4%	9.2%	45.3%	1.2%	7.8%	100.0%

[2] 「契約派遣パート等群」では、「定職に就かない方が自由でいいと思う」という設問に対し、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人の割合が高かった。



就業等の種類と「定職に就かない方が自由でいいと思う」の回答の間には、有意な差がありました。
($p < 0.01$)
「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人の割合が、最も高かったのは「契約派遣パート等群」(26.0%)でした。

就業等の傾向 * Q30-3定職に就かない方が自由でいいと思う

		Q30-3定職に就かない方が自由でいいと思う				合計
		はい	どちらかといえ ば はい	どちらかといえ ば いいえ	いいえ	
正社員群(n=533)	人数	17	41	137	338	533
	%	3.2%	7.7%	25.7%	63.4%	100.0%
契約派遣パート等群(n=239)	人数	11	51	77	100	239
	%	4.6%	21.3%	32.2%	41.8%	100.0%
無業群(n=69)	人数	2	10	19	38	69
	%	2.9%	14.5%	27.5%	55.1%	100.0%
学生学業群(n=335)	人数	7	32	94	202	335
	%	2.1%	9.6%	28.1%	60.3%	100.0%
専業主婦等群(n=153)	人数	6	25	53	69	153
	%	3.9%	16.3%	34.6%	45.1%	100.0%
合計	人数	43	159	380	747	1329
	%	3.2%	12.0%	28.6%	56.2%	100.0%

7-3. 中退者に関する傾向の分析

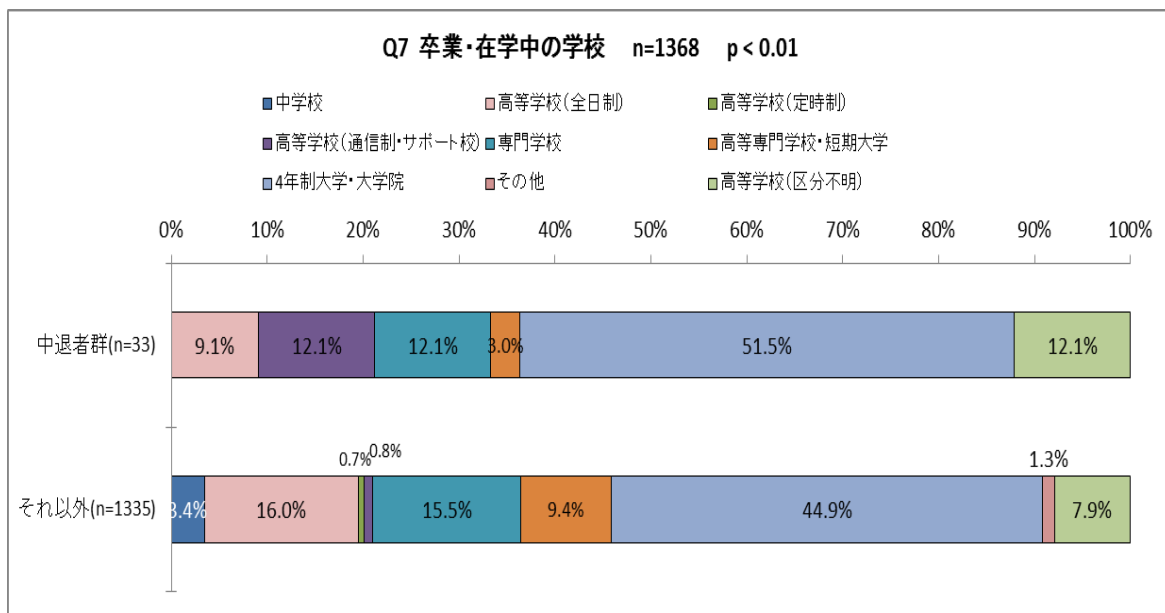
(1) 比較検討を行った対象群 (Q6 の回答をもとに群を分けた)

- ① 中退者群 (33 人)
- ② 上記以外の群

(2) 主なポイント

- ① 子ども・若者支援を検討する上で活用できそうなデータ。

[1] 中退者群は、それ以外の群と比較し、最終学歴が高等学校 (通信制・サポート校) と答えた人の割合が高かった。

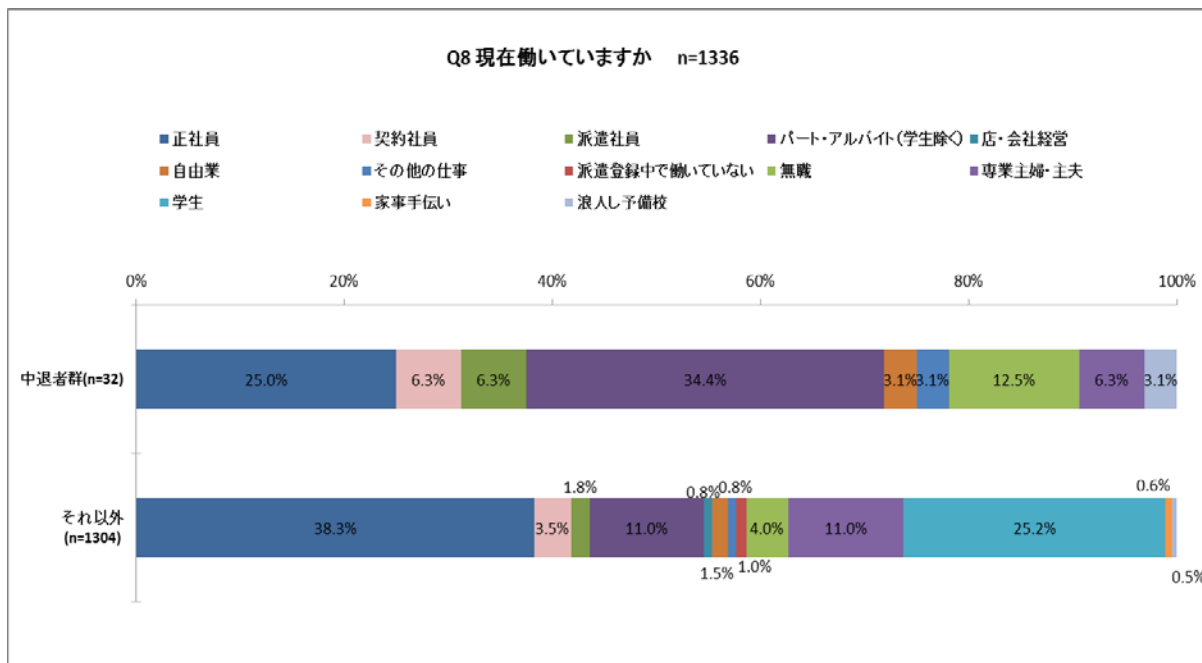


中退者群とそれ以外の群で、最終学歴には、有意な差がありました。(p<0.01)
最終学歴が、高等学校(通信制・サポート校)と答えた人の割合が、中退者群は
12.1%、それ以外の群は0.8%でした。

中退者傾向 * Q7最終学校は？

		Q7最終学校は？									合計
		中学校	高等学校(全日制)	高等学校(定時制)	高等学校(通信制・サポート校)	専門学校	高等専門学校・短期大学	4年制大学・大学院	その他	高等学校(区分不明)	
中退者群(n=33)	人数	0	3	0	4	4	1	17	0	4	33
	%	0.0%	9.1%	0.0%	12.1%	12.1%	3.0%	51.5%	0.0%	12.1%	100.0%
それ以外(n=1335)	人数	46	214	9	11	207	126	600	17	105	1335
	%	3.4%	16.0%	0.7%	0.8%	15.5%	9.4%	44.9%	1.3%	7.9%	100.0%
合計	人数	46	217	9	15	211	127	617	17	109	1368
	%	3.4%	15.9%	0.7%	1.1%	15.4%	9.3%	45.1%	1.2%	8.0%	100.0%

[2] 統計上の有意差の検定はできなかったものの、就業状況について中退者群とそれ以外の群を比較すると、正社員の割合は中退者群 25.0%・それ以外の群 38.3%、契約派遣パート等の割合は中退者群 50.0%・それ以外の群 17.1%、無職の割合は中退者群 12.5%・それ以外の群 4.0%であった。

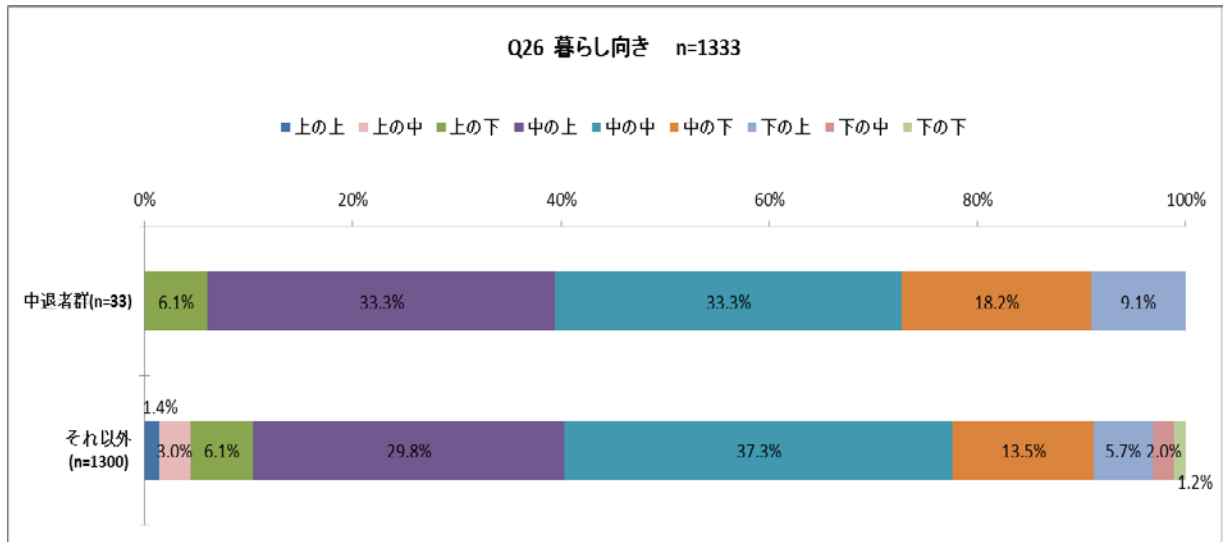


中退者傾向 * Q8現在働いていますか

		Q8現在働いていますか						
		正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト(学生除く)	店・会社経営	自由業	その他の仕事
中退者群(n=32)	人数	8	2	2	11	0	1	1
	%	25.0%	6.3%	6.3%	34.4%	0.0%	3.1%	3.1%
それ以外(n=1304)	人数	499	46	23	144	10	20	10
	%	38.3%	3.5%	1.8%	11.0%	0.8%	1.5%	0.8%
合計	人数	507	48	25	155	10	21	11
	%	37.9%	3.6%	1.9%	11.6%	0.7%	1.6%	0.8%

		Q8現在働いていますか						
		派遣登録中で働いていない	無職	専業主婦・主夫	学生	家事手伝い	浪人し予備校	合計
中退者群(n=32)	人数	0	4	2	0	0	1	32
	%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	3.1%	100.0%
それ以外(n=1304)	人数	13	52	144	329	8	6	1304
	%	1.0%	4.0%	11.0%	25.2%	0.6%	0.5%	100.0%
合計	人数	13	56	146	329	8	7	1336
	%	1.0%	4.2%	10.9%	24.6%	0.6%	0.5%	100.0%

[3] 中退者群とそれ以外の群とで、暮らし向き（実感）については有意な差が無かった



暮らし向き（実感）は、中退者群とそれ以外の群で、有意な差はありませんでした。

中退者傾向 * Q26暮らし向きは（実感で）

		Q26暮らし向きは（実感で）									合計
		上の上	上の中	上の下	中の上	中の中	中の下	下の上	下の中	下の下	
中退者群(n=33)	人数	0	0	2	11	11	6	3	0	0	33
	%	0.0%	0.0%	6.1%	33.3%	33.3%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%
それ以外(n=1300)	人数	18	39	79	388	485	176	74	26	15	1300
	%	1.4%	3.0%	6.1%	29.8%	37.3%	13.5%	5.7%	2.0%	1.2%	100.0%
合計	人数	18	39	81	399	496	182	77	26	15	1333
	%	1.4%	2.9%	6.1%	29.9%	37.2%	13.7%	5.8%	2.0%	1.1%	100.0%

第3章 追加調査の結果について

1. 追加調査の対象者選定について

- (1) アンケート調査回答者（1,386人）のうち、142人から追加調査協力の承諾をいただきました。
- (2) この142人のなかから、「過去（または現在）、何らかの困難を抱えていた方」を抽出しました。（27人）
- (3) 27人に対して、日程調整も兼ねて、改めて調査協力の意思確認を行ったところ、5人の方が日程調整に応じていただきました。
- (4) この5人に対してヒアリング調査を行う予定でしたが、直前または当日キャンセルとなった方もいたため、最終的には1月26日、2月2日の二日間で、3人の方に対してヒアリング調査を行いました。

2. 調査項目及び調査方法

・調査項目

- (1) 過去に経験した困難・課題と、困難・課題を克服するに至った道筋
- (2) 現在の状況と将来の希望や目標
- (3) 相談支援を行う機関等に期待すること・どのような支援の仕方が望ましいと思うか

※ 別添、シナリオの流れに従い、本市子ども・若者支援協議会委員より、1人あたり45分～1時間程度のヒアリング調査を行いました。

3. 結果概要

- (1) この調査では、相談支援機関につながらず、自らの力で困難を乗り越えたケースについて、何がポイントになったのかを中心に聴き取りを行いました。
- (2) 対象となった3人の聴き取りからは、以下の共通点がみつけられました。
 - ① 困難を乗り越えるにあたり、家族・友人の中に、仮に少人数であったとしても、信頼できる人がいたことが大きい。
 - ② 現在は、自分が置かれている状況（自分自身の問題、家族や友人関係、学校や職場の環境など）について、客観的に振り返ることができる姿勢がある。
 - ③ 何らかの困難を抱えている人にとっては、身近なところに、相談支援機関や多様な人と接する場や機会があると良い。
- (3) 個別の意見として、以下の点は今後の施策推進の参考になると考えられます。
 - ① 子どもたちが多様な大人たちと接するためにも、独身の大人が普通に子ども達と接する機会を設けるべき。
 - ② 学校の掲示板に、もっと地域の活動をPRする内容のものを掲示すべき。
 - ③ 小・中・高校にも、児童・生徒が気軽に悩みを相談できる場があると良い。

4. ヒアリング結果まとめ

No	アンケート調査の回答から得た情報			1 過去に経験した困難・課題	
	最終学歴	過去の困難	現状	①自身のこと、家族のこと、学校や職場のこと	②過去を振り返って
009 (女性 35 39歳)	専門学校卒業	いじめ・不登校・両親の離婚・経済的困窮・大きな病気を経験	パートとして就労／母親と同居／主な収入は母親／体調・健康面に不安を抱いている／	<ul style="list-style-type: none"> ・5歳の頃、両親が離婚し、母子家庭で育った。 ・ひとり親で母にも余裕がなく、ちょっとしたことでよく親とは対立していた。死にたくなることも多々あった。 ・親はマナー、社会性については厳しかった。 ・あまり笑わない子、不貞腐れ少女と周りからは言われていた。喘息もあった。 ・アレルギーのため給食は食べられず、マクロビオティック(玄米菜食)を取り入れていた。 ・自分の生意気な性格や食の違もあり、小2で転校してから、いじめにはよくあっていた。 ・祖父母が近くに住んでいたため、よくそこへ逃げていた。 ・高校2年の時に病気で入院。留年してからは、教室では完全に無視される存在になっていた。教室にいるのは辛かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・納得できないのに、無理に親に謝らされるのが嫌だった。 ・母と1対1だったので、人との接し方がわからなかった。 ・祖父母宅に逃げ込み、学校に行かない日も多かった。祖父母はそのことについて何も言わなかった。 ・一人でまんがやテレビを見る時間に心が休まった。 ・中学になり、仲の良い友達が1～2人で来てからは、いじめもなくなっていった。 ・高校のとき、留年してからはパソコン部(図書室)が逃げ場になっていた。司書の先生が助けてくれた。 ・小中高と、必ず親友と呼べる友達がいたことが大きい。自分から声をかけて、友達を作るようにしていた。 ・20代前半のとき、祖父母が相次いで亡くなったことが辛かった。
159 (男性 15 19歳)	4年制大学・大学院在学中	いじめを経験／家でも学校でも我慢を強いられていた	学生／両親・姉と同居／家族への依存度は低め／人付き合いに自信がない／家からで出ないことへの共感・欲求が見られる／破壊行動・依存傾向(薬物)が見られる／精神科医・カウンセラーを相談相手として挙げている	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の頃、2回の転校を経験。5年生の頃からからかいの対象になり、中2でいじめにあう。 ・自分から話しかけることが苦手で、いつも受動的、小さな頃から、友達づくりが苦手だった。 ・家族は、子どもの自主性を重んじるタイプ。あれをやれ、これをやれとは言われなかったため、何もやらないまま過ごしてきてしまった。 ・小5の頃、母が重い病気に罹り、心配した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最悪だったのはいじめ。 ・ただ、いじめに合っているときも、周りに自分を気にしてくれている友達がいいて、救われた。そのため不登校にはならなかった。 ・中3でクラス替えになり、いじめはなくなった。 ・高2からは、自分を理解してくれる人が増えた。文化祭、修学旅行を通じて、友人ができた。
431 (男性 30 34歳)	4年制大学・大学院卒業	特になし	契約社員として就労／両親と同居／人付き合いに対しやや苦手意識／家からで出ないことへの共感・欲求が見られる／家族に申し訳ないと思うことがあると回答／周囲からの評価に不安／同じ行動を繰り返す傾向／仕事や職場のこと・性格のこと・収入や生活費のことについて悩み	<ul style="list-style-type: none"> ・家族内での問題で悩みごとは無かった。親・兄弟とコミュニケーションは取れていた。 ・中学時代(2～3年の頃)に、容姿のことなどで、クラスのリーダー的存在や女子生徒からのからかいがあった。 ・中学・高校は部活に入ってなかった。 ・大学卒業後27歳くらいまで、アルバイトをしながら本格的にバンド活動。しばらく自分のやりたいことをやってきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今の自分の境遇について、自分では自分の生き方として納得しているが、家族に対しては期待に応えられなかったという思いがある。 ・中学時代に受けたからかいが影響しているのか、人からどう見られているか気になる。自分に自信が無い。メンタル的にあまり強くないと感じる。 ・中学時代は、ゲームばかりしていて、おしゃれに興味が無く、髪も長くバサバサだった。清潔感があまり無く、からかい易い雰囲気だったのではない。

No	2 現在の状況と将来の希望や目標について			
	①現在の生活状況	②生きがいや楽しみ	③困りごとや悩み	④将来の希望や目標
009 (女性 35歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・数年前に親が倒れてから、介護が必要となっている。週3回アルバイトで働きながら、母の介護をする状況。 ・職場は、プライベート重視で、シフト調整等も融通を利かせてくれる。 ・介護については、介護保険の制度のなかで、なんとかやれている状況。 ・バイト収入＋預貯金＋祖父母の遺産(自宅等)で特に生活上困ることはない。 ・母との関係は課題もあったが、倒れてからはそれなりにうまくやっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵を描いたり、料理教室に通ったりするのは楽しい。 ・毎日、働くのは精神的にも身体的にも辛いので、介護がなくとも、いまのペースで生活するのが自分にはあっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の負担が軽くなるという。 ・介護保険の制度が、もっと当事者目線のものになると良いと思っている。 ・子どもが好きなので、子どもたちと接したいが、未婚・子どものいない大人が、子ども達と接する機会がない。無理に接しようとするとう怪しい人になってしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まんが、イラストで稼ぐことができれば良い。料理教室を開くことも夢だ。 ・母が元気になってくれること。 ・結婚はしたい。でも出会いがない。 ・家の近くで働きたい。
159 (男性 15歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、経営学部の大学2年生 ・大学に友達ほとんどいない ・6月に一度休んだ際、友達と思っていた同期生から、自分が休んだことに気付かれなかったことにショックを受け、信用できなくなった。 ・2年間授業に出ている教授が、自分のことを覚えていないことにガッカリし、大学は休みがちになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最近音楽をボーッと聴くことが多い。音の編集、作曲っぽいこともやる。 ・ひとりでゲームをしている時が楽しいと思っていたが、最近友達と遊ぶことの方が楽しいと思いはじめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学に2時間近くかかる。講義の時間に合わせて乗り継ぎ等を考えることが面倒くさい、疲れてしまう。 ・自分の感情を出していたら、周囲から疎まれるようになった。そこで自分の感情を抑え続けていたら、声が小さくなった。何のために生きているのか、と考えることも多くなった。 ・考え過ぎて眠れない。寝てもすっきりしない日が多い。 ・部屋が汚くがっかりする。片付けようと思うが、気持ちが乗らない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりで出来る、自分の趣味を見つけた。趣味があれば、働くこと、辛いことがあったときにも耐えられると思う。 ・TOEICを受けみて、どのくらい点が取れるのか試してみたい。 ・知り合いのところでアルバイトをすることが決まった。来週から仕事を始める。バイトをがんばってみたい。楽しみと不安が半々。 ・心を明るくもって、ハキハキした声で話せるようになりたい。改善したい。
431 (男性 30歳)	<ul style="list-style-type: none"> ・実家に、父・母と一緒に暮らしている。 ・嘱託職員として、月～金の8:45～17:15まで、病院に勤務。時間外勤務も1日平均1時間30分程度ある。 ・カルテなど診療情報の管理・分析などを行なっている。 ・地域に中学以来のなんでも話せる友人が居る。 ・女性の友人も何人か居るが、自分の踏み込んだ部分と話せる人はいない。彼女は5年くらい居ない。結婚しようとはまでは思ったことはない。 ・バンド活動は辞めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年程前から、以前勤めていた会社からの紹介で、草野球のクラブチームに所属。休日は試合を楽しむなど、プライベートは忙しく、充実している。 ・野球をやっていることで、内面的にもバランスをとることができていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事について、業務内容に不満は無いが、採用形態の不安や賃金面での不満を感じる。 ・雇用契約の更新が年度単位で4回までとなり、来年度末で一旦契約が切れる。職場環境を変えるリスクはできれば避けたいと、継続(再契約)を希望しているが、雇い止めの可能性もある。 ・昇給・退職金無しであること、また社会保険の面で正規職員との格差がある。 ・自分に自信が無い。内面的に強くなる方法を見つけられず、自分の中でストレスを抱えて、追い込んでしまうことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までと同じ会社で仕事を続けることが第一希望だが、インターネットで病院の求人情報を見て、応募するなどの活動も行っている。現在の職業・職務内容を変えず、スキルアップして、必要とされる人材になりたい。 ・将来性を考え、もう少し安定した形態で仕事をしたい。 ・自分に自信を持ってコミュニケーションできるようにしたい。

No	3 相談支援機関を行う機関等に期待すること		
	①相談支援機関を利用した経験	②相談支援機関に期待すること、 どういう支援が望ましいか	③期待する支援
009 (女性) 35539歳)	<p>・支援機関は利用したことがない。</p>	<p>・家庭+学校+もう一つの場が欲しい。もう一つの場とは、趣味・地域活動などの場。 ・また、学校の掲示板等を含め、子どもたちが目にするところに、地域の活動等のPRをすべき。</p>	<p>・小学校低学年の頃に、子ども同士が集う場がもっとあれば良い。同年代で接する機会、みんなで遊べる場があればよかった。 ・地域に文科系のサークル(お絵かき部など)があると良い。 ・独身の大人たちと子ども達が接する場を作って欲しい。子どものいない大人は、子ども達に触れあうことを許されない。 ・子どもと接することで、独身男性・女性も子どもを持ちたいと思うようになるのではないかと。 ・子ども達も、いろいろな大人と接することで良い効果がある気がする。</p>
159 (男性) 15519歳)	<p>・大学の学生相談室に、週1~2回相談に依っている。 ・友達づくりをしに大学に依っているわけではないのに、友達のことに囚われすぎて勉強しなくなるのは、おかしいと気づき始めた。 ・心を明るくもてれば、声も行動も明るくなるはず、というアドバイスをもらっている。</p>	<p>・話を聞いてくれるだけではなく、どうしたら良いかのアドバイスをもらいたい。自分はいつも受身なので。 ・小中の頃、親以外に相談できる人がいなかった。大学だけでなく、小、中、高校にも学生相談室があったらよかった。</p>	<p>・相談室だけでなく、ああいう人になりたい、という先輩、大人が周りにいなかった。いればよかったと思う。 ・親から、これをやってみたら、というヒントが欲しかった。</p>
431 (男性) 30534歳)	<p>・一時期(2年程前)、精神的に不安定だった時に、メンタルクリニックを受診(2~3か月間)。軽度のうつ病として薬の処方を受けたが、変化は感じられなかった。 ・公的機関への相談経験は無い。</p>	<p>・メンタルクリニックでのカウンセリングは受けてみたいが、予約が埋まっており、スケジュールが合わない。</p>	<p>・メンタルクリニックでは、流れ作業的な診療だったので止めてしまった。</p>

参考資料

1. アンケート調査票
2. 単純集計結果
3. クロス集計結果
4. 追加調査シナリオ

アンケート調査票

Q1 あなたの性別をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

Q2 あなたがお住まいの区はどちらですか。(○はひとつだけ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|----------|
| 1 青葉区 | 6 金沢区 | 11 都筑区 | 16 保土ヶ谷区 |
| 2 旭区 | 7 港南区 | 12 鶴見区 | 17 緑区 |
| 3 泉区 | 8 港北区 | 13 戸塚区 | 18 南区 |
| 4 磯子区 | 9 栄区 | 14 中区 | 19 横浜市以外 |
| 5 神奈川区 | 10 瀬谷区 | 15 西区 | |

Q3 あなたの年齢をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 15～19 歳 | 3 25～29 歳 | 5 35～39 歳 |
| 2 20～24 歳 | 4 30～34 歳 | |

Q4 現在あなたと同居しているご家族に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----|------|--------------|
| 1 父 | 5 弟 | 9 配偶者 |
| 2 母 | 6 妹 | 10 ご自身のお子さん |
| 3 兄 | 7 祖父 | 11 その他の人 () |
| 4 姉 | 8 祖母 | 12 同居家族はいない |

Q5 現在同居している人は合計で何人ですか。あなたも含めた人数を記入してください。(数字で具体的に)

() 人

Q6 あなたは現在学校に通っていますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-------------|----------|
| 1 現在在学している | 3 中退した |
| 2 すでに卒業している | 4 休学中である |

Q7 あなたが最後に卒業(中退を含む)した、または現在在学している学校はどれですか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 中学校 | 3 専門学校 |
| 2 高等学校 | 4 高等専門学校・短期大学 |
| ア 全日制 イ 定時制 | 5 4年制大学・大学院 |
| ウ 通信制・サポート校 | 6 その他 () |

Q8 あなたは現在働いていますか。(○はひとつだけ)

- 1 正社員として働いている
- 2 契約社員として働いている
- 3 派遣社員として働いている
- 4 パート・アルバイト (学生アルバイトは除く) として働いている
- 5 自分で店、会社を営んでいる
- 6 自由業 (個人で専門知識や技術を生かした職業) をしている
- 7 その他の仕事 ()

- 8 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
- 9 無職

- 10 専業主婦・主夫
- 11 学生
- 12 家事手伝いをしている
- 13 浪人として予備校などに通っている

【Q8 で、8または9に○をつけた方のみ、Q9～Q12 にお答えください。】

Q9 あなたはいままで働いていたことはありますか。(○はひとつだけ)

- 1 正社員として働いていた
- 2 契約社員として働いていた
- 3 派遣社員として働いていた
- 4 パート・アルバイトとして働いていた (学生時代の経験は含めません)
- 5 働いたことはない

Q10 あなたは現在就職または進学を希望していますか。(○はひとつだけ)

1 就職希望

2 進学希望

3 どちらも希望していない

Q11 へ

Q13 へ (3 ページ)

Q12 へ

Q11 あなたは現在就職活動をしていますか。(○はひとつだけ)

1 している

2 していない

Q13 へ (3 ページ)

Q12 へ

Q12 へ (3 ページ)

Q12 あなたが現在働いていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1 病気・怪我のため | 11 独立・開業に向けた準備のため |
| 2 メンタル的な問題・不安がある | 12 急いで就職する必要がない |
| 3 希望する職種がない | 13 働く意義がわからない |
| 4 就職できないのであきらめた | 14 家族の育児・介護等のため |
| 5 就職活動の方法がわからない | 15 知識・能力に自信がない |
| 6 どんな仕事につけばいいのか
わからない | 16 人間関係に不安がある |
| 7 労働条件・環境に対する不安 | 17 家族からの経済的支援がある |
| 8 資格試験等の準備のため | 18 福祉制度を利用している |
| 9 芸能・芸術などのプロを目指して
勉強中・修業中であるため | 19 働く意欲がわからない |
| 10 ボランティア・社会貢献活動に
従事しているため | 20 特に理由はない |
| | 21 その他 () |

【Q13～Q16 はすべての方がお答えください。】

Q13 あなたがふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----------|----------|---------------|
| 1 テレビを見る | 6 ゲームをする | 11 寝転がっている |
| 2 ラジオを聴く | 7 勉強をする | 12 インターネット |
| 3 本を読む | 8 仕事をする | 13 メール |
| 4 新聞を読む | 9 家事をする | 14 あてはまるものはない |
| 5 音楽を聴く | 10 育児をする | |

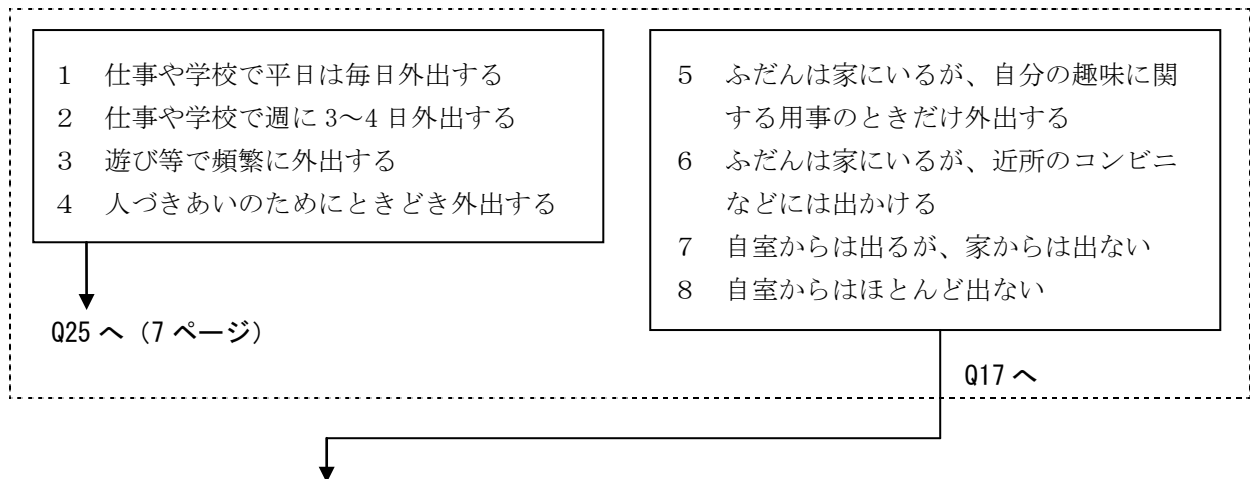
Q14 以下に挙げられた通信手段の中で、あなたがふだん利用しているものすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 携帯電話での通話 | 5 パソコンでのメール |
| 2 携帯電話でのメール | 6 固定電話 |
| 3 スマートフォンでの通話 | 7 ファックス |
| 4 スマートフォンでのメール | 8 あてはまるものはない |

Q15 あなたがふだん利用しているインターネット上のコミュニケーションサービスすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 電子掲示板の閲覧・書き込み
- 2 チャットまたはメッセージ（LINE・スカイプなど）
- 3 ウェブサイトまたはブログの閲覧・書き込み
- 4 mixi・フェイスブックなどのSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の閲覧・書き込み
- 5 ツイッター
- 6 オンラインゲーム
- 7 その他（ ）
- 8 コミュニケーションサービスを利用していない

Q16 あなたはふだんどのくらい外出しますか。(○はひとつだけ)



【Q16 で、5~8に○をつけた方のみ、Q17~Q26 をお答えください。】

Q17 現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

() 歳

Q18 あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○はひとつだけ)

- 1 6か月未満
- 2 6か月~1年
- 3 1年~3年
- 4 3年~5年
- 5 5年~7年
- 6 7年以上

Q19 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|------------------------------|--|---|-----------------------------------|
| 1 不登校
ア 小学校 イ 中学校
ウ 高校 | 2 大学になじめなかった
3 受験に失敗した
ア 高校 イ 大学
4 就職活動がうまくいかなかった | 5 職場になじめなかった
6 人間関係がうまくいかなかった
ア 友人 イ 父 ウ 母
エ その他の人 () | 7 病気(病名:)
8 妊娠した
9 その他 () |
|------------------------------|--|---|-----------------------------------|

Q20 現在の状態について、あなたは関係機関に相談したいと思いますか。(○はひとつだけ)

- | | | | |
|---------|------|--------|--------|
| 1 非常に思う | 2 思う | 3 少し思う | 4 思わない |
|---------|------|--------|--------|

Q21 現在の状態や今後のことについて、あなたはどのような機関なら、相談したいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--|------------|
| 1 親身に聴いてくれる相談機関
2 医学的な助言をくれる相談機関
3 心理学の専門家がいる相談機関
4 精神科医がいる相談機関
5 就労を支援してくれる相談機関
6 同じ悩みを持つ人と出会える相談機関
7 匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる相談機関
8 無料で相談できる相談機関
9 公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPOなど)が運営する相談機関
10 自宅に専門家が来てくれる機関
11 自宅に専門家ではない民間団体のスタッフや地域のボランティアが来てくれる相談機関
12 いろいろな悩みをまとめて聞いてくれる相談機関
13 自分のペースでゆっくりと段階的な支援をしてくれる相談機関
14 自宅から近い相談機関
15 相談がなくても気軽に行くことができるフリースペースがある相談機関
16 その他 () | 17 相談したくない |
|--|------------|

Q23 へ (6 ページ)

Q22 へ (6 ページ)

Q22 あなたが相談したくないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1 自分(または家族)のことを知られ
たくない | 5 行ったことを人に知られたくない |
| 2 行っても解決できないと思う | 6 お金がかかると思う |
| 3 何をきかれるか不安に思う | 7 その他() |
| 4 相手にうまく話せないと思う | 8 相談機関が近くにない |

Q23 現在の状態について、あなたは関係機関に相談したことがありますか。または現在相談していますか。(〇はひとつだけ)

1 ある

Q24 へ

2 ない

Q25 へ (7 ページ)

Q24 あなたはどのような機関に相談しましたか。相談したことがある機関に〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|--------------------------|
| 1 区役所・福祉保健センター | 9 青少年相談センター |
| 2 児童相談所 | 10 若者サポートステーション |
| 3 教育総合相談センター | 11 地域ユースプラザ |
| 4 学校・スクールカウンセラー | 12 民間施設(いわゆる「フリースクール」など) |
| 5 精神保健福祉センター(こころの健康相談センター) | 13 警察・ユーステレホン |
| 6 病院・診療所 | 14 その他の施設・機関
(具体的に) |
| 7 発達障害者支援センター | |
| 8 ハローワーク・ジョブカフェなどの
就労支援機関 | |

【Q25～Q42 はすべての方がお答えください。】

Q25 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。生計を立てている方が複数いる場合は、もっとも多く家計を負担している人をお答えください。また、主に仕送りで生計を立てている方は、その仕送りを主にしてくれている人をお答えください。(○はひとつだけ)

- | | |
|---------|----------------|
| 1 あなた自身 | 5 きょうだい |
| 2 父親 | 6 他の家族や親戚 |
| 3 母親 | 7 その他 () |
| 4 配偶者 | 8 生活保護などを受けている |

Q26 あなたの家の暮らし向き(衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べてみて、上の上から下の下までのどれにあたると思われますか。あなたの実感でお答えください。(○はひとつだけ)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 上の上 | 4 中の上 | 7 下の上 |
| 2 上の中 | 5 中の中 | 8 下の中 |
| 3 上の下 | 6 中の下 | 9 下の下 |

Q27 あなたはこれまでに、以下の病気やけがで通院や入院をしたことがありますか。通院・入院したことのある病気に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|----------|----------------|
| 1 心臓や血管の病気 | 4 精神的な病気 | 7 骨折・大ケガ |
| 2 肺の病気 | 5 目・耳の病気 | 8 その他の病気 |
| 3 胃や腸の病気 | 6 皮膚の病気 | () |
| | | 9 通院・入院したことはない |

Q28 あなたはこれまでに、学校で次のような経験をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1 友達とよく話した | 7 いじめを見て見ぬふりをした |
| 2 親友がいた | 8 我慢することが多かった |
| 3 友達といるよりも一人で遊んでいる方が楽しかった | 9 学校の勉強についていけなかった |
| 4 不登校を経験した | 10 学校の先生との関係がうまくいかなかった |
| 5 友達をいじめた | 11 言葉の壁があった |
| 6 友達にいじめられた | 12 周囲との習慣の違いがあった |
| | 13 あてはまるものはない |

Q29 あなたはこれまでに、家庭で次のような経験をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1 親とは何でも話すことができた | 10 両親の関係がよくなかった |
| 2 親はしつけが厳しかった | 11 引越しや転校をした |
| 3 困ったときは、親は親身に助言をしてくれた | 12 大きな病気をした |
| 4 何でも自分一人で決めて、家族に相談することはなかった | 13 家からほとんど出ない状態が半年以上続いた |
| 5 将来の職業などを親に決められた | 14 両親が離婚した |
| 6 家族に相談しても、あまり役に立たなかった | 15 親と死別した |
| 7 親は学校の成績を重視していた | 16 親から虐待を受けた |
| 8 小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた | 17 親が過保護であった |
| 9 親と自分との関係がよくなかった | 18 親が過干渉であった |
| | 19 経済的に苦しい生活を送った |
| | 20 我慢をすることが多かった |
| | 21 あてはまるものはない |

Q30 次に挙げられた職業に関する意見の中で、あなたの考えにあてはまる番号に○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

1. いつか自分の夢を実現させる仕事につきたい

- | | | | |
|------|---------------|----------------|-------|
| 1 はい | 2 どちらかといえば はい | 3 どちらかといえば いいえ | 4 いいえ |
|------|---------------|----------------|-------|

2. 仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない

- | | | | |
|------|---------------|----------------|-------|
| 1 はい | 2 どちらかといえば はい | 3 どちらかといえば いいえ | 4 いいえ |
|------|---------------|----------------|-------|

3. 定職に就かない方が自由でいいと思う

- | | | | |
|------|---------------|----------------|-------|
| 1 はい | 2 どちらかといえば はい | 3 どちらかといえば いいえ | 4 いいえ |
|------|---------------|----------------|-------|

Q31 あなたが職業を決める上で参考になる、または役に立つと思うのはどのような経験や情報だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1 親からの意見や情報 | 7 学校の進路指導 |
| 2 友人からの意見や情報 | 8 小・中学校でのキャリア教育や職業体験 |
| 3 先輩からの意見や情報 | 9 インターンシップ (就業体験) |
| 4 インターネット上の情報 | 10 アルバイトの経験 |
| 5 就職情報誌の情報 | 11 職業適性検査・診断 |
| 6 ハローワークや若者サポートステーションなど就労支援機関の情報 | 12 その他 () |

Q32 あなたが就職するにあたり重視していることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1 正規雇用(正社員) | 10 残業や休日出勤が少ない |
| 2 やりがい | 11 会社規模 |
| 3 将来性 | 12 結婚・出産後も働き続けられる環境が整っている |
| 4 スキルが蓄積できる | 13 勤務時間・日数 |
| 5 人材育成の余裕がある | 14 有給休暇がきちんと取れる |
| 6 生活のために十分な賃金 | 15 就職できればどこでもよい |
| 7 職場の雰囲気 | 16 その他() |
| 8 福利厚生 | |
| 9 自宅からの距離 | |

Q33 就職する上であなたが困ったこと、または困っていることすべてに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| 1 企業や業界の情報収集 | 12 何から手をつけていいかわからない |
| 2 筆記試験の対策 | 13 学業などとの両立が難しい |
| 3 面接試験の対策 | 14 育児・介護などとの両立が難しい |
| 4 希望する条件の仕事がない | 15 就職活動にかかる費用 |
| 5 年齢の制限がある | 16 職業訓練を受けている間の生活費・交通費等 |
| 6 性別や育児中などを理由として採用されない | 17 健康面や体調面で不安がある |
| 7 企業が即戦力となる人材を求めること | 18 仕事や将来の生活について、相談する場所が分からない |
| 8 企業が新規学卒者を重視すること | 19 困っていることはない |
| 9 スキルを身につける場所がない | 20 働いたことや就職活動の経験がない |
| 10 やりたい仕事が見つからない | 21 その他() |
| 11 自分の適性がわからない | |

Q34 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる番号に〇をつけてください。(〇は各項目につきひとつ)

1. 大事なことを決めるときは、親や教師の言うことに従わないと不安だ

- | | | | |
|------|---------------|----------------|-------|
| 1 はい | 2 どちらかといえば はい | 3 どちらかといえば いいえ | 4 いいえ |
|------|---------------|----------------|-------|

2. 大事なことを自分ひとりで決めてしまうのは不安だ

- | | | | |
|------|---------------|----------------|-------|
| 1 はい | 2 どちらかといえば はい | 3 どちらかといえば いいえ | 4 いいえ |
|------|---------------|----------------|-------|

3. 初対面の人とすぐに会話できる自信がある

- | | | | |
|------|---------------|----------------|-------|
| 1 はい | 2 どちらかといえば はい | 3 どちらかといえば いいえ | 4 いいえ |
|------|---------------|----------------|-------|

4. 人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

5. 自分の感情を表に出すのが苦手だ

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

6. 周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

7. たとえ親であっても自分のやりたいことに口出ししないで欲しい

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

8. 自分の生活のことで人から干渉されたくない

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

9. 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

10. 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

11. 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

12. 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

Q35 次にあげられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 家族に申しわけないと思うことが多い
- 2 生きるのが苦しいと感じることがある
- 3 死んでしまいたいと思うことがある
- 4 絶望的な気分になることがよくある
- 5 人に会うのが怖いと感じる
- 6 知り合いに会うことを考えると不安になる
- 7 他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる
- 8 集団の中に溶け込めない
- 9 つまらないことを繰り返し確かめてしまう
- 10 同じ行動を何度も繰り返してしまう
- 11 食事や入浴の時間がいつもと少しでも異なると我慢できない
- 12 自分の身体が清潔かどうか常に気になる
- 13 家族を殴ったり蹴ったりしてしまうことがある
- 14 壁や窓を蹴ったりたたいたりしてしまうことがある
- 15 食器などを投げて壊すことがある
- 16 大声を上げて怒鳴り散らすことがある
- 17 パソコンや携帯電話がないと一時も落ち着かない
- 18 リストカットなどの自傷行為をしてしまうことがある
- 19 アルコールを飲まずにいられないことがある
- 20 何らかの薬を飲まずにいられないことがある
- 21 あてはまるものはない

Q36 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。(○は各項目につきひとつ)

1. 身の回りのことは家族(親など)にしてもらっている

- 1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

2. 食事や掃除は家族(親など)まかせである

- 1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

3. 朝、決まった時間に起きられる

- 1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

4. 深夜まで起きていることが多い

- 1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

5. 昼夜逆転の生活をしている

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

6. テレビや新聞、インターネットで政治や経済・社会報道によく目を通す

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

7. 自分の周辺には理不尽と思うことがたくさんある

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

8. 誰とも口を利かずに過ごす日が多い

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

9. 人と会話をするのはわずらわしい

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

10. 過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

11. 自分の精神状態は健康ではないと思う

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

12. 自分の今の状態について考えることがよくある

1 はい 2 どちらかといえば はい 3 どちらかといえば いいえ 4 いいえ

Q37 次にあげられたことは、あなたのご家族にどのくらいあてはまりますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1 私の家族は暖かい
- 2 家族とはよく話をしている
- 3 私たち家族は、仲がよいと思う
- 4 家族から十分に愛されていると思う
- 5 あてはまるものはない

Q38 あなたは現在困っていることや悩んでいることがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|---------------------------|
| 1 学校での勉強や成績のこと | 11 性格のこと |
| 2 進学のこと | 12 容姿のこと |
| 3 就職のこと | 13 政治や社会のこと |
| 4 仕事や職場のこと | 14 環境問題 |
| 5 子育てのこと | 15 収入や生活費のこと |
| 6 友人や仲間との人間関係 | 16 どこにも自分の居場所がない |
| 7 家族関係 | 17 はっきりした悩みは無いがなんとなく不安である |
| 8 異性との交際に関する事 | 18 その他 () |
| 9 気分や体調のこと | 19 特に困っていることや悩みごとはない |
| 10 病気のこと | |

Q39 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。(○はひとつだけ)

- | | | | |
|---------|------|--------|--------|
| 1 非常に思う | 2 思う | 3 少し思う | 4 思わない |
|---------|------|--------|--------|

Q40 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------|----------------------|
| 1 親 | 9 カウンセラー・精神科医 |
| 2 きょうだい | 10 都道府県、市町村などの専門機関の人 |
| 3 友人・知人 | 11 NPO など民間の相談機関の人 |
| 4 交際相手 | 12 ネット上の知り合い |
| 5 配偶者 | 13 ネット上の質問サイト |
| 6 祖父母 | 14 その他 () |
| 7 学校の先生 | 15 誰にも相談しない |
| 8 職場の同僚・上司 | |

Q41 あなたは子ども・若者支援に関する以下の機関や事業(別紙参照)を知っていますか。知っている項目に○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 青少年交流センター | 4 地域ユースプラザ |
| 2 青少年の地域活動拠点 | 5 若者サポートステーション |
| 3 青少年相談センター | 6 よこはま型若者自立塾 |
| | 7 知っている機関は無い |

Q42 この調査でお聞きできなかったことについて、調査員が個別にあなたのお考えなどをお聞きする面接調査を実施する場合、ご協力いただけますか。(○はひとつだけ)

1 協力してもよい	2 協力したくない
-----------	-----------

※ 面接調査をお願いする場合がありますので、以下にお名前、ご連絡先をご記入ください。(なお、面接調査の際、本調査票を調査員である「横浜市子ども・若者支援協議会」委員に提供します。)

お名前	
ご住所	
電話番号 または メールアドレス	

Q42 で「1 協力してもよい」とお答えの方のみ、ご記入ください。

※ **本調査は、原則「無記名」としております。**

上記以外の方は、ご記名いただく必要はありません。

質問は以上で終了です。長い間ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

単純集計結果

* 無回答、不正回答、不明等は、集計から除きました。

* 1386人から回答

Q1 性別

	人数	%
男性	639	46.2
女性	744	53.8
合計	1383	100.0

Q2 居住区

	人数	%
青葉区	113	8.2
旭区	87	6.3
泉区	89	6.4
磯子区	45	3.2
神奈川区	60	4.3
金沢区	62	4.5
港南区	89	6.4
港北区	138	10.0
栄区	39	2.8
瀬谷区	72	5.2
都筑区	76	5.5
鶴見区	91	6.6
戸塚区	137	9.9
中区	27	1.9
西区	33	2.4
保土ヶ谷区	84	6.1
緑区	63	4.5
南区	77	5.6
横浜市以外	4	0.3
合計	1386	100.0

Q3 年齢

	人数	%
15～19歳	273	19.7
20～24歳	229	16.6
25～29歳	252	18.2
30～34歳	313	22.6
35～39歳	316	22.8
合計	1383	100.0

Q4 同居家族(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
父と同居	656	47.3
母と同居	756	54.5
兄と同居	127	9.2
姉と同居	138	10.0
弟と同居	171	12.3
妹と同居	182	13.1
祖父と同居	50	3.6
祖母と同居	110	7.9
配偶者と同居	499	36.0
ご自身のお子さんと同居	402	29.0
その他の人	46	3.3
同居家族はいない	87	6.3

Q5 同居人数(回答者含む)

	人数	%
1人	88	6.4
2人	171	12.4
3人	401	29.1
4人	464	33.7
5人	178	12.9
6人	51	3.7
7人	18	1.3
8人	5	0.4
25人	1	0.1
合計	1377	100.0

Q6 あなたは現在学校に通っていますか。

	人数	%
現在在学している	383	27.9
すでに卒業している	958	69.7
中退した	33	2.4
休学中である	1	0.1
合計	1375	100.0

Q7 あなたが最後に卒業(中退含む)した、または現在在学している学校はどれですか。

	人数	%
中学校	47	3.4
高等学校(全日制)	217	15.8
高等学校(定時制)	9	0.7
高等学校(通信制・サポート校)	15	1.1
専門学校	213	15.5
高等専門学校・短期大学	128	9.3
4年制大学・大学院	619	45.0
その他	17	1.2
高等学校(区分不明)	111	8.1
合計	1376	100.0

Q8 あなたは現在働いていますか。

	人数	%
正社員	512	38.0
契約社員	48	3.6
派遣社員	25	1.9
パート・アルバイト(学生時代を除く)	156	11.6
店・会社経営	11	0.8
自由業	21	1.6
その他の仕事	11	0.8
派遣登録中で働いていない	13	1.0
無職	56	4.2
専業主婦・主夫	149	11.1
学生	329	24.4
家事手伝い	8	0.6
浪人し予備校	7	0.5
合計	1346	100.0

Q9 あなたはいままで働いていたことがありますか。

	人数	%
正社員	61	38.6
契約社員	9	5.7
派遣社員	9	5.7
パート・アルバイト(学生時代を除く)	30	19.0
働いたことはない	49	31.0
合計	158	100.0

Q10 あなたは現在就職または進学を希望していますか。

	人数	%
就職希望	127	35.9
進学希望	106	29.9
どちらも希望していない	121	34.2
合計	354	100.0

Q11 あなたは現在就職活動をしていますか。

	人数	%
している	57	36.5
していない	99	63.5
合計	156	100.0

Q12 あなたが現在働いていない理由は何ですか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
病気・怪我のため	20	1.4
メンタル的な問題・不安がある	22	1.6
希望する職種がない	7	0.5
就職できないのであきらめた	9	0.6
就職活動の方法がわからない	8	0.6
どんな仕事につけばいいのかわからない	9	0.6
労働条件・環境に対する不安	11	0.8
資格試験準備等のため	7	0.5
芸能・芸術などのプロを目指して勉強中・修行中であるため	12	0.9
ボランティア・社会貢献活動に従事しているため	2	0.1
独立・開業に向けた準備のため	2	0.1
急いで就職する必要がない	14	1.0
働く意義がわからない	4	0.3
家族の育児・介護等のため	88	6.3
知識・能力に自信がない	17	1.2
人間関係に不安がある	13	0.9
家族からの経済的支援がある	10	0.7
福祉制度を利用している	3	0.2
働く意欲がわかない	8	0.6
特に利用はない	13	0.9
その他	29	2.1

Q13 あなたがふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。

(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
テレビを見る	1042	75.2
ラジオを聴く	94	6.8
本を読む	457	33.0
新聞を読む	179	12.9
音楽を聴く	626	45.2
ゲームをする	384	27.7
勉強をする	356	25.7
仕事をする	136	9.8
家事をする	579	41.8
育児をする	332	24.0
寝転がっている	599	43.2
インターネット	880	63.5
メール	536	38.7
あてはまるものはない	16	1.2

Q14 以下に挙げられた通信手段の中で、あなたがふだん利用しているものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
携帯電話での通話	586	42.3
携帯電話でのメール	658	47.5
スマートフォンでの通話	660	47.6
スマートフォンでのメール	774	55.8
パソコンでのメール	462	33.3
固定電話	296	21.4
ファックス	89	6.4
あてはまるものはない	11	0.8

Q15 あなたがふだん利用しているインターネット上のコミュニケーションサービスすべてに○をつけてください。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
電子掲示板の閲覧・書き込み	276	19.9
チャットまたはメッセージ(LINE・スカイプなど)	465	33.5
ウェブサイトまたはブログの閲覧・書き込み	529	38.2
mixi・フェイスブックなどのSNSの閲覧	651	47.0
ツイッター	324	23.4
オンラインゲーム	162	11.7
その他	20	1.4
コミュニケーションサービスを利用していない	275	19.8

Q16 あなたはふだんどのくらい外出しますか。

	人数	%
仕事や学校で平日は毎日外出する	1031	76.2
仕事や学校で週3~4日外出する	110	8.1
遊び等で頻繁に外出する	84	6.2
人づきあいのためにときどき外出する	71	5.2
ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する	27	2.0
ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける	26	1.9
自室からは出るが家からは出ない	4	0.3
自室からほとんど出ない	0	0.0
合計	1353	100.0

Q17 現在の状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。

	人数	%
13歳	1	1.4
14歳	1	1.4
15歳	2	2.8
16歳	1	1.4
18歳	5	6.9
19歳	1	1.4
21歳	3	4.2
22歳	6	8.3
23歳	1	1.4
24歳	2	2.8
25歳	6	8.3
26歳	6	8.3
27歳	3	4.2
28歳	2	2.8
29歳	1	1.4
30歳	6	8.3
31歳	6	8.3
32歳	3	4.2
33歳	1	1.4
34歳	4	5.6
35歳	1	1.4
36歳	5	6.9
37歳	5	6.9
合計	72	100.0

(5歳区分集計)

	人数	%
14歳以下	2	2.8
15～19歳	9	12.5
20～24歳	12	16.7
25～29歳	18	25.0
30～34歳	20	27.8
35～39歳	11	15.3
合計	72	100.0

Q18 あなたが現在の状態となってどのくらい経ちますか。

	人数	%
6か月未満	18	23.7
6か月～1年	7	9.2
1年～3年	18	23.7
3年から5年	15	19.7
5年～7年	7	9.2
7年以上	11	14.5
合計	76	100.0

Q19 あなたが現在の状態になったきっかけは何ですか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
不登校(小学校)	3	0.2
不登校(中学校)	4	0.3
不登校(高校)	1	0.1
大学になじめなかった	0	0.0
受験に失敗した(高校)	1	0.1
受験に失敗した(大学)	1	0.1
就職活動がうまくいかなかった	9	0.6
職場になじめなかった	4	0.3
人間関係がうまくいかなかった(友人)	3	0.2
人間関係がうまくいかなかった(父)	0	0.0
人間関係がうまくいかなかった(母)	0	0.0
人間関係がうまくいかなかった(その他)	5	0.4
病気	7	0.5
妊娠した	23	1.7
その他	29	2.1

Q20 現在の状態について、あなたは関係機関に相談したいと思いますか。

	人数	%
非常に思う	2	2.8
思う	9	12.5
少し思う	7	9.7
思わない	54	75.0
合計	72	100.0

Q21 現在の状態や今後のことについて、あなたはどのような機関なら、相談したいと思いますか。
(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
親身に聴いてくれる相談機関	11	0.8
医学的な助言をしてくれる相談機関	7	0.5
心理学の専門家がいる相談機関	5	0.4
精神科医がいる相談機関	5	0.4
就労を支援してくれる相談機関	11	0.8
同じ悩みを持つ人と出会える相談機関	10	0.7
匿名で(自分の名前を知られずに)相談できる相談機関	0	0.0
無料で相談できる相談機関	11	0.8
公的機関の人や医療の専門家ではない民間団体(NPO等)が運	1	0.1
自宅に専門家が来てくれる機関	2	0.1
自宅に専門家でない民間団体のスタッフや地域のボランティア	0	0.0
いろいろの悩みをまとめて聞いてくれる相談機関	7	0.5
自分のペースでゆっくと段階的な支援をしてくれる相談機関	11	0.8
自宅から近い相談機関	6	0.4
相談がなくても気軽に行くことができるフリースペースがある相談	9	0.6
その他	6	0.4
相談したくない	26	1.9

Q22 あなたが相談したくないと思う理由は何ですか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
自分(または家族)のことを知られたくない	5	0.4
行っても解決できないと思う	13	0.9
何を聞かれるか不安に思う	1	0.1
相手にうまく話せないと思う	3	0.2
行ったことを人に知られたくない	2	0.1
お金がかかると思う	3	0.2
その他	16	1.2
相談機関が近くにない	1	0.1

Q23 現在の状態について、あなたは関係機関に相談したことがありますか。または現在相談していますか。

	人数	%
ある	15	25.4
ない	44	74.6
合計	59	100.0

Q24 あなたはそのような機関に相談しましたか。相談したことの機関に○をつけてください。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
区役所・福祉保健センター	9	0.6
児童相談所	2	0.1
教育総合相談センター	2	0.1
学校・スクールカウンセラー	3	0.2
精神保健福祉センター	0	0.0
病院・診療所	6	0.4
発達障害者支援センター	0	0.0
就労支援機関	4	0.3
青少年相談センター	2	0.1
若者サポートステーション	0	0.0
地域ユースプラザ	0	0.0
フリースクール	0	0.0
警察・ユーステレホン	0	0.0
その他の施設・機関	2	0.1

Q25 あなたの家の生計を立てているのは主にどなたですか。

	人数	%
自身	304	23.6
父親	569	44.1
母親	83	6.4
配偶者	301	23.4
きょうだい	11	0.9
他の家族や親戚	4	0.3
その他	11	0.9
生活保護	6	0.5
合計	1289	100.0

Q26 あなたの家の暮らし向きは、世間一般と比べてみて、どれにあたると思われますか。

	人数	%
上の上	18	1.3
上の中	39	2.9
上の下	82	6.1
中の上	399	29.8
中の中	500	37.3
中の下	184	13.7
下の上	77	5.7
下の中	27	2.0
下の下	15	1.1
合計	1341	100.0

Q27 あなたはこれまでに、以下の病気やけがで通院や入院をしたことがありますか。

(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
心臓や血管の病気	34	2.5
肺の病気	58	4.2
胃や腸の病気	140	10.1
精神的な病気	78	5.6
目・耳の病気	239	17.2
皮膚の病気	272	19.6
骨折・大ケガ	284	20.5
その他の病気	216	15.6
通院・入院したことはない	490	35.4

Q28 あなたはこれまでに、学校で次のような経験をしたことがありますか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
友達とよく話した	1249	90.1
親友がいた	1041	75.1
友達といるよりも一人で遊んでいる方が楽しかった	115	8.3
不登校を経験した	88	6.3
友達をいじめた	170	12.3
友達にいじめられた	356	25.7
いじめを見て見ぬふりをした	218	15.7
我慢することが多かった	302	21.8
学校の勉強についていけなかった	221	15.9
学校の先生との関係がうまくいかなかった	142	10.2
言葉の壁があった	31	2.2
周囲との習慣の違いがあった	85	6.1
あてはまるものはない	21	1.5

Q29 あなたはこれまでに、家庭で次のような経験をしたことがありますか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
親とは何でも話すことができた	609	43.9
親はしつけが厳しかった	360	26.0
困った時は、親は親身に助言をしてくれた	694	50.1
何でも自分一人で決めて、家族に相談することはなかった	136	9.8
将来の職業などを親に決められた	26	1.9
家族に相談しても、あまり役に立たなかった	95	6.9
親は学校の成績を重視していた	199	14.4
小さい頃から習い事やスポーツ活動に参加していた	777	56.1
親と自分との関係がよくなかった	95	6.9
両親の関係がよくなかった	144	10.4
引越しや転校をした	378	27.3
大きな病気をした	57	4.1
家からほとんど出ない状態が半年以上続いた	27	1.9
両親が離婚した	129	9.3
親と死別した	82	5.9
親から虐待を受けた	24	1.7
親が過保護であった	82	5.9
親が過干渉であった	84	6.1
経済的に苦しい生活を送った	85	6.1
我慢することが多かった	196	14.1
あてはまるものはない	59	4.3

Q30 次に挙げられた職業に関する意見の中で、あなたの考えにあてはまる番号に○をつけてください。

1 いつか自分の夢を実現させる仕事につきたい

	人数	%
はい	531	39.1
どちらかといえば はい	585	43.0
どちらかといえば いいえ	145	10.7
いいえ	98	7.2
合計	1359	100.0

2 仕事をしなくても生活できるのならば、仕事はしたくない

	人数	%
はい	231	16.9
どちらかといえば はい	374	27.3
どちらかといえば いいえ	415	30.3
いいえ	348	25.4
合計	1368	100.0

3 定職に就かない方が自由でいいと思う

	人数	%
はい	45	3.3
どちらかといえば はい	161	11.8
どちらかといえば いいえ	392	28.8
いいえ	765	56.1
合計	1363	100.0

Q31 あなたが職業を決める上で参考になる、または役に立つと思うのはどのような経験や情報だと思いますか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
親からの意見や情報	641	46.2
友人からの意見や情報	668	48.2
先輩からの意見や情報	641	46.2
インターネット上の情報	615	44.4
就職情報誌の情報	425	30.7
就労支援機関の情報	330	23.8
学校の進路指導	365	26.3
小・中学校でのキャリア教育や職業体験	171	12.3
インターンシップ	448	32.3
アルバイトの経験	633	45.7
職業適性検査・診断	164	11.8
その他	58	4.2

Q32 あなたが就職するにあたり重視していることはどのようなことですか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
正規雇用	776	56.0
やりがい	899	64.9
将来性	507	36.6
スキルが蓄積できる	407	29.4
人材育成の余裕がある	189	13.6
生活のために十分な賃金	791	57.1
職場の雰囲気	832	60.0
福利厚生	426	30.7
自宅からの距離	630	45.5
残業や休日出勤が少ない	371	26.8
会社規模	178	12.8
結婚・出産後も働き続けられる環境が整っている	374	27.0
勤務時間・日数	523	37.7
有給休暇がきちんと取れる	513	37.0
就職できればどこでもよい	26	1.9
その他	24	1.7

Q33 就職する上であなたが困ったこと、または困っていることすべてに○をつけてください。
(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
企業や業界の情報収集	240	17.3
筆記試験の対策	213	15.4
面接試験の対策	287	20.7
希望する条件の仕事がない	121	8.7
年齢制限がある	147	10.6
性別や育児中などを理由として採用されない	68	4.9
企業が即戦力となる人材を求めること	142	10.2
企業が新規学卒者を重視すること	93	6.7
スキルを身につける場所がない	86	6.2
やりたい仕事が見つからない	170	12.3
自分の適性がわからない	269	19.4
何から手をつけていいかわからない	205	14.8
学業などとの両立が難しい	60	4.3
育児・介護などとの両立が難しい	164	11.8
就職活動にかかる費用	81	5.8
職業訓練を受けている間の生活費・交通費等	36	2.6
健康面や体調面で不安がある	83	6.0
仕事や将来の生活について、相談する場所がわからない	73	5.3
困っていることはない	240	17.3
働いたことや就職活動の経験がない	135	9.7
その他	42	3.0

Q34 次にあげられたことについて、あなた自身にあたはまる番号に○をつけください。

1 大事なことを決めるときは、親や教師に言うことに従わないと不安だ

	人数	%
はい	38	2.8
どちらかといえば はい	356	26.0
どちらかといえば いいえ	545	39.8
いいえ	429	31.4
合計	1368	100.0

2 大事なことを自分ひとりで決めてしまうのは不安だ

	人数	%
はい	165	12.1
どちらかといえば はい	573	41.9
どちらかといえば いいえ	330	24.1
いいえ	300	21.9
合計	1368	100.0

3 初対面の人とすぐに会話できる自信がある

	人数	%
はい	340	24.9
どちらかといえば はい	510	37.3
どちらかといえば いいえ	372	27.2
いいえ	146	10.7
合計	1368	100.0

4 人とのかつきあい方が不器用なのではないかと悩む

	人数	%
はい	179	13.2
どちらかといえば はい	459	33.7
どちらかといえば いいえ	425	31.2
いいえ	298	21.9
合計	1361	100.0

5 自分の感情を表に出すのが苦手だ

	人数	%
はい	158	11.6
どちらかといえば はい	460	33.8
どちらかといえば いいえ	429	31.5
いいえ	314	23.1
合計	1361	100.0

6 周りの人にもめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない

	人数	%
はい	96	7.1
どちらかといえば はい	312	22.9
どちらかといえば いいえ	600	44.1
いいえ	353	25.9
合計	1361	100.0

7 たとえ親であっても自分のやりたいことに口出ししないで欲しい

	人数	%
はい	266	19.6
どちらかといえば はい	620	45.7
どちらかといえば いいえ	352	25.9
いいえ	120	8.8
合計	1358	100.0

8 自分の生活のことで人から干渉されたくない

	人数	%
はい	349	25.7
どちらかといえば はい	690	50.8
どちらかといえば いいえ	241	17.7
いいえ	79	5.8
合計	1359	100.0

9 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

	人数	%
はい	174	12.8
どちらかといえば はい	390	28.7
どちらかといえば いいえ	410	30.2
いいえ	384	28.3
合計	1358	100.0

10 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

	人数	%
はい	153	11.3
どちらかといえば はい	271	19.9
どちらかといえば いいえ	355	26.1
いいえ	581	42.7
合計	1360	100.0

11 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

	人数	%
はい	205	15.1
どちらかといえば はい	322	23.7
どちらかといえば いいえ	390	28.7
いいえ	443	32.6
合計	1360	100.0

12 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

	人数	%
はい	236	17.4
どちらかといえば はい	566	41.8
どちらかといえば いいえ	324	23.9
いいえ	229	16.9
合計	1355	100.0

Q35 次にあげられたことの中で、あなた自身にあてはまるものすべてに○をつけてください。

(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
家族に申しわけないと思うことが多い	420	30.3
生きるのが苦しいと感じることがある	256	18.5
死んでしまいたいと思うことがある	150	10.8
絶望的な気分になることがよくある	199	14.4
人に会うのが怖いと感じる	120	8.7
知り合いに会うことを考えると不安になる	98	7.1
他人が自分をどのように思っているのかとても不安になる	406	29.3
集団の中に溶け込めない	191	13.8
つならないことを繰り返し確かめてしまう	196	14.1
同じ行動を何度も繰り返してしまう	123	8.9
食事や入浴の時間がいつもと少しでも異なると我慢できない	19	1.4
自分の身体が清潔かどうか常に気になる	96	6.9
家族を殴ったり蹴ったりしてしまうことがある	23	1.7
壁や窓を蹴ったりたたいたりしてしまうことがある	69	5.0
食器などを投げて壊すことがある	10	0.7
大声を上げて怒鳴り散らすことがある	119	8.6
パソコンや携帯電話がないと一時も落ち着かない	100	7.2
リストカットなどの自傷行為をしてしまうことがある	17	1.2
アルコールを飲まずにいられないことがある	61	4.4
何らかの薬を飲まずにいられないことがある	20	1.4
あてはまるものはない	495	35.7

Q36 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる番号に○をつけてください。

1 身の回りのことは家族にしてもらっている

	人数	%
はい	213	15.6
どちらかといえば はい	408	29.9
どちらかといえば いいえ	226	16.6
いいえ	516	37.9
合計	1363	100.0

2 食事や掃除は家族まかせである

	人数	%
はい	292	21.4
どちらかといえば はい	388	28.5
どちらかといえば いいえ	164	12.0
いいえ	518	38.0
合計	1362	100.0

3 朝、決まった時間に起きられる

	人数	%
はい	631	46.3
どちらかといえば はい	441	32.4
どちらかといえば いいえ	174	12.8
いいえ	116	8.5
合計	1362	100.0

4 深夜まで起きていることが多い

	人数	%
はい	392	28.8
どちらかといえば はい	401	29.5
どちらかといえば いいえ	311	22.9
いいえ	257	18.9
合計	1361	100.0

5 昼夜逆転の生活をしている

	人数	%
はい	45	3.3
どちらかといえば はい	85	6.2
どちらかといえば いいえ	248	18.1
いいえ	993	72.4
合計	1371	100.0

6 テレビや新聞、インターネットで政治や経済・社会報道によく目を通す

	人数	%
はい	367	26.7
どちらかといえば はい	505	36.8
どちらかといえば いいえ	353	25.7
いいえ	147	10.7
合計	1372	100.0

7 自分の周辺には理不尽と思うことがたくさんある

	人数	%
はい	224	16.4
どちらかといえば はい	498	36.4
どちらかといえば いいえ	440	32.1
いいえ	207	15.1
合計	1369	100.0

8 誰とも口を利かずに過ごす日が多い

	人数	%
はい	19	1.4
どちらかといえば はい	45	3.3
どちらかといえば いいえ	260	19.0
いいえ	1048	76.4
合計	1372	100.0

9 人と会話するのはわずらわしい

	人数	%
はい	28	2.0
どちらかといえば はい	143	10.4
どちらかといえば いいえ	407	29.7
いいえ	791	57.8
合計	1369	100.0

10 過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない

	人数	%
はい	37	2.7
どちらかといえば はい	82	6.0
どちらかといえば いいえ	313	22.9
いいえ	937	68.4
合計	1369	100.0

11 自分の精神状態は健康ではないと思う

	人数	%
はい	50	3.7
どちらかといえば はい	166	12.1
どちらかといえば いいえ	335	24.5
いいえ	818	59.8
合計	1369	100.0

12 自分の今の状態について考えることがよくある

	人数	%
はい	376	27.5
どちらかといえば はい	467	34.1
どちらかといえば いいえ	247	18.1
いいえ	278	20.3
合計	1368	100.0

Q37 次にあげられたことは、あなたのご家族にどのくらいあてはまりますか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
私の家族は暖かい	939	67.7
家族とはよく話をしている	983	70.9
私たち家族は、仲がよいと思う	937	67.6
家族から十分に愛されていると思う	932	67.2
あてはまるものはない	102	7.4

Q38 あなたは現在困っていることや悩んでいることがありますか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
学校での勉強や成績のこと	172	12.4
進学のこと	147	10.6
就職のこと	266	19.2
仕事や職場のこと	377	27.2
子育てのこと	179	12.9
友人や仲間との人間関係	159	11.5
家族関係	107	7.7
異性との交際に関すること	171	12.3
気分や体調のこと	215	15.5
病気のこと	86	6.2
性格のこと	236	17.0
容姿のこと	201	14.5
政治や社会のこと	145	10.5
環境問題	97	7.0
収入や生活費のこと	471	34.0
どこにも自分の居場所がない	37	2.7
はっきりとした悩みはないがなんとなく不安である	152	11.0
その他	48	3.5
特に困っていることや悩み事はない	253	18.3

Q39 あなたはふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。

	人数	%
非常に思う	117	8.6
思う	455	33.6
少し思う	501	36.9
思わない	283	20.9
合計	1356	100.0

Q40 あなたはふだん悩み事を誰に相談しますか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
親	689	49.7
きょうだい	269	19.4
友人・知人	888	64.1
交際相手	136	9.8
配偶者	400	28.9
祖父母	27	1.9
学校の先生	41	3.0
職場の同僚・上司	196	14.1
カウンセラー・精神科医	34	2.5
都道府県、市町村などの専門機関の人	4	0.3
NPOなど民間の相談機関の人	1	0.1
ネット上の知り合い	20	1.4
ネット上の質問サイト	18	1.3
その他	18	1.3
誰にも相談しない	155	11.2

Q41 あなたは子ども・若者支援に関する以下の機関や事業を知っていますか。(複数回答可)

回答対象者 1386人

	人数	%
青少年交流センター	130	9.4
青少年の地域活動拠点	53	3.8
青少年相談センター	247	17.8
地域ユースプラザ	26	1.9
若者サポートステーション	34	2.5
よこはま型若者自立塾	12	0.9
知っている機関はない	999	72.1

クロス集計結果

「有意差あり」とは？

有意差 とは、「(偶然とは考えにくい)意味のある差」のことです。

2つのもの(平均値や割合など)を比較するとそれには差があります。この差が、たまたま出来た差なのか、意味を持った差なのかを判定することは、統計上では重要になります。

有意差があるかどうかを判断するために、統計学的な計算を行います。

その計算結果の値を **p値** といい、p値の大きさで、有意差の有無を判断します。

(これを“統計学的検定”といいます)

一般的には、 **$p < 0.05$** を持って **有意差あり** と判定します。

(pの値が、0.05 より小さければ、2つのものには、有意な差があると言えます)

<例1> 喫煙状況について、男性 1000 人、女性 3000 人に質問したら以下の結果でした。

	男性(1000 人)		女性(3000 人)	
煙草を喫わない	700	70.0%	2700	90.0%
煙草を喫う	300	30.0%	300	10.0%

$p < 0.05$ 有意差あり

【性別による有意差あり。つまり、男性は女性よりも喫煙率が有意に高かった。($p < 0.05$)】

「有意な差がある($p < 0.05$)」の 0.05 って何？

0.05 は5%のことで、例1の喫煙状況調査を 100 回行った場合、5回(5%)は女性の喫煙率が高くなる結果になる場合があるということです。

つまり、「 $p < 0.05$ 」とは、(実際には偶然に過ぎないのに)誤って、2つの間に『意味のある差』があると判断している可能性が、5%より小さい(100 回行くと5回より少ない)という意味です。

補足

- ① 「 $p < 0.01$ 」は、誤って判断してしまう可能性が、1%より小さい(100 回行くと1回より少ない)という意味なので、($p < 0.05$)よりも、強い差があると言えます。
- ② 喫煙状況調査を、男性 50 人、女性 10 人に質問したら以下の結果でした。

<例2>

	男性(50 人)		女性(10 人)	
煙草を喫わない	35	70.0%	9	90.0%
煙草を喫う	15	30.0%	1	10.0%

計算結果 $p=0.1920$
有意差なし

【喫煙状況の有無は、性別による有意な差は見られませんでした。】

⇒ 例2では、例1と男女の喫煙率が同じであるのに、有意差がありませんでした。

例1に有意差があるのは、より大勢の人に質問しているので、結果の信頼性が高くなったためと言えます。

①ひきこもりに関する傾向分析

処理したケースの要約

	ケース					
	有効数		欠損		合計	
	N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
ひきこもり傾向 * 性別	1349	97.3%	37	2.7%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * 居住区	1352	97.5%	34	2.5%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q6現在学校に通っていますか	1343	96.9%	43	3.1%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q7最終学校は？	1345	97.0%	41	3.0%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q8現在働いていますか	1318	95.1%	68	4.9%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q25主たる生計者は	1263	91.1%	123	8.9%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q26暮らし向きは(実感で)	1318	95.1%	68	4.9%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-1身の回りのことは家族にしてもらっている	1352	97.5%	34	2.5%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-2食事や掃除は家族まかせである	1351	97.5%	35	2.5%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-3朝、決まった時間に起きられる	1351	97.5%	35	2.5%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-4深夜まで起きていることが多い	1351	97.5%	35	2.5%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-5昼夜逆転の生活である	1346	97.1%	40	2.9%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-6政治や経済・社会報道によく目を通す	1347	97.2%	39	2.8%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-7自分の周囲に理不尽と思うことがたくさんある	1344	97.0%	42	3.0%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-8誰とも口をきかずに過ごす日が多い	1348	97.3%	38	2.7%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-9人と会話するのはわずらわしい	1346	97.1%	40	2.9%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-10過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない	1346	97.1%	40	2.9%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-11自分の精神状態は健康でないとと思う	1345	97.0%	41	3.0%	1386	100.0%
ひきこもり傾向 * Q36-12自分の今の状態をよく考える	1346	97.1%	40	2.9%	1386	100.0%

ひきこもり傾向 * 性別

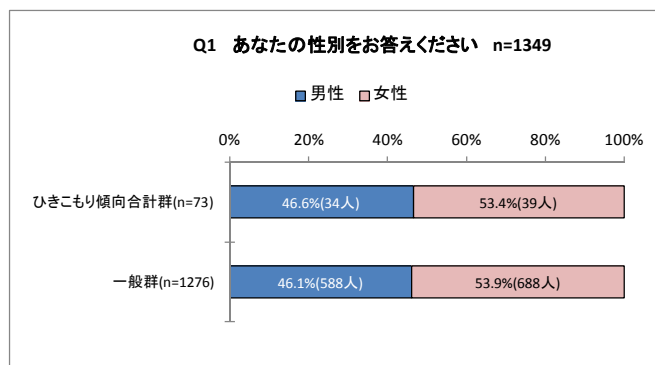
		性別		合計
		男性	女性	
ひきこもり傾向合計群 (n=73)	人数	34	39	73
	%	46.6%	53.4%	100.0%
一般群(n=1276)	人数	588	688	1276
	%	46.1%	53.9%	100.0%
合計	人数	622	727	1349
	%	46.1%	53.9%	100.0%

Pesrsonのχ²乗検定 p=0.934 有意差なし

(参考)内訳

		男性	女性	全体
ひきこもり群	人数	6	4	10
	%	60.0%	40.0%	100.0%
ひきこもり親和群	人数	28	35	63
	%	44.4%	55.6%	100.0%
一般群	人数	588	688	1276
	%	46.1%	53.9%	100.0%

Pesrsonのχ²乗検定 p=0.655 有意差なし

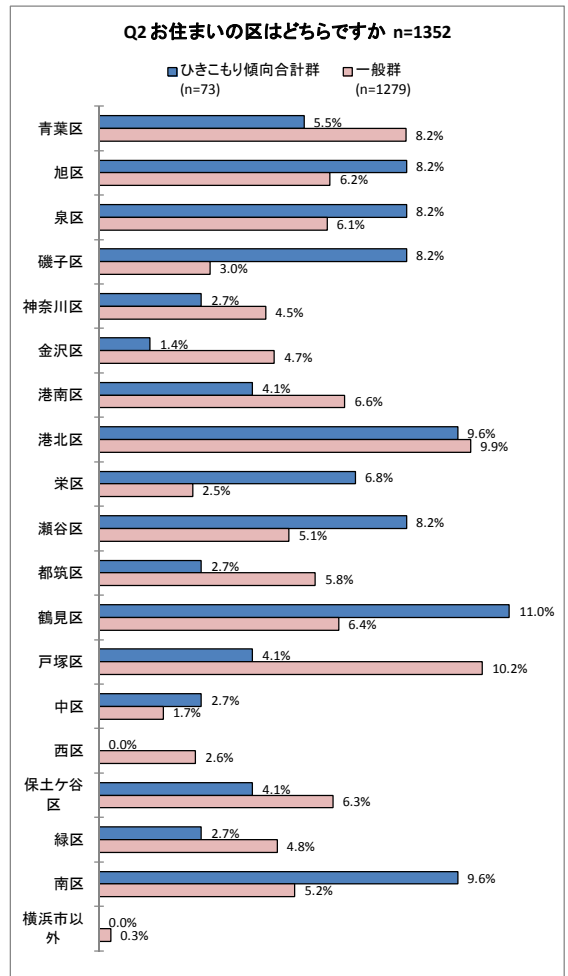


回答者の性別は、ひきこもり傾向合計群では、「男性」(46.6%)、「女性」(53.4%)、一般群では、「男性」(46.1%)、「女性」(53.9%)でした。ひきこもり傾向合計群と一般群で、性別の割合に有意な差はありませんでした。

ひきこもり傾向 * 居住区

	ひきこもり傾向合計群 (n=73)		一般群 (n=1279)		合計	
	人数	%	人数	%	人数	%
青葉区	4	5.5%	105	8.2%	109	8.1%
旭区	6	8.2%	79	6.2%	85	6.3%
泉区	6	8.2%	78	6.1%	84	6.2%
磯子区	6	8.2%	38	3.0%	44	3.3%
神奈川区	2	2.7%	57	4.5%	59	4.4%
金沢区	1	1.4%	60	4.7%	61	4.5%
港南区	3	4.1%	84	6.6%	87	6.4%
港北区	7	9.6%	127	9.9%	134	9.9%
栄区	5	6.8%	32	2.5%	37	2.7%
瀬谷区	6	8.2%	65	5.1%	71	5.3%
都筑区	2	2.7%	74	5.8%	76	5.6%
鶴見区	8	11.0%	82	6.4%	90	6.7%
戸塚区	3	4.1%	131	10.2%	134	9.9%
中区	2	2.7%	22	1.7%	24	1.8%
西区	0	0.0%	33	2.6%	33	2.4%
保土ヶ谷区	3	4.1%	80	6.3%	83	6.1%
緑区	2	2.7%	61	4.8%	63	4.7%
南区	7	9.6%	67	5.2%	74	5.5%
横浜市以外	0	0.0%	4	0.3%	4	0.3%
合計	73	100.0%	1279	100.0%	1352	100.0%

* 検定はできませんでした



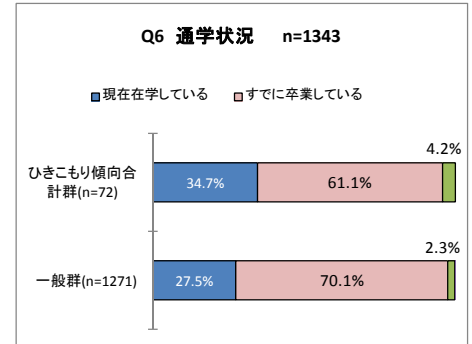
ひきこもり傾向 * Q6現在学校に通っていますか

		Q6現在学校に通っていますか				合計
		現在在学している	すでに卒業している	中退した	休学中である	
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	25	44	3	0	72
	%	34.7%	61.1%	4.2%	0.0%	100.0%
一般群(n=1271)	人数	350	891	29	1	1271
	%	27.5%	70.1%	2.3%	0.1%	100.0%
合計	人数	375	935	32	1	1343
	%	27.9%	69.6%	2.4%	0.1%	100.0%

Fisher直接法 p=0.197

有意差なし

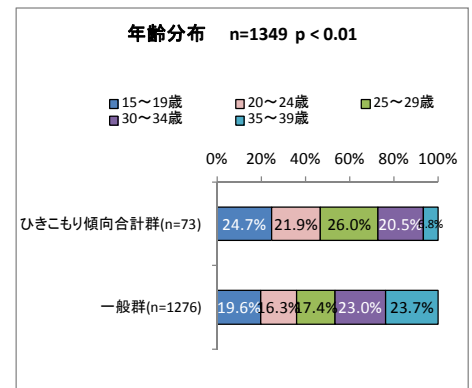
有意差は出ていませんが、ひきこもり傾向合計群で「現在在学」が多いようでしたので、年齢別にクロスしてみました。
ひきこもり傾向合計群の方が、一般群に比べて、若い年齢層が多い傾向がありました。(p<0.01)



ひきこもり傾向 * Q3年齢

		ひきこもり傾向合計群 (n=73)	一般群 (n=1276)	
15~19歳	人数	18	250	268
	%	24.7%	19.6%	19.9%
20~24歳	人数	16	208	224
	%	21.9%	16.3%	16.6%
25~29歳	人数	19	222	241
	%	26.0%	17.4%	17.9%
30~34歳	人数	15	293	308
	%	20.5%	23.0%	22.8%
35~39歳	人数	5	303	308
	%	6.8%	23.7%	22.8%
合計	人数	73	1276	1349
	%	100.0%	100.0%	100.0%

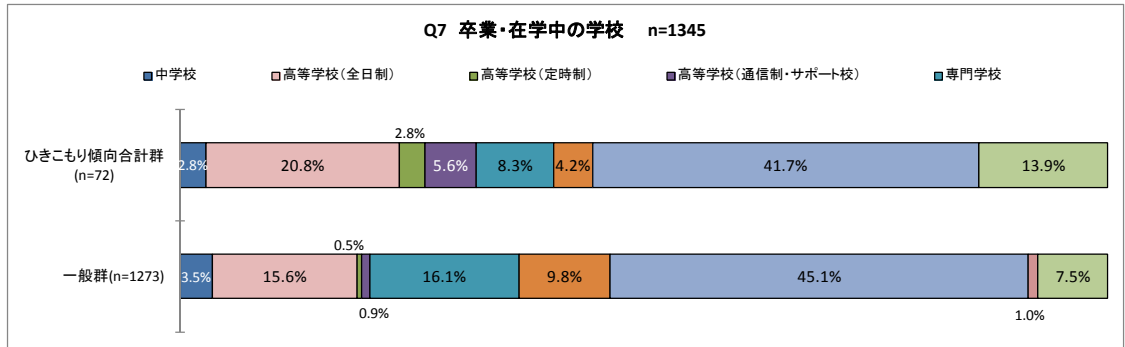
Mann-WhitneyのU検定 p=0.002 <0.01 有意差あり



ひきこもり傾向 * Q7最終学校は？

		Q7最終学校は？								合計	
		中学校	高等学校(全日制)	高等学校(定時制)	高等学校(通信制・サポート校)	専門学校	高等専門学校・短期大学	4年制大学・大学院	その他		高等学校(区分不明)
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	2	15	2	4	6	3	30	0	10	72
	%	2.8%	20.8%	2.8%	5.6%	8.3%	4.2%	41.7%	0.0%	13.9%	100.0%
一般群(n=1273)	人数	44	199	6	11	205	125	574	13	96	1273
	%	3.5%	15.6%	0.5%	0.9%	16.1%	9.8%	45.1%	1.0%	7.5%	100.0%
合計	人数	46	214	8	15	211	128	604	13	106	1345
	%	3.4%	15.9%	0.6%	1.1%	15.7%	9.5%	44.9%	1.0%	7.9%	100.0%

*検定はできませんでした

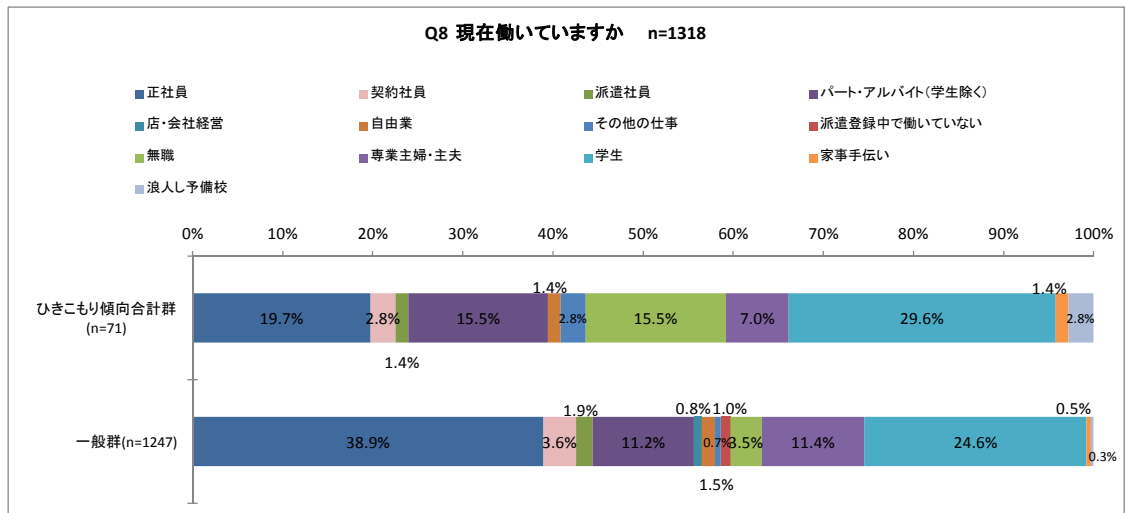


ひきこもり傾向 * Q8現在働いていますか？

		Q8現在働いていますか						
		正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト(学生除く)	店・会社経営	自由業	その他の仕事
ひきこもり傾向合計群 (n=71)	人数	14	2	1	11	0	1	2
	%	19.7%	2.8%	1.4%	15.5%	0.0%	1.4%	2.8%
一般群(n=1247)	人数	485	45	24	140	10	19	9
	%	38.9%	3.6%	1.9%	11.2%	0.8%	1.5%	0.7%
合計	人数	499	47	25	151	10	20	11
	%	37.9%	3.6%	1.9%	11.5%	0.8%	1.5%	0.8%

		Q8現在働いていますか							合計
		派遣登録中で働いていない	無職	専業主婦・主夫	学生	家事手伝い	浪人し予備校		
ひきこもり傾向合計群 (n=71)	人数	0	11	5	21	1	2	71	
	%	0.0%	15.5%	7.0%	29.6%	1.4%	2.8%	100.0%	
一般群(n=1247)	人数	12	44	142	307	6	4	1247	
	%	1.0%	3.5%	11.4%	24.6%	0.5%	0.3%	100.0%	
合計	人数	12	55	147	328	7	6	1318	
	%	0.9%	4.2%	11.2%	24.9%	0.5%	0.5%	100.0%	

*検定はできませんでした

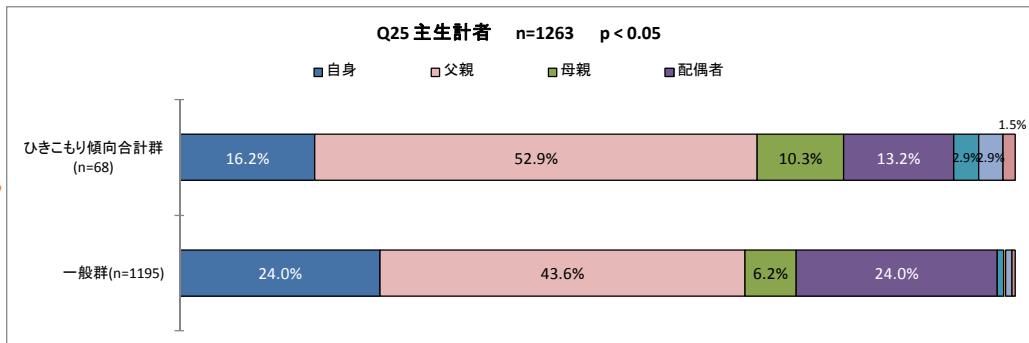


ひきこもり傾向 * Q25主たる生計者は

		Q25主たる生計者は								合計
		自身	父親	母親	配偶者	きょうだい	他の家族や 親戚	その他	生活保護	
ひきこもり傾向合計群 (n=68)	人数	11	36	7	9	2	0	2	1	68
	%	16.2%	52.9%	10.3%	13.2%	2.9%	0.0%	2.9%	1.5%	100.0%
一般群(n=1195)	人数	287	521	74	287	9	3	9	5	1195
	%	24.0%	43.6%	6.2%	24.0%	0.8%	0.3%	0.8%	0.4%	100.0%
合計	人数	298	557	81	296	11	3	11	6	1263
	%	23.6%	44.1%	6.4%	23.4%	0.9%	0.2%	0.9%	0.5%	100.0%

Fisher直接法 p=0.011 <0.05 有意差あり

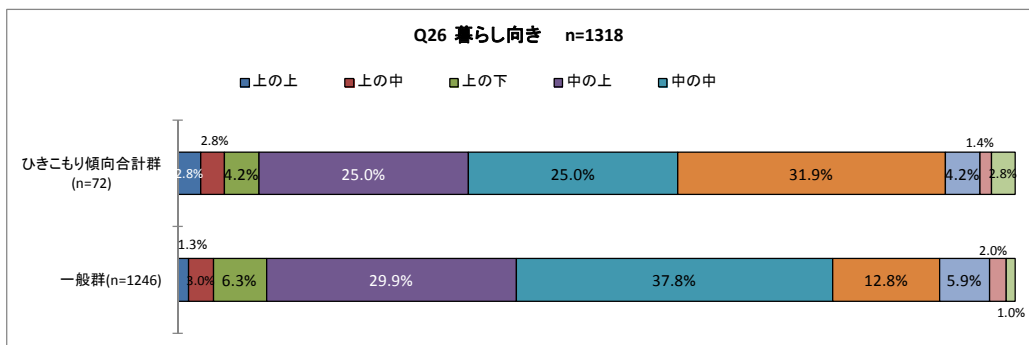
ひきこもり傾向合計群は、一般群と比較して、主生計者が自身や配偶者である割合が低い傾向がありました。逆に主生計者が、両親である者の割合が一般群に比べて高い傾向がありました。(p<0.05)



ひきこもり傾向 * Q26暮らし向きは(実感で)

		Q26暮らし向きは(実感で)								合計	
		上の上	上の中	上の下	中の上	中の中	中の下	下の上	下の中		下の下
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	2	2	3	18	18	23	3	1	2	72
	%	2.8%	2.8%	4.2%	25.0%	25.0%	31.9%	4.2%	1.4%	2.8%	100.0%
一般群(n=1246)	人数	16	37	79	372	471	159	74	25	13	1246
	%	1.3%	3.0%	6.3%	29.9%	37.8%	12.8%	5.9%	2.0%	1.0%	100.0%
合計	人数	18	39	82	390	489	182	77	26	15	1318
	%	1.4%	3.0%	6.2%	29.6%	37.1%	13.8%	5.8%	2.0%	1.1%	100.0%

* 検定はできませんでした

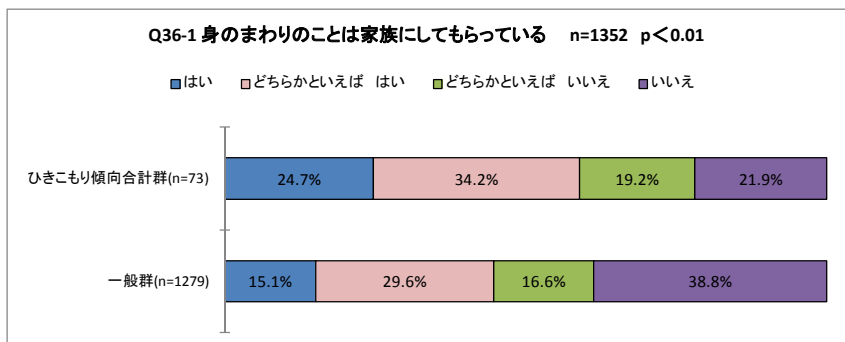


ひきこもり傾向 * Q36-1身の回りのことは家族にしている

		る				合計
		はい	どちらかといえば はい	どちらかといえば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=73)	人数	18	25	14	16	73
	%	24.7%	34.2%	19.2%	21.9%	100.0%
一般群(n=1279)	人数	193	378	212	496	1279
	%	15.1%	29.6%	16.6%	38.8%	100.0%
合計	人数	211	403	226	512	1352
	%	15.6%	29.8%	16.7%	37.9%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.002 <0.01 有意差あり

「身のまわりのことは家族にしている」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、58.9%、一般群では44.6%でした。ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、身の回りのことは家族にしている傾向がありました。(p<0.01)

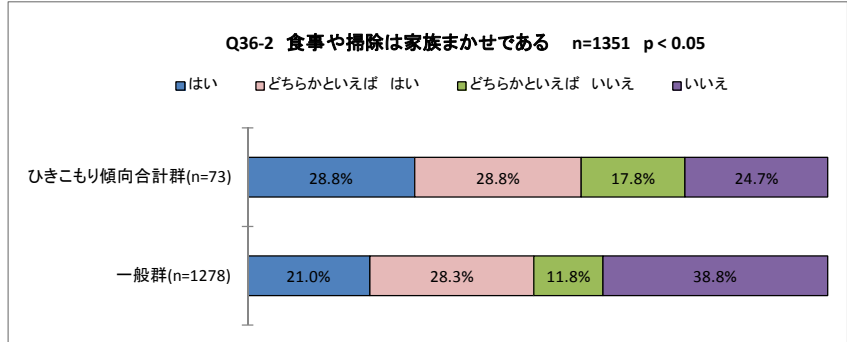


ひきこもり傾向 * Q36-2食事や掃除は家族まかせである

		Q36-2食事や掃除は家族まかせである				合計
		はい	どちらかといえば はい	どちらかといえば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=73)	人数	21	21	13	18	73
	%	28.8%	28.8%	17.8%	24.7%	100.0%
一般群(n=1278)	人数	269	362	151	496	1278
	%	21.0%	28.3%	11.8%	38.8%	100.0%
合計	人数	290	383	164	514	1351
	%	21.5%	28.3%	12.1%	38.0%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.032 <0.05 有意差あり

「食事や掃除は家族まかせである」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、57.5%、一般群では49.4%でした。
ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、食事や掃除は家族まかせである傾向がありました。(p<0.05)

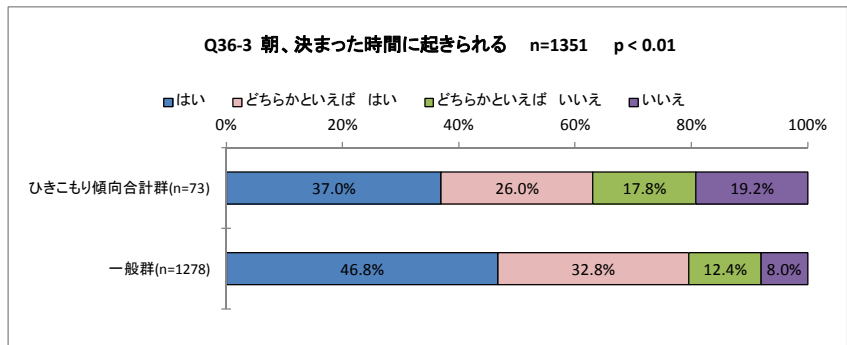


ひきこもり傾向 * Q36-3朝、決まった時間に起きられる

		Q36-3朝、決まった時間に起きられる				合計
		はい	どちらかといえば はい	どちらかといえば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=73)	人数	27	19	13	14	73
	%	37.0%	26.0%	17.8%	19.2%	100.0%
一般群(n=1278)	人数	598	419	159	102	1278
	%	46.8%	32.8%	12.4%	8.0%	100.0%
合計	人数	625	438	172	116	1351
	%	46.3%	32.4%	12.7%	8.6%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.007 <0.01 有意差あり

「朝、決まった時間に起きられる」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、63.0%、一般群では、79.6%でした。ひきこもり傾向合計群では、一般群と比べて、毎朝決まった時間に起きられる者の割合が低い傾向がありました。(p<0.01)

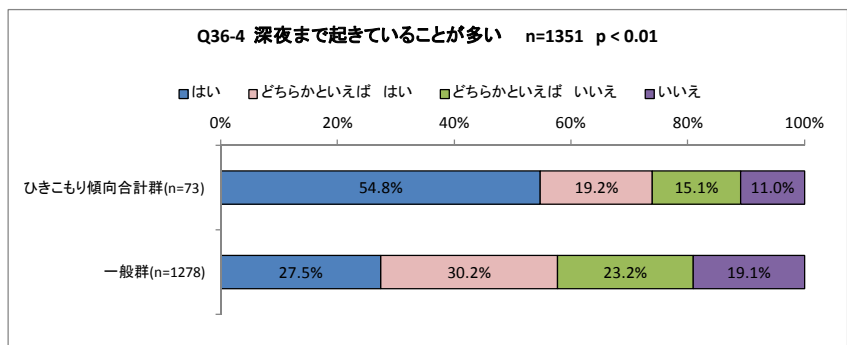


ひきこもり傾向 * Q36-4深夜まで起きていることが多い

		Q36-4深夜まで起きていることが多い				合計
		はい	どちらかといえば はい	どちらかといえば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=73)	人数	40	14	11	8	73
	%	54.8%	19.2%	15.1%	11.0%	100.0%
一般群(n=1278)	人数	351	386	297	244	1278
	%	27.5%	30.2%	23.2%	19.1%	100.0%
合計	人数	391	400	308	252	1351
	%	28.9%	29.6%	22.8%	18.7%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.000 <0.01 有意差あり

「深夜まで起きていることが多い」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、74.0%、一般群では、57.7%でした。ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、深夜まで起きている者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

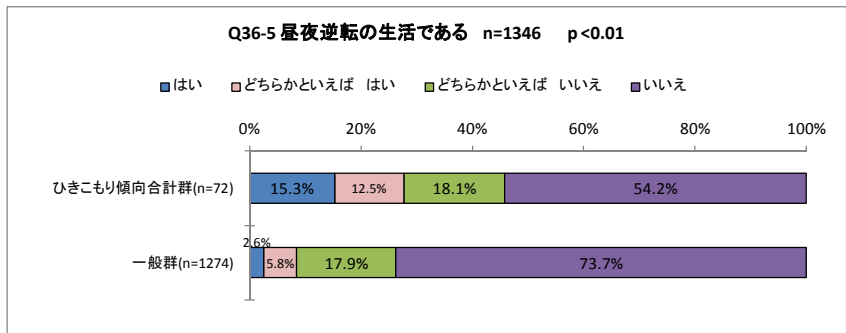


ひきこもり傾向 * Q36-5昼夜逆転の生活である

		Q36-5昼夜逆転の生活である				合計
		はい	どちらかといえ ば はい	どちらかといえ ば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	11	9	13	39	72
	%	15.3%	12.5%	18.1%	54.2%	100.0%
一般群(n=1274)	人数	33	74	228	939	1274
	%	2.6%	5.8%	17.9%	73.7%	100.0%
合計	人数	44	83	241	978	1346
	%	3.3%	6.2%	17.9%	72.7%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.000 <0.01 有意差あり

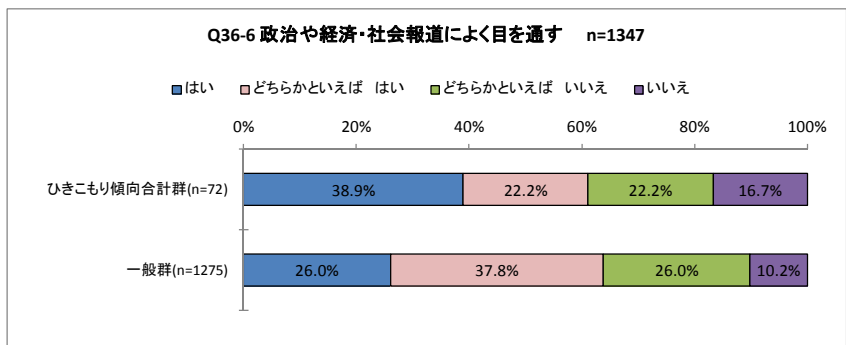
「昼夜逆転の生活をしている」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、27.8%、一般群では、8.4%でした。ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、昼夜逆転の生活スタイルをとる者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)



ひきこもり傾向 * Q36-6政治や経済・社会報道によく目を通す

		Q36-6政治や経済・社会報道によく目を通す				合計
		はい	どちらかといえ ば はい	どちらかといえ ば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	28	16	16	12	72
	%	38.9%	22.2%	22.2%	16.7%	100.0%
一般群(n=1275)	人数	332	482	331	130	1275
	%	26.0%	37.8%	26.0%	10.2%	100.0%
合計	人数	360	498	347	142	1347
	%	26.7%	37.0%	25.8%	10.5%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.537 有意差なし

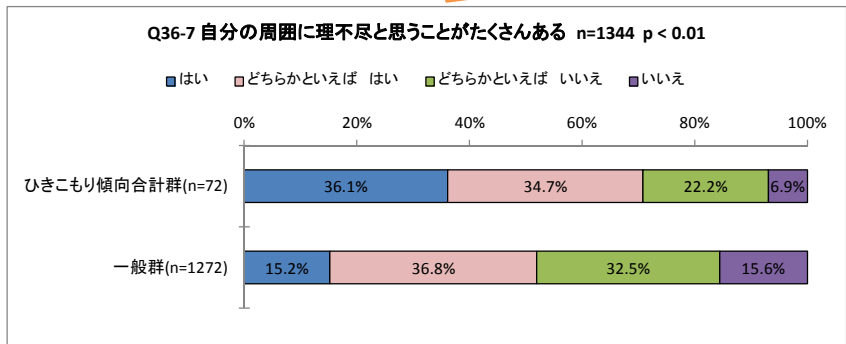


ひきこもり傾向 * Q36-7自分の周囲に理不尽と思うことがたくさんある

		Q36-7自分の周囲に理不尽と思うことがたくさんある				合計
		はい	どちらかといえ ば はい	どちらかといえ ば いいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	26	25	16	5	72
	%	36.1%	34.7%	22.2%	6.9%	100.0%
一般群(n=1272)	人数	193	468	413	198	1272
	%	15.2%	36.8%	32.5%	15.6%	100.0%
合計	人数	219	493	429	203	1344
	%	16.3%	36.7%	31.9%	15.1%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.000 <0.01 有意差あり

「自分の周囲に理不尽と思うことがたくさんある」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、70.8%、一般群では、52.0%でした。ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、自分の周囲の事象に対して理不尽であると思う者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

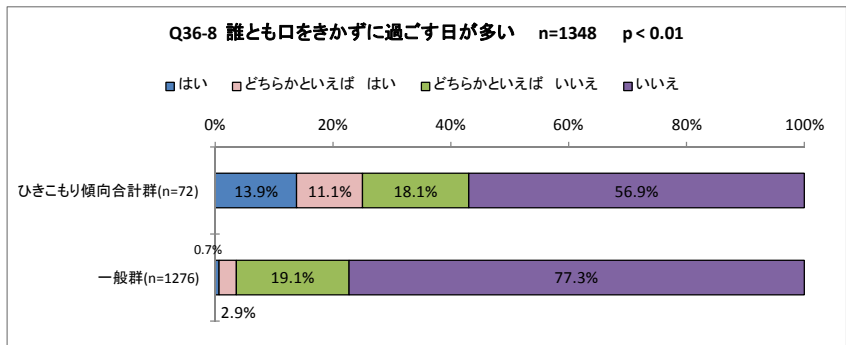


ひきこもり傾向 * Q36-8誰とも口をきかずに過ごす日が多い

		Q36-8誰とも口をきかずに過ごす日が多い				合計
		はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	10	8	13	41	72
	%	13.9%	11.1%	18.1%	56.9%	100.0%
一般群(n=1276)	人数	9	37	244	986	1276
	%	0.7%	2.9%	19.1%	77.3%	100.0%
合計	人数	19	45	257	1027	1348
	%	1.4%	3.3%	19.1%	76.2%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.000 <0.01 有意差あり

「誰とも口をきかずに過ごす日が多い」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、25.0%、一般群では、3.6%でした。
ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、日常生活で誰とも口をきかずに過ごす者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

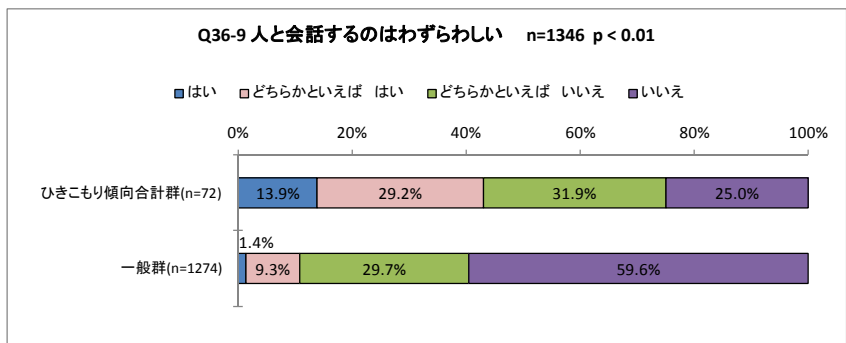


ひきこもり傾向 * Q36-9人と会話するのはわずらわしい

		Q36-9人と会話するのはわずらわしい				合計
		はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	10	21	23	18	72
	%	13.9%	29.2%	31.9%	25.0%	100.0%
一般群(n=1274)	人数	18	119	378	759	1274
	%	1.4%	9.3%	29.7%	59.6%	100.0%
合計	人数	28	140	401	777	1346
	%	2.1%	10.4%	29.8%	57.7%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.000 <0.01 有意差あり

「人と会話するのはわずらわしい」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、43.1%、一般群では、10.8%でした。
ひきこもり傾向合計群は、一般群よりも、人との会話をわずらわしいと感じる者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

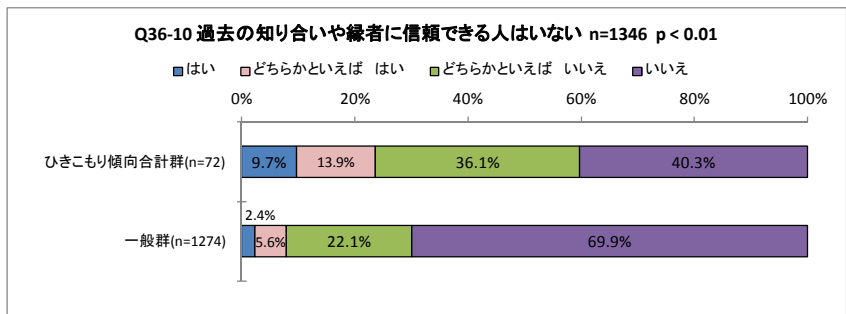


ひきこもり傾向 * Q36-10過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない

		Q36-10過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない				合計
		はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	7	10	26	29	72
	%	9.7%	13.9%	36.1%	40.3%	100.0%
一般群(n=1274)	人数	30	71	282	891	1274
	%	2.4%	5.6%	22.1%	69.9%	100.0%
合計	人数	37	81	308	920	1346
	%	2.7%	6.0%	22.9%	68.4%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.000 <0.01 有意差あり

「過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、23.6%、一般群では、7.9%でした。
ひきこもり傾向合計群は、一般群よりも知り合いを信頼できないと感じる者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

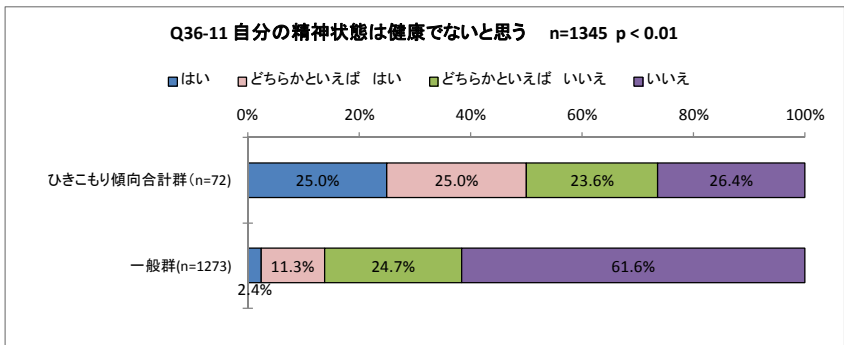


ひきこもり傾向 * Q36-11自分の精神状態は健康でないと思う

		Q36-11自分の精神状態は健康でないと思う				合計
		はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	18	18	17	19	72
	%	25.0%	25.0%	23.6%	26.4%	100.0%
一般群(n=1273)	人数	31	144	314	784	1273
	%	2.4%	11.3%	24.7%	61.6%	100.0%
合計	人数	49	162	331	803	1345
	%	3.6%	12.0%	24.6%	59.7%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.000 <0.01 有意差あり

「自分の精神状態は健康でないと思う」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、50%で、一般群では、13.7%でした。
ひきこもり傾向合計群は、一般群と比べて、自身の精神状態を健康でないと感じる者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)

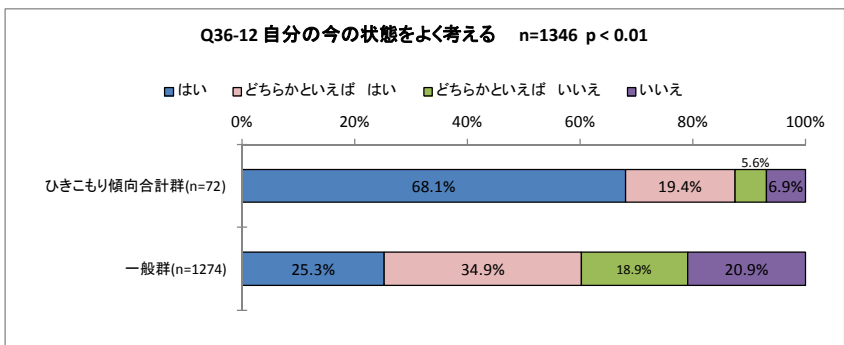


ひきこもり傾向 * Q36-12自分の今の状態をよく考える

		Q36-12自分の今の状態をよく考える				合計
		はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	
ひきこもり傾向合計群 (n=72)	人数	49	14	4	5	72
	%	68.1%	19.4%	5.6%	6.9%	100.0%
一般群(n=1274)	人数	322	445	241	266	1274
	%	25.3%	34.9%	18.9%	20.9%	100.0%
合計	人数	371	459	245	271	1346
	%	27.6%	34.1%	18.2%	20.1%	100.0%

Mann-WhitneyのU検定 p=0.000 <0.01 有意差あり

「自分の今の状態をよく考える」の質問では、「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人は、ひきこもり傾向合計群では、87.5%、一般群では、60.2%でした。
ひきこもり傾向合計群は、一般群よりも、現在の自分自身の状態について考える者の割合が高い傾向がありました。(p<0.01)



②就業等に関する傾向分析

処理したケースの要約

	ケース					
	有効数		欠損		合計	
	N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
就業等の傾向 * 性別	1343	96.9%	43	3.1%	1386	100.0%
就業等の傾向 * 居住区	1346	97.1%	40	2.9%	1386	100.0%
就業等の傾向 * Q7最終学校は？	1337	96.5%	49	3.5%	1386	100.0%
就業等の傾向 * Q25主たる生計者は	1256	90.6%	130	9.4%	1386	100.0%
就業等の傾向 * Q26暮らし向きは(実感で)	1308	94.4%	78	5.6%	1386	100.0%
就業等の傾向 * Q30-1いつか夢を実現させる仕事につきたい	1324	95.5%	62	4.5%	1386	100.0%
就業等の傾向 * Q30-2生活できるなら仕事はしたくない	1333	96.2%	53	3.8%	1386	100.0%
就業等の傾向 * Q30-3定職に就かない方が自由でいいと思う	1329	95.9%	57	4.1%	1386	100.0%

就業等の傾向 * 性別

		性別		合計
		男性	女性	
正社員群(n=544)	人数	334	210	544
	%	61.4%	38.6%	100.0%
契約派遣パート等群(n=238)	人数	77	161	238
	%	32.4%	67.6%	100.0%
無業群(n=69)	人数	37	32	69
	%	53.6%	46.4%	100.0%
学生学業群(n=335)	人数	173	162	335
	%	51.6%	48.4%	100.0%
専業主婦等群(n=157)	人数	1	156	157
	%	0.6%	99.4%	100.0%
合計	人数	622	721	1343
	%	46.3%	53.7%	100.0%

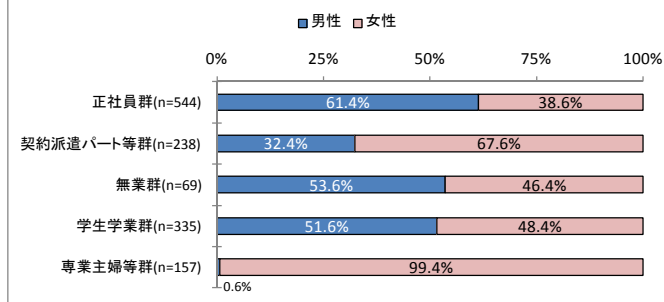
Pearsonのχ²乗検定

p=0.000

<0.01

有意差あり

Q1 あなたの性別をお答えください n=1343 p < 0.01

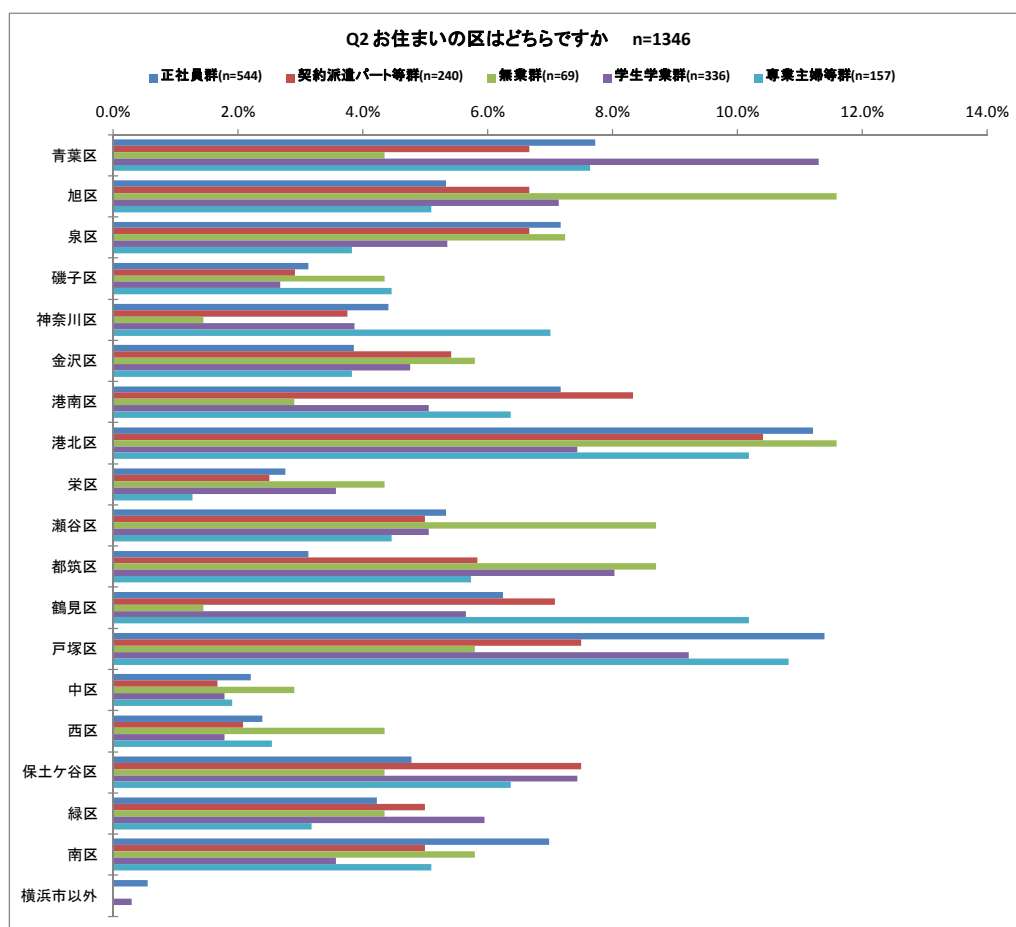


就業の種類による男女比は、有意な差がありました。(p < 0.01)
特に、専業主婦群では、99.4%が女性でした。

就業等の傾向 * 居住区

	正社員群(n=544)		契約派遣パート等群(n=240)		無業群(n=69)		学生学業群(n=336)		専業主婦等群(n=157)		合計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
青葉区	42	7.7%	16	6.7%	3	4.3%	38	11.3%	12	7.6%	111	8.2%
旭区	29	5.3%	16	6.7%	8	11.6%	24	7.1%	8	5.1%	85	6.3%
泉区	39	7.2%	16	6.7%	5	7.2%	18	5.4%	6	3.8%	84	6.2%
磯子区	17	3.1%	7	2.9%	3	4.3%	9	2.7%	7	4.5%	43	3.2%
神奈川区	24	4.4%	9	3.8%	1	1.4%	13	3.9%	11	7.0%	58	4.3%
金沢区	21	3.9%	13	5.4%	4	5.8%	16	4.8%	6	3.8%	60	4.5%
港南区	39	7.2%	20	8.3%	2	2.9%	17	5.1%	10	6.4%	88	6.5%
港北区	61	11.2%	25	10.4%	8	11.6%	25	7.4%	16	10.2%	135	10.0%
栄区	15	2.8%	6	2.5%	3	4.3%	12	3.6%	2	1.3%	38	2.8%
瀬谷区	29	5.3%	12	5.0%	6	8.7%	17	5.1%	7	4.5%	71	5.3%
都筑区	17	3.1%	14	5.8%	6	8.7%	27	8.0%	9	5.7%	73	5.4%
鶴見区	34	6.3%	17	7.1%	1	1.4%	19	5.7%	16	10.2%	87	6.5%
戸塚区	62	11.4%	18	7.5%	4	5.8%	31	9.2%	17	10.8%	132	9.8%
中区	12	2.2%	4	1.7%	2	2.9%	6	1.8%	3	1.9%	27	2.0%
西区	13	2.4%	5	2.1%	3	4.3%	6	1.8%	4	2.5%	31	2.3%
保土ヶ谷区	26	4.8%	18	7.5%	3	4.3%	25	7.4%	10	6.4%	82	6.1%
緑区	23	4.2%	12	5.0%	3	4.3%	20	6.0%	5	3.2%	63	4.7%
南区	38	7.0%	12	5.0%	4	5.8%	12	3.6%	8	5.1%	74	5.5%
横浜市以外	3	0.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%	4	0.3%
合計	544	100.0%	240	100.0%	69	100.0%	336	100.0%	157	100.0%	1346	100.0%

* 検定はできませんでした

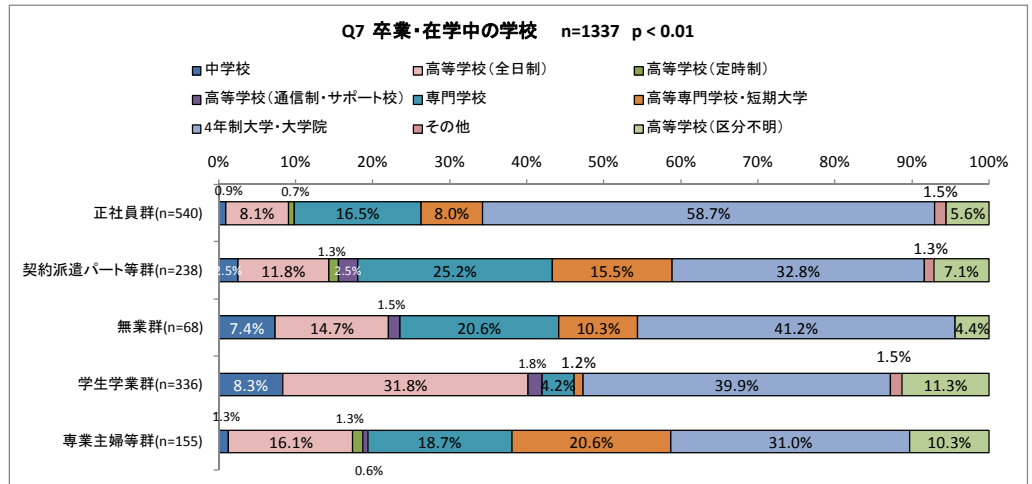


就業等の傾向 * Q7最終学校は？

		Q7最終学校は？									合計
		中学校	高等学校 (全日制)	高等学校 (定時制)	高等学校 (通信制・サ ポート校)	専門学校	高等専門 学校・短期 大学	4年制大 学・大学院	その他	高等学校 (区分不 明)	
正社員群(n=540)	人数	5	44	4	0	89	43	317	8	30	540
	%	0.9%	8.1%	0.7%	0.0%	16.5%	8.0%	58.7%	1.5%	5.6%	100.0%
契約派遣パート等群 (n=238)	人数	6	28	3	6	60	37	78	3	17	238
	%	2.5%	11.8%	1.3%	2.5%	25.2%	15.5%	32.8%	1.3%	7.1%	100.0%
無業群(n=68)	人数	5	10	0	1	14	7	28	0	3	68
	%	7.4%	14.7%	0.0%	1.5%	20.6%	10.3%	41.2%	0.0%	4.4%	100.0%
学生学業群(n=336)	人数	28	107	0	6	14	4	134	5	38	336
	%	8.3%	31.8%	0.0%	1.8%	4.2%	1.2%	39.9%	1.5%	11.3%	100.0%
専業主婦等群(n=155)	人数	2	25	2	1	29	32	48	0	16	155
	%	1.3%	16.1%	1.3%	0.6%	18.7%	20.6%	31.0%	0.0%	10.3%	100.0%
合計	人数	46	214	9	14	206	123	605	16	104	1337
	%	3.4%	16.0%	0.7%	1.0%	15.4%	9.2%	45.3%	1.2%	7.8%	100.0%

Fisherの直接法 p=0.000 <0.01 有意差あり

就業等の種類と最終学歴には、有意な差がありました。(p<0.01)
最終学歴が4年制大学・大学院である割合が58.7%と最も高かったのは、正社員群でした。

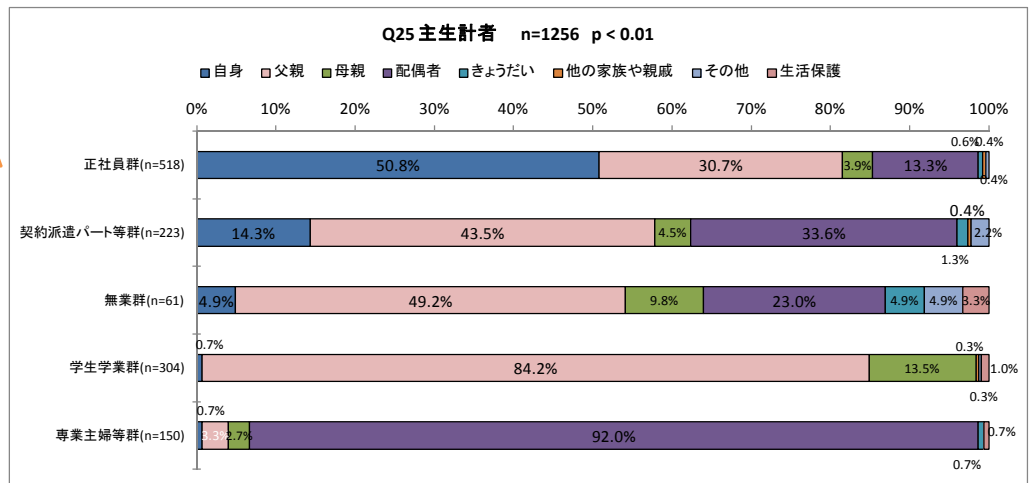


就業等の傾向 * Q25主たる生計者は

		Q25主たる生計者は								合計
		自身	父親	母親	配偶者	きょうだい	他の家族や 親戚	その他	生活保護	
正社員群(n=518)	人数	263	159	20	69	3	2	2	0	518
	%	50.8%	30.7%	3.9%	13.3%	0.6%	0.4%	0.4%	0.0%	100.0%
契約派遣パート等群 (n=223)	人数	32	97	10	75	3	1	5	0	223
	%	14.3%	43.5%	4.5%	33.6%	1.3%	0.4%	2.2%	0.0%	100.0%
無業群(n=61)	人数	3	30	6	14	3	0	3	2	61
	%	4.9%	49.2%	9.8%	23.0%	4.9%	0.0%	4.9%	3.3%	100.0%
学生学業群(n=304)	人数	2	256	41	0	0	1	1	3	304
	%	0.7%	84.2%	13.5%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	1.0%	100.0%
専業主婦等群(n=150)	人数	1	5	4	138	1	0	0	1	150
	%	0.7%	3.3%	2.7%	92.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.7%	100.0%
合計	人数	301	547	81	296	10	4	11	6	1256
	%	24.0%	43.6%	6.4%	23.6%	0.8%	0.3%	0.9%	0.5%	100.0%

Fisherの直接法 p=0.000 <0.01 有意差あり

就業等の種類と主生計者には、有意な差がありました。(p<0.01)
主生計者が自身である割合が50.8%と最も高かったのは、正社員群で、主生計者が配偶者である割合が92.0%と最も高かったのは専業主婦群でした。
また、主生計者が父親である割合が84.2%と最も高かったのは、学生学業群でした。



就業等の傾向 * Q26暮らし向きは(実感で)

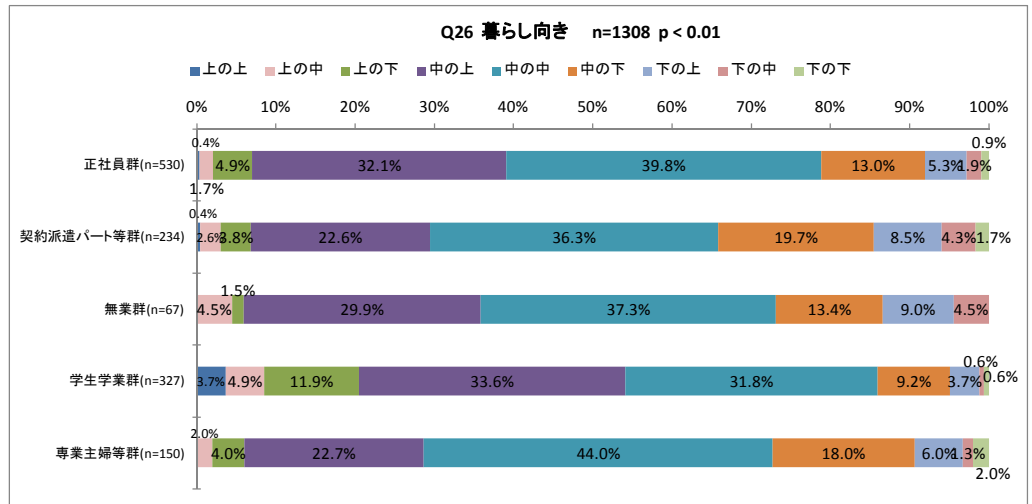
		Q26暮らし向きは(実感で)									合計
		上の上	上の中	上の下	中の上	中の中	中の下	下の上	下の中	下の下	
正社員群(n=530)	人数	2	9	26	170	211	69	28	10	5	530
	%	0.4%	1.7%	4.9%	32.1%	39.8%	13.0%	5.3%	1.9%	0.9%	100.0%
契約派遣パート等群(n=234)	人数	1	6	9	53	85	46	20	10	4	234
	%	0.4%	2.6%	3.8%	22.6%	36.3%	19.7%	8.5%	4.3%	1.7%	100.0%
無業群(n=67)	人数	0	3	1	20	25	9	6	3	0	67
	%	0.0%	4.5%	1.5%	29.9%	37.3%	13.4%	9.0%	4.5%	0.0%	100.0%
学生学業群(n=327)	人数	12	16	39	110	104	30	12	2	2	327
	%	3.7%	4.9%	11.9%	33.6%	31.8%	9.2%	3.7%	0.6%	0.6%	100.0%
専業主婦等群(n=150)	人数	0	3	6	34	66	27	9	2	3	150
	%	0.0%	2.0%	4.0%	22.7%	44.0%	18.0%	6.0%	1.3%	2.0%	100.0%
合計	人数	15	37	81	387	491	181	75	27	14	1308
	%	1.1%	2.8%	6.2%	29.6%	37.5%	13.8%	5.7%	2.1%	1.1%	100.0%

Fisherの直接法

p=0.000

<0.01 有意差あり

就業等の種類と暮らし向きには、有意な差がありました。(p<0.01)
暮らし向きが「上の上」と答えた人の割合が、3.7%と最も高かったのは、学生学業群でした。



就業等の傾向 * Q30-1いつか夢を実現させる仕事につきたい

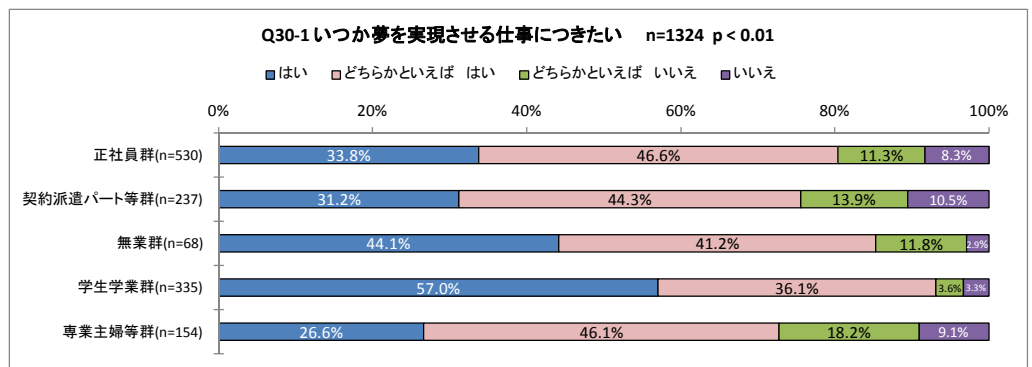
		Q30-1いつか夢を実現させる仕事につきたい				合計
		はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	
正社員群(n=530)	人数	179	247	60	44	530
	%	33.8%	46.6%	11.3%	8.3%	100.0%
契約派遣パート等群(n=237)	人数	74	105	33	25	237
	%	31.2%	44.3%	13.9%	10.5%	100.0%
無業群(n=68)	人数	30	28	8	2	68
	%	44.1%	41.2%	11.8%	2.9%	100.0%
学生学業群(n=335)	人数	191	121	12	11	335
	%	57.0%	36.1%	3.6%	3.3%	100.0%
専業主婦等群(n=154)	人数	41	71	28	14	154
	%	26.6%	46.1%	18.2%	9.1%	100.0%
合計	人数	515	572	141	96	1324
	%	38.9%	43.2%	10.6%	7.3%	100.0%

Kruskal-Wallisの検定

p=0.000

<0.01 有意差あり

就業等の種類と「いつか夢を実現させる仕事につきたい」の回答の間には、有意な差がありました。(p<0.01)
「はい」と答えた割合が57.0%と最も高かったのは、学生学業群でした。



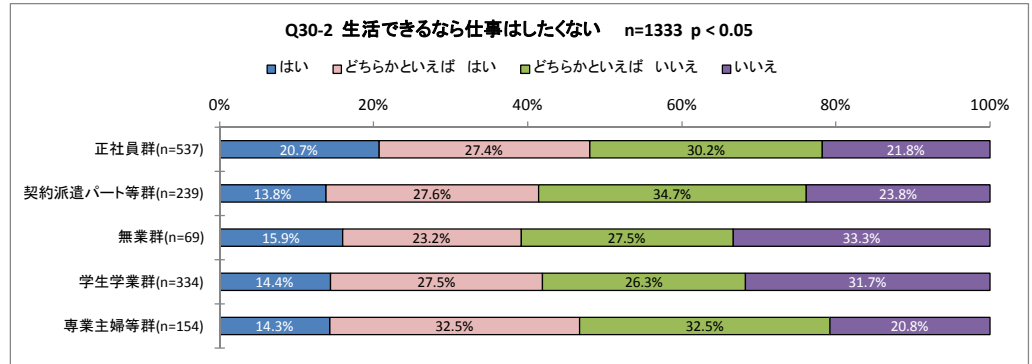
就業等の傾向 * Q30-2生活できるなら仕事はしたくない

		Q30-2生活できるなら仕事はしたくない				合計
		はい	いえばはい	いえばいい	いいえ	
正社員群(n=537)	人数	111	147	162	117	537
	%	20.7%	27.4%	30.2%	21.8%	100.0%
契約派遣パート等群(n=239)	人数	33	66	83	57	239
	%	13.8%	27.6%	34.7%	23.8%	100.0%
無業群(n=69)	人数	11	16	19	23	69
	%	15.9%	23.2%	27.5%	33.3%	100.0%
学生学業群(n=334)	人数	48	92	88	106	334
	%	14.4%	27.5%	26.3%	31.7%	100.0%
専業主婦等群(n=154)	人数	22	50	50	32	154
	%	14.3%	32.5%	32.5%	20.8%	100.0%
合計	人数	225	371	402	335	1333
	%	16.9%	27.8%	30.2%	25.1%	100.0%

Kruskal-Wallisの検定 p=0.018

<0.05 有意差あり

就業等の種類と「生活できるなら仕事はしたくない」の回答との間には、有意な差がありました。(p<0.05)
「いいえ」と答えた人の割合が33.3%と最も高かったのは、無業群でした。



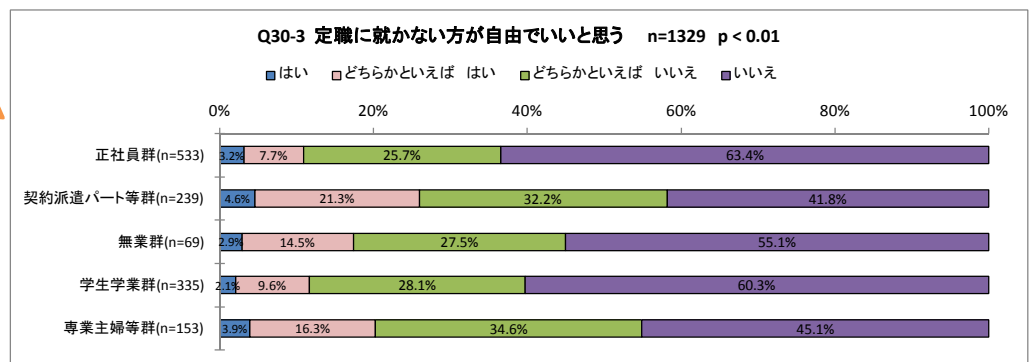
就業等の傾向 * Q30-3定職に就かない方が自由でいいと思う

		Q30-3定職に就かない方が自由でいいと思う				合計
		はい	どちらかといえばはい	どちらかといえばいいえ	いいえ	
正社員群(n=533)	人数	17	41	137	338	533
	%	3.2%	7.7%	25.7%	63.4%	100.0%
契約派遣パート等群(n=239)	人数	11	51	77	100	239
	%	4.6%	21.3%	32.2%	41.8%	100.0%
無業群(n=69)	人数	2	10	19	38	69
	%	2.9%	14.5%	27.5%	55.1%	100.0%
学生学業群(n=335)	人数	7	32	94	202	335
	%	2.1%	9.6%	28.1%	60.3%	100.0%
専業主婦等群(n=153)	人数	6	25	53	69	153
	%	3.9%	16.3%	34.6%	45.1%	100.0%
合計	人数	43	159	380	747	1329
	%	3.2%	12.0%	28.6%	56.2%	100.0%

Kruskal-Wallisの検定 p=0.000

<0.01 有意差あり

就業等の種類と「定職に就かない方が自由でいいと思う」の回答の間には、有意な差がありました。(p<0.01)
「はい」又は「どちらかといえばはい」と答えた人の割合が、最も高かったのは「契約派遣パート等群」(26.0%)でした。



③中退者に関する傾向分析

クロス集計表

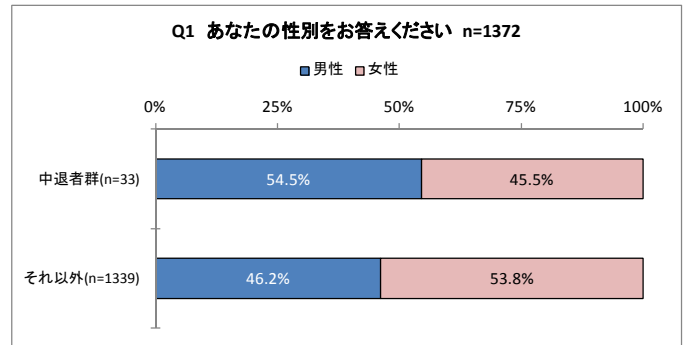
処理したケースの要約

	ケース					
	有効数		欠損		合計	
	N	パーセント	N	パーセント	N	パーセント
中退者傾向 * 性別	1372	99.0%	14	1.0%	1386	100.0%
中退者傾向 * 居住区	1375	99.2%	11	.8%	1386	100.0%
中退者傾向 * Q7最終学校は？	1368	98.7%	18	1.3%	1386	100.0%
中退者傾向 * Q8現在働いていますか	1336	96.4%	50	3.6%	1386	100.0%
中退者傾向 * Q25主たる生計者は	1281	92.4%	105	7.6%	1386	100.0%
中退者傾向 * Q26暮らし向きは(実感で)	1333	96.2%	53	3.8%	1386	100.0%

中退者傾向 * 性別

		性別		合計
		男性	女性	
中退者群(n=33)	人数	18	15	33
	%	54.5%	45.5%	100.0%
それ以外(n=1339)	人数	618	721	1339
	%	46.2%	53.8%	100.0%
合計	人数	636	736	1372
	%	46.4%	53.6%	100.0%

Pearsonのχ²乗検定 p=0.340 有意差なし



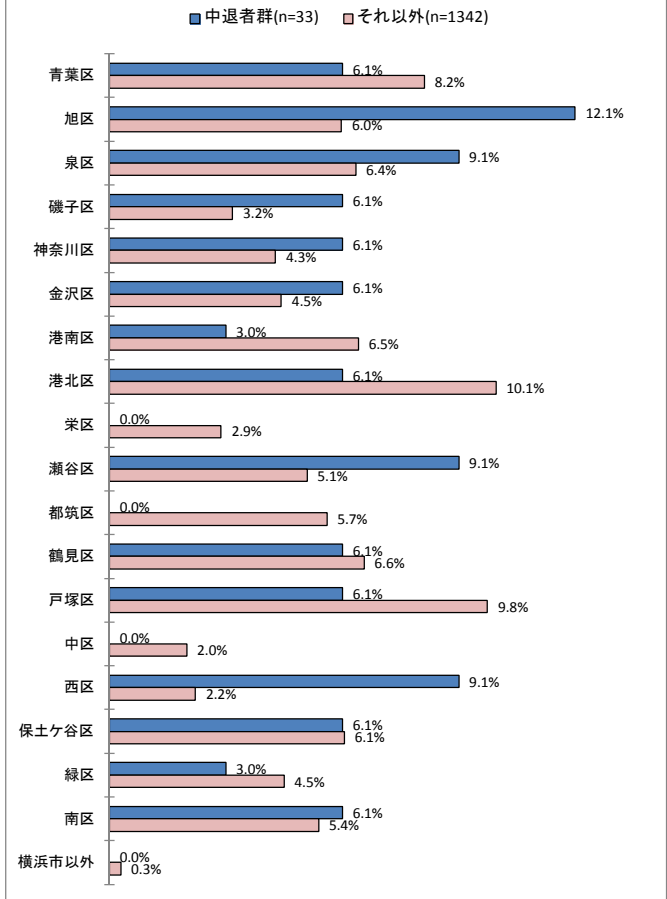
中退者群とそれ以外の群で、男女の割合に有意な差はありませんでした。

中退者傾向 * 居住区

	中退者群(n=33)		それ以外(n=1342)		合計	
	人数	%	人数	%	人数	%
青葉区	2	6.1%	110	8.2%	112	8.1%
旭区	4	12.1%	81	6.0%	85	6.2%
泉区	3	9.1%	86	6.4%	89	6.5%
磯子区	2	6.1%	43	3.2%	45	3.3%
神奈川区	2	6.1%	58	4.3%	60	4.4%
金沢区	2	6.1%	60	4.5%	62	4.5%
港南区	1	3.0%	87	6.5%	88	6.4%
港北区	2	6.1%	135	10.1%	137	10.0%
栄区	0	0.0%	39	2.9%	39	2.8%
瀬谷区	3	9.1%	69	5.1%	72	5.2%
都筑区	0	0.0%	76	5.7%	76	5.5%
鶴見区	2	6.1%	89	6.6%	91	6.6%
戸塚区	2	6.1%	132	9.8%	134	9.7%
中区	0	0.0%	27	2.0%	27	2.0%
西区	3	9.1%	30	2.2%	33	2.4%
区	2	6.1%	82	6.1%	84	6.1%
緑区	1	3.0%	61	4.5%	62	4.5%
南区	2	6.1%	73	5.4%	75	5.5%
外	0	0.0%	4	0.3%	4	0.3%
合計	33	100.0%	1342	100.0%	1375	100.0%

* 検定できませんでした

Q2 お住まいの区はどちらですか n=1375



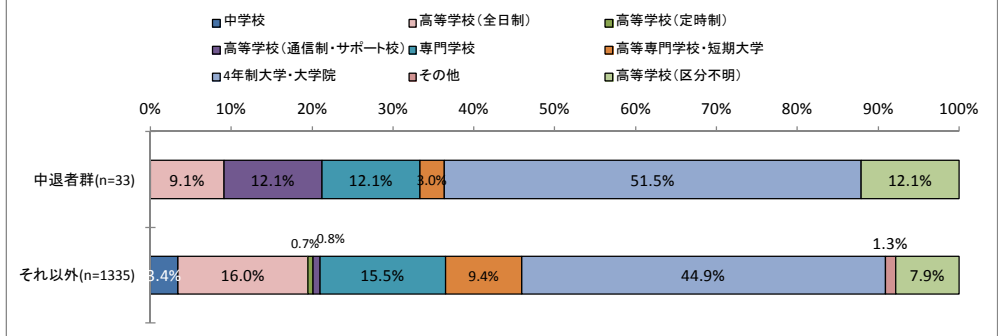
中退者傾向 * Q7最終学校は？

	Q7最終学校は？										合計
	中学校	高等学校(全日制)	高等学校(定時制)	高等学校(通信制・サポート校)	専門学校	高等専門学校・短期大学	4年制大学・大学院	その他	高等学校(区分不明)		
中退者群(n=33)	人数	0	3	0	4	4	1	17	0	4	33
	%	0.0%	9.1%	0.0%	12.1%	12.1%	3.0%	51.5%	0.0%	12.1%	100.0%
それ以外(n=1335)	人数	46	214	9	11	207	126	600	17	105	1335
	%	3.4%	16.0%	0.7%	0.8%	15.5%	9.4%	44.9%	1.3%	7.9%	100.0%
合計	人数	46	217	9	15	211	127	617	17	109	1368
	%	3.4%	15.9%	0.7%	1.1%	15.4%	9.3%	45.1%	1.2%	8.0%	100.0%

Fisherの直接法 p=0.009 <0.01 有意差あり

中退者群とそれ以外の群で、最終学歴には、有意な差がありました。(p<0.01)
最終学歴が、高等学校(通信制・サポート校)と答えた人の割合が、中退者群は12.1%、それ以外の群は0.8%でした。

Q7 卒業・在学中の学校 n=1368 p<0.01

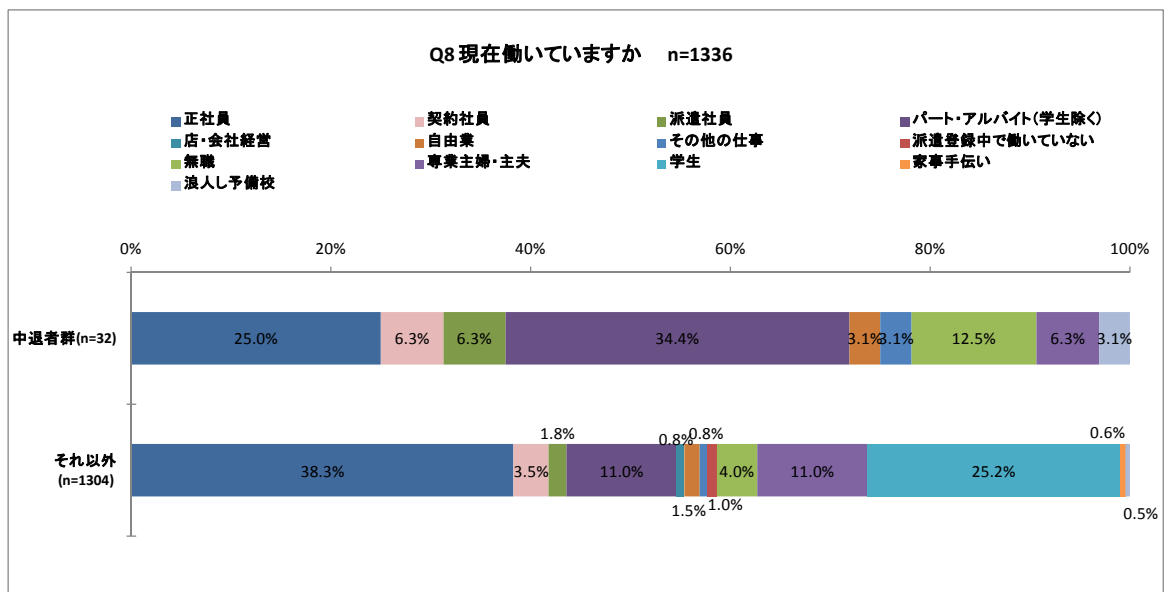


中退者傾向 * Q8現在働いていますか

		Q8現在働いていますか						
		正社員	契約社員	派遣社員	パート・アルバイト (学生除く)	店・会社 経営	自由業	その他の 仕事
中退者群(n=32)	人数	8	2	2	11	0	1	1
	%	25.0%	6.3%	6.3%	34.4%	0.0%	3.1%	3.1%
それ以外(n=1304)	人数	499	46	23	144	10	20	10
	%	38.3%	3.5%	1.8%	11.0%	0.8%	1.5%	0.8%
合計	人数	507	48	25	155	10	21	11
	%	37.9%	3.6%	1.9%	11.6%	0.7%	1.6%	0.8%

		Q8現在働いていますか						
		派遣登録 中で働いて いない	無職	専業主 婦・主夫	学生	家事手伝 い	浪人し予 備校	合計
中退者群(n=32)	人数	0	4	2	0	0	1	32
	%	0.0%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%	3.1%	100.0%
それ以外(n=1304)	人数	13	52	144	329	8	6	1304
	%	1.0%	4.0%	11.0%	25.2%	0.6%	0.5%	100.0%
合計	人数	13	56	146	329	8	7	1336
	%	1.0%	4.2%	10.9%	24.6%	0.6%	0.5%	100.0%

* 検定できませんでした



中退者傾向 * Q25主たる生計者は

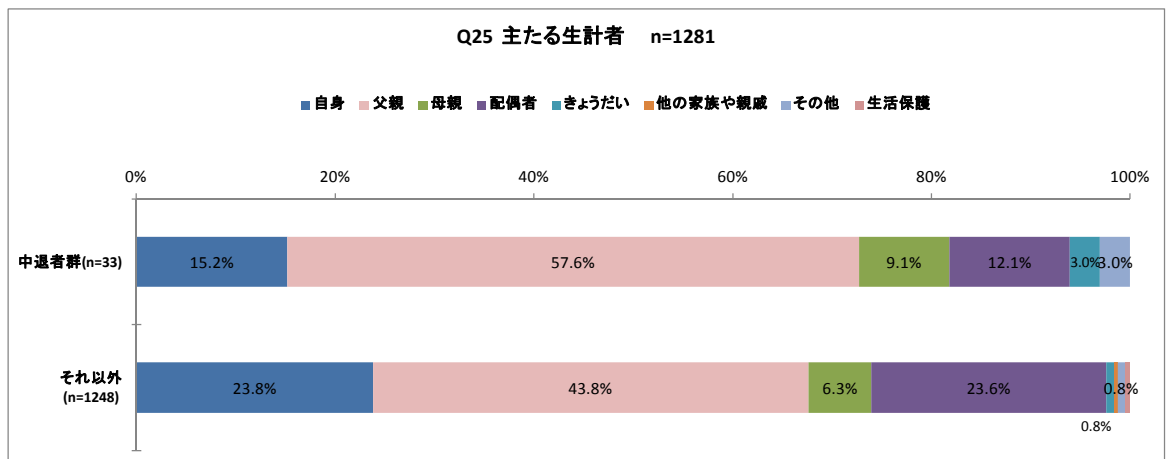
		Q25主たる生計者は								合計
		自身	父親	母親	配偶者	きょうだい	他の家族 や親戚	その他	生活保 護	
中退者群(n=33)	人数	5	19	3	4	1	0	1	0	33
	%	15.2%	57.6%	9.1%	12.1%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%	100.0%
それ以外(n=1248)	人数	297	547	79	295	10	4	10	6	1248
	%	23.8%	43.8%	6.3%	23.6%	0.8%	0.3%	0.8%	0.5%	100.0%
合計	人数	302	566	82	299	11	4	11	6	1281
	%	23.6%	44.2%	6.4%	23.3%	0.9%	0.3%	0.9%	0.5%	100.0%

Fisherの直接法

p=0.133

有意差なし

主たる生計者は、中退者群とそれ以外の群で、有意な差はありませんでした。

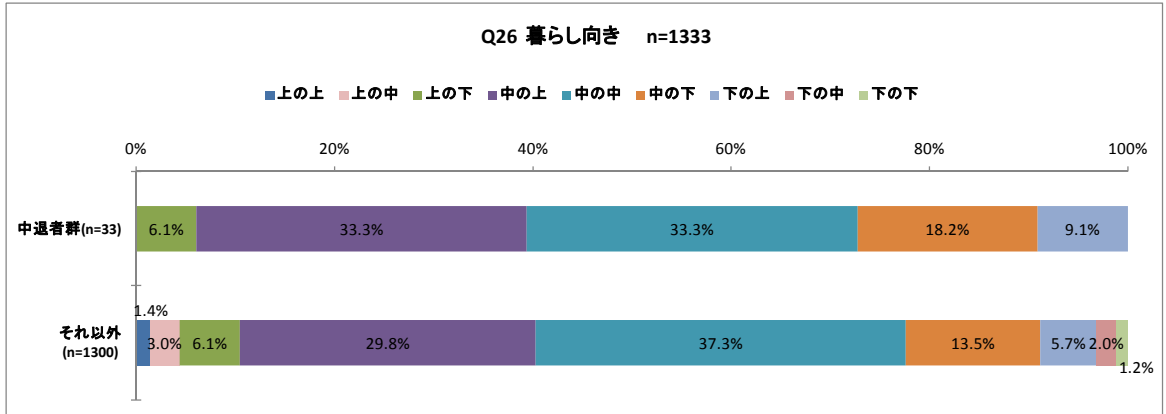


中退者傾向 * Q26暮らし向きは(実感で)

		Q26暮らし向きは(実感で)									合計
		上の上	上の中	上の下	中の上	中の中	中の下	下の上	下の中	下の下	
中退者群(n=33)	人数	0	0	2	11	11	6	3	0	0	33
	%	0.0%	0.0%	6.1%	33.3%	33.3%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%
それ以外(n=1300)	人数	18	39	79	388	485	176	74	26	15	1300
	%	1.4%	3.0%	6.1%	29.8%	37.3%	13.5%	5.7%	2.0%	1.2%	100.0%
合計	人数	18	39	81	399	496	182	77	26	15	1333
	%	1.4%	2.9%	6.1%	29.9%	37.2%	13.7%	5.8%	2.0%	1.1%	100.0%

Fisherの直接法 p=0.947 有意差なし

暮らし向き(実感)は、中退者群とそれ以外の群で、有意な差はありませんでした。



アンケート追加調査（シナリオ）

対象者（記号） 性別 男 ・ 女 年齢

【1】インタビュー始め

「横浜市子ども・若者実態調査」調査グループの「 」といいます。

お名前を聞かせていただいてもよろしいでしょうか。では「 」さん、よろしくお願
いいたします。このたびは、調査に応じていただきありがとうございます。

私たちの調査は、若者の皆さんが、どのようにしんどさや生きづらさを乗り越えてこられて現
在に至り、どのような将来を展望されているかを伺うことで、横浜市が、若者の方々に対して行
うべきサポートについて、深く考えさせていただくことが目的です。

今回、インタビューを 45 分程度させていただきます。「 」さんの、これまでの困難
や、現在の生活、将来の展望について、いくつか質問をさせていただきます。

もし、答えたくない質問がありましたら、答えていただかなくてかまいません。また今回のイ
ンタビューを録音させていただきます。この記録は、私たちが調査の結果を発表するときに、一
部を使用させていただく可能性があります。もちろんその場合でも、仮名を用いたり、内容の一
部を変えたりするなどして、あなたと特定されないような用い方をするをお約束します。ま
た、その他この調査で知れたあなたやあなたのご家族のプライバシーにつきましても、厳しく
お守りするかたちで管理することをあわせてお約束します。それでは、インタビューを始めさせ
ていただきます。

【2】【過去に経験した困難・課題と、困難・課題を克服するに至った道筋（現在も困難を抱
えている場合は、克服に向けて取り組んでいること）について】

*下記の「①-1」から「①-3」は織り交ぜて語られることが予期されるので、本人の話に付
いて行きながら、聞きとっていく。

①-1 ご自身のこと

これまで、ご自身の障害など、生まれつきのしんどかったことや生きづらさを感じたことは
ありましたか。そのため、これまでに、どんな困難を経験し、どんなつまずきがあり、どんな
対処をして乗り越えてきましたか。また、その困難を乗り越えるに当たって、周囲からは、ど
んなサポートがありましたか。

①-2 ご家庭のこと（ひとり親家庭、貧困、虐待、親の精神疾患・障害、親の自殺、早すぎる
離家など）

これまで、家庭や親のことで、しんどかったことや生きづらさを感じたことはありましたか。
そのため、これまでに、どんな困難を経験し、どんなつまずきがあり、どんな対処をして乗り
越えてきましたか。また、その困難を乗り越えるに当たって、周囲からは、どんなサポートが
ありましたか。

①-3 学校や職場でのこと

これまで、学校や職場などで、しんどかったことや、生きづらさを感じたことはありまし
たか。そのため、これまでに、どんな困難を経験し、どんなつまずきがあり、どんな対処をして
乗り越えてきましたか。また、その困難を乗り越えるに当たって、周囲からは、どんなサポー
トがありましたか。

② 過去を振り返って

これまでの人生を振り返って、人生の転機と思えることや人生を変えたできごとについて教
えてください。

*時間があれば、「これまでの人生を振り返って、最高だった経験と、最悪だった経験を教えて
ください。」

【3】【現在の状況と将来の希望や目標について】

① 現在の生活の状況

今は、どんな生活をなさっていますか。何をして時間を過ごしていますか。生計はどのように立てていますか。それは十分ですか。家族や周囲の方との関係はうまくいっていますか。

② 現在の生きがいや楽しみ

今、自分にとって生きがいや楽しみといえることはどんなことですか。自分の元気のもとと言えるようなことは何ですか。がんばっていけるのは、どんなことがあるからですか。

③ 現在の困りごとや悩み

今、困っていることや悩んでいることはありますか。それはどんなことですか。それにはどのように対処して、乗り越えようとしていますか。

④ 将来の希望や目標

これからはどうやって行こうと思っていますか。やっていきたいことはどんなことですか。どんなことを大切に生きていきたいですか。

【4】【相談支援を行う機関等に期待すること・どういう支援の仕方が望ましいと思うか】

① 相談支援機関を利用した経験

これまでに、相談に乗ってくれる機関や支援をしてくれる機関（ハローワーク、児童相談所、精神保健センター、民間の相談機関、ジョブカフェなど）を利用したことはありますか。利用は役に立ちましたか。満足だった点、不満足だった点を教えてください。

② 相談支援を行う機関等に期待すること・どういう支援の仕方が望ましいと思うか

相談に乗ってくれる機関や支援をしてくれる機関に、どのようなことを期待しますか。どういう支援の仕方を望みますか。

③ 期待する支援

今ある、相談に乗ってくれる機関や支援をしてくれる機関は別にして、社会には、どんな支援があるとよいと思いますか。

【5】インタビュー終わり

それでは、時間が来ましたので、インタビューを終わらせていただきます。

今日は貴重なお時間をいただき、調査に応じてくださりありがとうございました。

はじめにお伝えしましたように、私たちの調査は、若者の皆さんが、どのようにしんどさや生きづらさを乗り越えてこられて現在に至り、どのような将来を展望されているかを伺うことで、横浜市が、若者の方々に対して行うべきサポートについて、深く考えさせていただくことが目的です。

記録は、私たちが調査の結果を発表するときに、一部を使用させていただく可能性があります。もちろんその場合でも、仮名を用いたり、内容の一部を変えたりするなどして、あなたと特定されないような用い方をすることをお約束します。また、その他この調査で知りえたあなたやあなたのご家族のプライバシーにつきましても、厳しくお守りするかたちで管理することをあわせてお約束します。

本当に今日はありがとうございました。